

令和 8 年度 シラバス

生活科 1 年

生活科 1年

令和8年度入学生 開講科目表

柴田学園大学短期大学部

											東山学院大学短期大学部												
整理 番号	系列	科目 番号	科 目 名	単位	授業 形態	担 当 者	卒業 必修	卒業 選択 必修	編入	医療 必修	ビジネスマネジメント必修						食育イ ンストラ クター 必修	開講時期・時間				備 考	
											ビジ ス実 務士	上級ビ ジネス 実務士	情報 処理士	上級 情報 処理士	プレゼ ンテー ション 実務士	Webデ ザイン 実務士		ITバ ス ポート	1 年		2 年		
																			前	後	前		後
1	01共通	1101	学 園 と 地 域 を 知 る	2	講義	島 内 智 秋	○		○									2				生1・保1 同時開講	
2	01共通	1102	倫 理 学	2	講義	齋 藤 雅 俊			○		△	△	△	△	△	△		2				生1・保1 同時開講	
3	01共通	1103	心 理 学	2	講義	新 田 史 暁			○										2			生1・保1 同時開講	
4	01共通	1104	国 語 表 現	2	講義	高 橋 直 樹					△	△	△	△	△	△			2			生1・保1 同時開講	
5	01共通	1105	法 学	2	講義	小 野 昇 平			○	△	△	△	△	△	△	△	△	2				生1・保1 同時開講	
6	01共通	1106	経 済 学	2	講義	米 塚 清 子				△	△	△	△	△	△	△	△	2				生1・保1 同時開講	
7	01共通	1107	経 営 学	2	講義	—																開講せず	
8	01共通	1108	基 礎 化 学 A	2	講義	柳 町 悟 司		△	○									2					
9	01共通	1109	基 礎 生 物 学	2	講義	柳 町 悟 司		△	○										2				
10	01共通	1111	キ ャ リ ア 基 礎	1	演習	米 塚 清 子					△	△	△	△	△	△			2				生1・保1 同時開講 90分×8回
11	01共通	1112	津 軽 を 探 る	1	講義	米 塚 清 子													2				生1・保1 同時開講 90分×8回
12	01共通	1113	現 代 作 法 学	2	講義	米 塚 清 子	○		○	△								2				生1・保1 同時開講	
13	01共通	1114	音 楽	2	演習	金 山 茉莉花													2				生1・保1 同時開講
14	02外国	1131	英 語 (1)	2	演習	ウオーターズ雅代		○	○	△	△	△	△	△	△	△			2				生1・保1 同時開講 90分×8回
15	03保健	1141	保 健 体 育	1	講義	今・佐藤裕	○	○	○										1				生1・保1 同時開講 90分×8回
16	03保健	1142	体 育 実 技	1	実技	神 和 人	○	○	○										2				
17	04専門	1201	家 庭 と 社 会	2	講義	玉 田 真梨菜	○		○										2				家族関係学を含む 共通専門科目
18	04専門	1202	情 報 処 理	2	演習	米 塚 清 子		△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2					共通専門科目
19	04専門	1203	デ ー タ 分 析 演 習	2	演習	高 橋 直 樹		△		△	○	○	○	○	○	○	○		2				共通専門科目
20	04専門	1205	食 と 健 康	2	講義	宮 地 博 子				△	○	○	○	○	○	○	○		2				共通専門科目
21	04専門	1207	食 生 活 論	2	講義	岡 本 由美子		△	○	△									2				共通専門科目
22	04専門	1209	プレゼンテーション基礎	2	演習	高 橋 直 樹			○	△	○	☆	○	○	○	△	△	2					共通専門科目
23	04専門	1210	社 会 福 祉	2	講義	若 林 一 哉		○	○	○								2					
24	04専門	1211	公 衆 衛 生 学	2	講義	田 中 里 奈		○	○									○		2			
25	04専門	1218	食 品 衛 生 学	2	講義	木 村 康 子		○	○	△										2			
26	04専門	1220	食 品 学 総 論	2	講義	木 村 康 子		○	○	△								○	2				
27	04専門	1221	食 品 学 各 論	2	講義	木 村 康 子		○	○	△										2			
28	04専門	1223	栄 養 学 総 論	2	講義	柳 町 悟 司		○	○	△								○	2				
29	04専門	1224	栄 養 学 各 論	2	講義	宮 地 博 子		○	○	△										2			
30	04専門	1229	栄 養 指 導 論 (1)	2	講義	宮 地 博 子		○	○										2				
31	04専門	1230	栄 養 指 導 論 (2)	2	講義	木 田 久 美		○	○											2			
32	04専門	1231	栄 養 指 導 実 習	1	実習	宮 地 博 子		○												3			
33	04専門	1233	調 理 学	2	講義	安 田 智 子		○	○									○	2				
34	04専門	1234	基礎調理学実習(和食1)	1	実習	安 田 智 子		○	○										4				180分×7.5回
35	04専門	1235	基礎調理学実習(中華)	1	実習	安 田 智 子		○	○										4				180分×7.5回
36	04専門	1236	基礎調理学実習(洋食)	1	実習	安 田 智 子		○												4			180分×7.5回
37	04専門	1237	基礎調理学実習(和食2)	1	実習	安 田 智 子		○												4			180分×7.5回
38	04専門	1242	給 食 管 理 論	2	講義	木 村 康 子													2				
39	04専門	1243	給食管理校内実習(1)	1	実習	木 村 康 子		○												集中			
40	04専門	1252	献立作成の基礎実習	1	実習	—																	開講せず
41	04専門	1253	献立作成の実践演習	1	演習	岡 本 由美子		△												2			
42	04専門	1259	診療報酬事務演習(1)	1	演習	林 田 美沙子				○										2			
43	04専門	1260	診療報酬事務演習(2)	1	演習	林 田 美沙子				○										2			
44	04専門	1264	登録販売者対策講座 (医薬品と人体)	2	講義	安 田・岡 本				△									2				登録販売者取得希望者
45	04専門	1265	登録販売者対策講座 (医薬品の作用)	2	講義	木 村 康 子				△										2			登録販売者取得希望者
46	04専門	1268	情報表現とデザイン	2	演習	佐 藤 建				△	☆	☆	☆	☆	☆	○	△	2					
47	04専門	1269	ビジネス・情報用語の基礎知識	2	講義	佐 藤 建				△	○	☆	☆	☆	△	△	△	2					
48	04専門	1270	現 代 社 会 と I C T	2	講義	長谷川 直 宏					☆	☆	○	○	△	△	○			2			
49	04専門	1273	職業倫理とセキュリティ	2	講義	友 田 志 郎					☆	☆	☆	☆	△	☆	○			2			
50	04専門	1275	Web デ ザ イ ン 論	2	講義	佐 藤 建					△	△	△	○	△	○	△	2					
51	04専門	1280	Web テ ザ イ ン 演 習	2	演習	佐 藤 建					△	△	△	○	△	☆	△			2			
52	04専門	1282	Web デ ィ レ ク シ ョ ン	2	講義	佐 藤 建					△	△	△	○	△	☆	△			2			
53	04専門	1283	フ ォ ー ド ビ ジ ネ ス 論	2	講義	宮 地 博 子					○	○	△	△	△	△	△	2					
54	04専門	1284	I T ス ト ラ テ ジ ー	2	講義	長谷川 直 宏					△	△	○	○	△	△	○			2			
55	04専門	1286	I T マ ネ ジ メ ン ト	2	講義	長谷川 直 宏					△	△	○	○	△	△	○			2			
56	04専門	1301	学 習 サ ポ ー ト			生活科研究室												1	1				

○：免許・資格を取得するための必修科目、△：免許・資格を取得するために履修が望ましい科目、☆：免許・資格を取得するための選択必修

[共通専門科目について]

卒業までに8単位以上を取得の必要あり(卒業必修が4単位のため、卒業必修以外から4単位以上の取得が必要)

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員				
L110001		学園と地域を知る		2	15	講義	30	前期	1年	島内智秋				
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験		
必修	選択	栄養士	医療 マネジメント	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	ビジネスマネジメント 情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼン テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	フード サイエン ティスト	食育イン ストラク ター		
○														
		編入	幼稚園 教諭	保育士	ベビー シッター									
		○												
ディプロマ ポリシー (学習成果)	生活科	身につけるべき力				身につけるべき具体的な資質・能力							該当項目 に○	
		社会で活動するために必要な知識・技能				1. 知識を正確に理解する(知識理解)								
						2. 技能を確実に習得(技能習得)								
		社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力				3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)								○
						4. 状況を総合的に判断する(判断力)								○
						5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)								
		多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力				6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)								○
						7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)								○
						8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感)								
		労力を惜しまず、生涯に渡って主体的に学ぶ力				9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)								○
						10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)								○
	11. 計画を確実に実行する力(実行力)													
	保育科	①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○		
②子どもの心身の特性を知っている														
③子どもにとって望ましい環境を理解している										○				
④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている														
⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる														
授業概要		建学の精神「教育即生活」をもとにした生活の中の学びをテーマとする。 生活や学びに必要な情報について学び、調べたり考えたりしたことをまとめて文字で表わす。 学園と地域を知り、地域や自身の将来について考える機会とする。												
授業の到達目標		生活や学び、地域理解についてに必要な情報や各回のテーマについて学び、調べたり深く考えたりする楽しさを知る。 建学の精神「教育即生活」について主体的にアプローチする。												
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	%	授業内活動	%	計 100 %						
		期末レポート	70 %	授業内提出物	%	その他	30 %							
フィードバックの方法		毎回の予習・復習カードにより対応する。												
教科書・教材		特に使用しない												
参考書・参考文献等		『柴田やす伝』 他、各テーマごとに書籍の紹介をする												
履修上の注意等		毎回の予習・復習カードの提出をすること。講義から興味を持ったことを更に調べたり考えたりすること。												
回	授 業 計 画					授業時間外学習								
						授業前・時間			授業後・時間					
1	オリエンテーション 短大で学ぶことについて					学生便覧を読み、持参すること			復習 (30分以上)					
2	教育即生活について					『柴田やす伝』読みを持参すること			復習 (30分以上)					
3	進路の決定と偶発の計画について					進路決定の過程を考える (30分以上)			復習 (30分以上)					

4	情報社会に着目した暮らしと学び	情報の入手の仕方や発信方法について考える (30分以上)	復習 (30分以上)
5	学園の系列大学での学びを知る	学園の系列大学での学びについて (30分以上)	復習 (30分以上)
6	暮らしの中の所作の意味を考える	暮らしの中の所作を考える (30分以上)	復習 (30分以上)
7	生命の繋がりについて (ヒト・動物・植物など)	生命の繋がりについて考える (30分以上)	復習 (30分以上)
8	家族に関する生活と学び① (結婚を考える)	結婚について考える (30分以上)	復習 (30分以上)
9	家族に関する生活と学び② (子育てについて考える)	子育てについて考える (30分以上)	復習 (30分以上)
10	学生と社会人の違い。この地域のよさをよそものの視点から考える (野口拓郎先生)		復習 (30分以上)
11	地域×大学生生活の過ごし方を考える (石山紗希先生)		復習 (30分以上) ACアワー「"わ" はやってみる」
12	家族に関する生活と学び③ (子ども観・仕事・食・住まいについて考える)	自身の子ども観・仕事・食・住まいについて考える (30分以上)	復習 (30分以上)
13	家族に関する生活と学び④ (生活習慣・生活リズムについて考える) 質のいい睡眠を知ろう (西川輔先生)	自身の生活習慣や生活リズムを考える (30分以上)	復習 (30分以上)
14	校訓から見える暮らしと学び	校訓を読み意味を考える (30分以上)	復習 (30分以上)
15	暮らしと学びのまとめ レポート作成	これまでの講義を振り返り課題の準備をする (30分以上)	復習 (30分以上)

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
L130001		倫理学		2	15	講義	30	前期	1年	齋藤雅俊		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目									実務経験	
必修	選択	栄養士	医療 マネジメン ト	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼン テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	食育イン ストラク ター	
	○			△	△	△	△	△	△			
		編入	幼稚園 教諭	保育士	ベビー シッター							
		○										
ディプロマ ポリシー (学習成果)	生活科	身につけるべき力				身につけるべき具体的な資質・能力						該当項目 に○
		社会で活動するために必要な知識・技能				1. 知識を正確に理解する(知識理解)						○
						2. 技能を確実に習得(技能習得)						
		社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力				3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)						○
						4. 状況を総合的に判断する(判断力)						○
						5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)						○
		多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力				6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)						○
						7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)						○
						8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感)						
		労力を惜しまず、生涯に渡って主体的に学ぶ力				9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)						○
						10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)						○
	11. 計画を確実に実行する力(実行力)						○					
	保育科	①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける						○				
		②子どもの心身の特性を知っている						○				
		③子どもにとって望ましい環境を理解している						○				
④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている												
⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる						○						
授業概要		倫理思想史の歩みについての理解を深めながら、倫理的な考え方やものの見方に慣れ親しんでいく。その際、古代ギリシア時代から現代にわたる倫理的な諸問題（価値の相対主義・絶対主義、カント倫理学・功利主義、ゲーム理論、性善説・性悪説、臓器移植等にかかわる生命倫理、情報化社会における倫理・リテラシー、移民問題と自国のアイデンティティ、自他の利益相反etc...）を取り上げ、思考実験をしながら、「どのように生きるべきか」といった実存的な問いについて各々が思索を深めていく。										
授業の到達目標		倫理的な考え方やものの見方を身につけるために、 ①倫理の本質と目的、意義と理念について理解する。 ②これまでの倫理思想史の歩みについて理解する。 ③前項目について理解・修得したことを授業内で口頭発表したり、試験・レポート等で論述できる。										
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	%	授業内活動	%	計 100 %				
		期末レポート	40 %	授業内提出物	60 %	その他	%					
フィードバックの方法		授業内提出物等は返却する。										
教科書・教材		特になし。										
参考書・参考文献等		特になし。										
履修上の注意等		パワーポイントによるまとめプリントを配布する。配布物が多いため、各自綴じるためのファイルを用意するとよい。生成AIを利用・参考にレポート等を作成した場合、単位認定を不可とする。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	ガイダンス・倫理学とはどのような学問か？					シラバスを読んでおく（30分）			授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）			
2	倫理判断の原理① 価値の相対主義と絶対主義					前回の授業のプリントを読む（30分）			授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）			
3	倫理判断の原理② 定言命法と仮言命法（カント倫理学）					前回の授業のプリントを読む（30分）			授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）			

4	倫理判断の原理③ 功利主義・最大多数の最大幸福（ベンサム、ミル）	前回の授業のプリントを読む（30分）	授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）
5	自己利益の追求か、他者との協力か？（囚人のジレンマ）	前回の授業のプリントを読む（30分）	授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）
6	個人の権利か、社会の維持か？（自由主義と共同体主義）	前回の授業のプリントを読む（30分）	授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）
7	犯罪者の人権をめぐる問題（死刑、少年法等）	前回の授業のプリントを読む（30分）	授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）
8	性善説と性悪説	前回の授業のプリントを読む（30分）	授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）
9	グローバル社会、移民をめぐる問題	前回の授業のプリントを読む（30分）	授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）
10	管理社会、監視社会をめぐる問題	前回の授業のプリントを読む（30分）	授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）
11	生存権、命の尊厳をめぐる問題（生命倫理）	前回の授業のプリントを読む（30分）	授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）
12	福祉をめぐる問題（自分の人生を優先するか、親の介護を優先するか）	前回の授業のプリントを読む（30分）	授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）
13	規範意識、ルールを守ること（『星野君の二塁打』より）	前回の授業のプリントを読む（30分）	授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）
14	世間への無知・無関心、「他人事」ということ	前回の授業のプリントを読む（30分）	授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）
15	他者・世界のために生きるということ、「全体の奉仕者」とは？	前回の授業のプリントを読む（30分）	授業の配布資料を読む。わからない／興味をもったことがあればインターネット等で検索し、知識を深める。（60分）

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
L130001		心理学		2	15	講義	30	後期	1年	新田史暁		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	栄養士	医療 マネジメント	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼン テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	食育イン ストラク ター	
	○											
		編入	幼稚園 教諭	保育士	ベビー シッター							
		○										
ディプロマ ポリシー (学習成果)		生活 科	身につけるべき力			身につけるべき具体的な資質・能力						該当項目 に○
			社会で活動するために必要な知識・技能			1. 知識を正確に理解する(知識理解)						○
						2. 技能を確実に習得(技能習得)						—
			社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力			3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)						○
						4. 状況を総合的に判断する(判断力)						○
						5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)						—
			多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力			6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)						—
						7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)						—
						8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感)						○
						9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)						○
			労力を惜しまず、生涯に渡って主体的に学ぶ力			10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)						—
		11. 計画を確実に実行する力(実行力)						—				
		保 育 科	①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける						○			
			②子どもの心身の特性を知っている						○			
			③子どもにとって望ましい環境を理解している						○			
			④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている						—			
			⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる						—			
授業概要		学習、認知、発達、臨床などの主要な心理学の基礎的知見を概観し、人間の心理とその研究方法について理解を深める。										
授業の到達目標		① 学習、認知、発達、臨床などに関する心理学的知見について説明できる。 ② 心理学の知見に基づき、身近な現象や実生活における自身の行動を説明できる。										
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	%	授業内活動	%	計 100 %				
		期末レポート	70 %	授業内提出物	30 %	その他	%					
フィードバックの方法		授業内提出物を各回の冒頭でフィードバックする。										
教科書・教材		各回の授業時に資料を配布する。										
参考書・参考文献等		鹿取 廣人・杉本 敏夫・鳥居 修晃・河内 十郎(編) 心理学 第5版補訂版 有斐閣										
履修上の注意等		配布資料は各自保管し、復習に活用すること。また、授業内提出物は授業内容の理解度を把握するものでもあることに留意すること。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間				授業後・時間		
1	心理学とは何か(オリエンテーション)					授業内容について、Web上の情報や書籍を用いて自習する(90分)。				授業内容について配布資料を用いて復習する(90分)。		
2	基礎心理学 動機づけ					授業内容について、Web上の情報や書籍を用いて自習する(90分)。				授業内容について配布資料を用いて復習する(90分)。		
3	学習心理学 条件づけ、観察学習					授業内容について、Web上の情報や書籍を用いて自習する(90分)。				授業内容について配布資料を用いて復習する(90分)。		

4	認知心理学① 記憶の二重貯蔵庫モデルと忘却のメカニズム	授業内容について、Web上の情報や書籍を用いて自習する（90分）。	授業内容について配布資料を用いて復習する（90分）。
5	認知心理学② 感覚・知覚 物・形の見え方	授業内容について、Web上の情報や書籍を用いて自習する（90分）。	授業内容について配布資料を用いて復習する（90分）。
6	発達心理学① ヒトの心理社会的発達	授業内容について、Web上の情報や書籍を用いて自習する（90分）。	授業内容について配布資料を用いて復習する（90分）。
7	発達心理学② 愛着形成	授業内容について、Web上の情報や書籍を用いて自習する（90分）。	授業内容について配布資料を用いて復習する（90分）。
8	発達心理学③ 家族の発達	授業内容について、Web上の情報や書籍を用いて自習する（90分）。	授業内容について配布資料を用いて復習する（90分）。
9	性格心理学 パーソナリティの理論と形成	授業内容について、Web上の情報や書籍を用いて自習する（90分）。	授業内容について配布資料を用いて復習する（90分）。
10	感情心理学 不快感情との向き合い方	授業内容について、Web上の情報や書籍を用いて自習する（90分）。	授業内容について配布資料を用いて復習する（90分）。
11	社会心理学① 集団心理、攻撃	授業内容について、Web上の情報や書籍を用いて自習する（90分）。	授業内容について配布資料を用いて復習する（90分）。
12	社会心理学② 説得	授業内容について、Web上の情報や書籍を用いて自習する（90分）。	授業内容について配布資料を用いて復習する（90分）。
13	臨床心理学① カウンセリングとは	授業内容について、Web上の情報や書籍を用いて自習する（90分）。	授業内容について配布資料を用いて復習する（90分）。
14	臨床心理学② 心理療法の理論	授業内容について、Web上の情報や書籍を用いて自習する（90分）。	授業内容について配布資料を用いて復習する（90分）。
15	まとめ 生活と心理学	授業内容について、Web上の情報や書籍を用いて自習する（90分）。	授業内容について配布資料を用いて復習する（90分）。

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
L130001		国語表現		2	15	講義	30	後期	1年	高橋直樹		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	栄養士	医療 マネジメン ト	ビジネス 実務士	上級ビジネ ス実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼン テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	食育イン ストラク ター	
	○			△	△	△	△	△	△			
		編入	幼稚園 教諭	保育士	ベビー シッター							
ディプロマ ポリシー (学習成果)		生活科	身につけるべき力			身につけるべき具体的な資質・能力						該当項目 に○
			社会で活動するために必要な知識・技能	1. 知識を正確に理解する(知識理解)						○		
				2. 技能を確実に習得(技能習得)						○		
			社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力	3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)						○		
				4. 状況を総合的に判断する(判断力)						○		
				5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)						○		
			多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力	6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)						○		
				7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)						○		
				8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感)						-		
			労力を惜しまず、生涯に渡って主体的に学ぶ力	9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)						○		
				10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)						○		
		11. 計画を確実に実行する力(実行力)						○				
		保育科	①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける						○			
			②子どもの心身の特性を知っている						○			
			③子どもにとって望ましい環境を理解している						○			
			④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている						○			
			⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる						-			
授業概要		日常的に使用される実務的実用的な日本語表現をベースとして、国語の基礎知識の確認と応用力を養うための実践的問題演習を行う。										
授業の到達目標		正しい日本語表現のあり方を理解し、社会人としての確で簡明な表現能力を身につける。 書くこと・話すことの実践的表現能力を高める。										
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	%	授業内活動	50	%	計 100 %			
		期末レポート	%	授業内提出物	50	%	その他	%				
フィードバックの方法		成績不良者に個別指導を行う。										
教科書・教材		銅直信子・坂東実子「大学生のための文章表現&口頭発表練習帳 改訂第2版」国書刊行会										
参考書・参考文献等		随時プリント等を用いる。										
履修上の注意等		グループワーク等による「主体的・対話的で深い学び」を実践する。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	紹介文 1 ―私の好きなもの（こと）―					授業で学習する範囲について、予習する（30分以上）			授業で学習した内容について、復習する（30分以上）			
2	紹介文 2 ―私の故郷―					授業で学習する範囲について、予習する（30分以上）			授業で学習した内容について、復習する（30分以上）			
3	賛成・反対の意見文 1 ―「身近な問題」をテーマに―					授業で学習する範囲について、予習する（30分以上）			授業で学習した内容について、復習する（30分以上）			

4	賛成・反対の意見文 2 —「社会的な問題」をテーマに—	授業で学習する範囲について、予習する (30分以上)	授業で学習した内容について、復習する (30分以上)
5	before/afterの文章 1 —○○になる (を)する 前と後—	授業で学習する範囲について、予習する (30分以上)	授業で学習した内容について、復習する (30分以上)
6	before/after の文章 2 —○○になる (が)できる 前と後—	授業で学習する範囲について、予習する (30分以上)	授業で学習した内容について、復習する (30分以上)
7	対立項と時間軸のある文章—調査年度の異なる統計資料を読んで—	授業で学習する範囲について、予習する (30分以上)	授業で学習した内容について、復習する (30分以上)
8	紹介スピーチ 1 —私の好きなもの (こと) —	授業で学習する範囲について、予習する (30分以上)	授業で学習した内容について、復習する (30分以上)
9	紹介スピーチ 2 —私の故郷—	授業で学習する範囲について、予習する (30分以上)	授業で学習した内容について、復習する (30分以上)
10	紹介スピーチ 3 —私のおすすめの本—	授業で学習する範囲について、予習する (30分以上)	授業で学習した内容について、復習する (30分以上)
11	新聞/雑誌記事紹介	授業で学習する範囲について、予習する (30分以上)	授業で学習した内容について、復習する (30分以上)
12	意見の主張—賛成・反対の意見—	授業で学習する範囲について、予習する (30分以上)	授業で学習した内容について、復習する (30分以上)
13	ディスカッション	授業で学習する範囲について、予習する (30分以上)	授業で学習した内容について、復習する (30分以上)
14	ディベート	授業で学習する範囲について、予習する (30分以上)	授業で学習した内容について、復習する (30分以上)
15	プレゼンテーション—アンケート調査結果発表—	授業で学習する範囲について、予習する (30分以上)	授業で学習した内容について、復習する (30分以上)

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
L130001		法学		2	15	講義	30	前期	1年	小野昇平		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	栄養士	医療 マネジメント	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼン テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	食育イン ストラク ター	
	○		△	△	△	△	△	△	△	△		
		編入	幼稚園 教諭	保育士	ベビー シッター							
		○	○									
ディプロマ ポリシー (学習成果)		生活科	身につけるべき力				身につけるべき具体的な資質・能力					該当項目 に○
			社会で活動するために必要な知識・技能				1. 知識を正確に理解する(知識理解)					○
							2. 技能を確実に習得(技能習得)					-
			社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力				3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)					○
							4. 状況を総合的に判断する(判断力)					-
							5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)					-
			多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力				6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)					○
							7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)					-
							8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感)					-
			労力を惜しまず、生涯に渡って主体的に学ぶ力				9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)					○
		10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)					-					
		保育科	11. 計画を確実に実行する力(実行力)					-				
①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける					○							
②子どもの心身の特性を知っている					-							
③子どもにとって望ましい環境を理解している					○							
④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている					-							
⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる					-							
授業概要		憲法改正の国民投票や国政選挙の投票権も18歳以上に引き下げられた現代においては、憲法には何が書いてあるのかということよりも、憲法とは何のためにあるのかということについて、「自分のこと」として深く考えることが不可欠です。この講義では、様々な具体例を通じて憲法の実在意義をしっかりと理解してもらおうと同時に、多様な場面における憲法の役割を論理的に説明できるようになることと目的とします。										
授業の到達目標		①憲法が何のためにあるのかを説明できるようになること。 ②憲法で保障されている様々な自由や権利がどのような場合にどのように問題となるのかを論理的に説明できるようになること。										
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	%	授業内活動	%	計 100 %				
		期末レポート	80 %	授業内提出物	20 %	その他	%					
フィードバックの方法		毎回のコメントシートに書かれた受講生の考えを踏まえて次週に解説を行う。										
教科書・教材		日本国憲法の条文を用意して授業にのぞむこと。Webから印刷したものでも、中高の社会の教科書などでも可。										
参考書・参考文献等		授業中に指示する。										
履修上の注意等		スライドを使用して授業を行う。ノートは不要だが赤青黒のペン（鉛筆可）と、赤青の蛍光ペンを用意するとよい。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	憲法の中身を見てみよう					憲法の条文を読んでくる。2時間。			授業のスライドを見返しておく。1時間。			
2	「私たちの」国と憲法：国会・内閣・裁判所の役割はなんだろう？					「権力分立」という言葉の意味を調べて説明できるようにしてくる。2時間			授業のスライドを見返しておく。1時間。			
3	国民主権：選挙は何のためにあるのだろうか？					衆議院議員選挙、参議院議員選挙のここ2回分の年代別投票率を調べてくる。2時間。			授業のスライドを見返しておく。1時間。			

4	憲法9条と自衛隊、自衛権の問題	自衛隊が普段どのような活動をしているのか、何のためにあるのかを調べてくる。2時間。	授業のスライドを見返しておく。1時間。
5	憲法9条の成り立ち	自衛隊が日本以外のどのような場所でどのような活動をしているのか調べてくる。2時間。	授業のスライドを見返しておく。1時間。
6	投票できない人もいる？—選挙権と憲法15条	国政選挙で投票できない人はどのような人か、それはなぜか調べてくる。2時間	授業のスライドを見返しておく。1時間。
7	性犯罪継続監視法とプライバシーの権利	配布された資料（性犯罪継続監視法）をよく読んで、自分の考えをまとめてくる。2時間。	授業のスライドを見返しておく。1時間。
8	一票の較差と平等—憲法14条と平等権	「一票の較差」という言葉の意味を調べて説明できるようにしてくる。2時間。	授業のスライドを見返しておく。1時間。
9	男女の不平等！？：夫婦同姓制度と憲法14条、24条	「夫婦別姓問題」について調べて説明できるようにしてくる。2時間。	授業のスライドを見返しておく。1時間。
10	「家族」と憲法：同性婚が認められないのはなぜだろう	「同性婚問題」について調べて説明できるようにしてくる。2時間。	授業のスライドを見返しておく。1時間。
11	ピアノ伴奏をしたくありません！—思想の自由と憲法19条	「思想良心の自由」がどのような場合に問題になるのかを調べて説明できるようにしてくる。2時間。	授業のスライドを見返しておく。1時間。
12	剣道は履修できないのですが…—信教の自由と憲法20条	「信教の自由」がどのような場合に問題になるのかを調べて説明できるようにしてくる。2時間。	授業のスライドを見返しておく。1時間。
13	人を傷つけるような表現はダメ！：表現の自由と憲法21条	「表現の自由」がどのような場合に問題になるのかを調べて説明できるようにしてくる。2時間。	授業のスライドを見返しておく。1時間。
14	教育は誰のため？何のため？：教育を受ける権利と憲法26条	「教育を受ける権利」がどのような場合に問題になるのかを調べて説明できるようにしてくる。2時間。	授業のスライドを見返しておく。1時間。
15	憲法とは何のためにあるのだろう？	「アラブの春」という言葉の意味を調べて説明できるようにしてくる。2時間。	授業のスライドを見返しておく。1時間。

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員			
L130001		経済学		2	15	講義	30	前期	1年	米塚清子			
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験	
必修	選択	栄養士	医療 マネジメン ト	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼン テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	食育イン ストラク ター		
	○		△	△	△	△	△	△	△	△			
		編入	幼稚園 教諭	保育士	ベビー シッター								
ディプロマ ポリシー (学習成果)		生活科	身につけるべき力				身につけるべき具体的な資質・能力					該当項目 に○	
			社会で活動するために必要な知識・技能	1. 知識を正確に理解する(知識理解)									○
				2. 技能を確実に習得(技能習得)									-
			社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力	3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)									○
				4. 状況を総合的に判断する(判断力)									-
				5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)									-
				6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)									-
			多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力	7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)									-
				8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感)									-
			労力を惜しまず、生涯に渡って主体的に学ぶ力	9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)									○
		10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)									-		
11. 計画を確実に実行する力(実行力)									-				
保育科		①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○	
		②子どもの心身の特性を知っている										-	
		③子どもにとって望ましい環境を理解している										-	
		④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										-	
		⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										-	
授業概要		本授業では、私たちの生活と密接に関わる「経済」の基本的な仕組みについて学ぶ。経済学の基本的知識である価格、インフレとデフレ、金利、株式、財政、為替、貿易などを解説する。											
授業の到達目標		ミクロ経済学とマクロ経済学の基礎を、身近な事例を通して理解することを目的とする。経済学的な考え方を身につけ、ニュースや社会の動きを自分で読み解く力を養う。											
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	%	授業内活動	50	%	計 100 %				
		期末レポート	30 %	授業内提出物	20 %	その他	%						
フィードバックの方法		授業内提出物を採点評価し、次の時間に返却する。											
教科書・教材		教科書は特に指定しない。授業時に教材を配布する。											
参考書・参考文献等		横浜国立大学経済学部テキスト・プロジェクトチーム（編集）／『ゼロからはじめる経済入門 ― 経済学への招待』有斐閣コンパクト。 その他の参考文献等は、その都度授業内で紹介する。											
履修上の注意等		授業計画は、進捗状況を見ながら変更する可能性がある。 授業には、ノートブックパソコンを持参することが望ましい。											
回	授 業 計 画					授業時間外学習							
						授業前・時間			授業後・時間				
1	経済学とは何か 経済学が、日常生活にどのように関わるかについて考える。					事前に予告された学習範囲について 教材等を参考にしながら予習する (90分)			授業後は理解した事柄をノートに整理する(90分)				
2	モノの値段はどう決まるのか 経済的基礎条件の分析に必要とされる、マーケットメカニズムを学ぶ。					事前に予告された学習範囲について 教材等を参考にしながら予習する (90分)			授業後は理解した事柄をノートに整理する(90分)				
3	好況や不況はどう決まるのか インフレとデフレの仕組みについて学び、それぞれのメリットとデメリットを理解する。					事前に予告された学習範囲について 教材等を参考にしながら予習する (90分)			授業後は理解した事柄をノートに整理する(90分)				

4	景気変動はなぜ生じるのか 大戦後の経済史をふり返りながら、景気変動の仕組みについて学ぶ。	事前に予告された学習範囲について 教材等を参考にしながら予習する (90分)	授業後は理解した事柄をノートに整理する(90分)
5	金融とは何か 金融市場における銀行の役割と企業の資金調達について学ぶ。	事前に予告された学習範囲について 教材等を参考にしながら予習する (90分)	授業後は理解した事柄をノートに整理する(90分)
6	金利はどう決まるのか 金融市場における金利決定メカニズムの仕組みを学び、金利上昇局面と金利低下局面の経済動向について決定する。	事前に予告された学習範囲について 教材等を参考にしながら予習する (90分)	授業後は理解した事柄をノートに整理する(90分)
7	日銀は何をしているのか 日本銀行の仕組みを学び、金融政策が経済に与える影響を分析する。	事前に予告された学習範囲について 教材等を参考にしながら予習する (90分)	授業後は理解した事柄をノートに整理する(90分)
8	株の仕組みはどうなっているのか 株式のインカムゲインとキャピタルゲインの考え方を学ぶ。	事前に予告された学習範囲について 教材等を参考にしながら予習する (90分)	授業後は理解した事柄をノートに整理する(90分)
9	政府と経済とはどんな関係があるのか 政府の財政政策が、経済の重要な調整機能となっていることを学ぶ。	事前に予告された学習範囲について 教材等を参考にしながら予習する (90分)	授業後は理解した事柄をノートに整理する(90分)
10	自由貿易と保護貿易 なぜ外国からものを買うのか、貿易をやめると幸せになれるのか。	事前に予告された学習範囲について 教材等を参考にしながら予習する (90分)	授業後は理解した事柄をノートに整理する(90分)
11	為替とは何か 円高と円安の仕組みを学び、我々の日常生活と関連づけて考える。	事前に予告された学習範囲について 教材等を参考にしながら予習する (90分)	授業後は理解した事柄をノートに整理する(90分)
12	為替相場 政府の為替介入が抱える2つの問題を考える。	事前に予告された学習範囲について 教材等を参考にしながら予習する (90分)	授業後は理解した事柄をノートに整理する(90分)
13	国際金融危機 投資ブームと為替の恐怖について考える。	事前に予告された学習範囲について 教材等を参考にしながら予習する (90分)	授業後は理解した事柄をノートに整理する(90分)
14	世界経済をどう見るか 国内と世界の両方に目を向け広い視野で考える。	事前に予告された学習範囲について 教材等を参考にしながら予習する (90分)	授業後は理解した事柄をノートに整理する(90分)
15	まとめ	事前に予告された学習範囲について 教材等を参考にしながら予習する (90分)	授業後は理解した事柄をノートに整理する(90分)

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
L130001		基礎化学A		2	15	講義	30	前期	1年	柳町悟司		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	栄養士	医療 マネジメント	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼンター Webデザイン 実務士	ITパス ポート	食育イン ストラク ター		
	○	△										
		編入	幼稚園 教諭	保育士	ベビー シッター							
		○										
ディプロマ ポリシー (学習成果)		生活科	身につけるべき力			身につけるべき具体的な資質・能力						該当項目 に○
			社会で活動するために必要な知識・技能			1. 知識を正確に理解する(知識理解)						○
						2. 技能を確実に習得(技能習得)						-
			社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力			3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)						○
						4. 状況を総合的に判断する(判断力)						-
						5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)						-
						6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)						-
			多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力			7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)						-
						8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感)						-
						9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)						○
			労力を惜しまず、生涯に渡って主体的に学ぶ力			10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)						○
		11. 計画を確実に実行する力(実行力)						-				
		保育科	①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける						-			
②子どもの心身の特性を知っている						-						
③子どもにとって望ましい環境を理解している						-						
④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている						-						
⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる						-						
授業概要		栄養士に必要な知識である三大栄養素の代謝を、体内物質と食物の相互作用(化学反応)と捉えて説明する										
授業の到達目標		栄養士必修科目である栄養学総論や生化学で扱われる内容を理解するために必要な知識を学ぶ										
単位認定の方法		期末試験	100 %	授業内小テスト	%	授業内活動	%	計 100 %				
		期末レポート	%	授業内提出物	%	その他	%					
フィードバックの方法		期末試験の採点終了後、希望者には点数を伝達する										
教科書・教材		使用しない(自作のプリントを授業時に配布し使用する)										
参考書・参考文献等		文光堂 管理栄養士を目指す学生のための 生化学テキスト 羊土社 栄養科学イラストレイティッド 生化学 ほか										
履修上の注意等		栄養士課程履修者は本講義の履修が望ましい										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	化学結合 イオン結合, 共有結合, 金属結合等について					シラバスに記載されている内容の確認			配布プリントの復習・60分以上			
2	有機化合物 構造式を用いた有機化合物の構造と性質					配布プリントの予習・30分以上			配布プリントの復習・30分以上			
3	糖質 糖質の構造, 単糖類, 二糖類, 多糖類					配布プリントの予習・30分以上			配布プリントの復習・30分以上			

4	タンパク質とアミノ酸 基本アミノ酸, タンパク質の高次構造	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習・30分以上
5	脂質1 脂肪酸(長鎖・中鎖・短鎖脂肪酸, 飽和・不飽和脂肪酸)	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習・30分以上
6	脂質2 トリアシルグリセロール, ステロイド	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習・30分以上
7	脂質3 複合脂質(リン脂質等)	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習・30分以上
8	化学量論1 物質量について	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習・30分以上
9	化学量論2 化学反応式について	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習・30分以上
10	化学反応とエネルギー 発熱反応・吸熱反応	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習・30分以上
11	物質の三態・比熱 固体・液体・気体の違い, 比熱について	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習・30分以上
12	食品中のタンパク質 食品に含まれるタンパク質の定量法	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習・30分以上
13	pH, 発酵 pHの意味, 発酵の具体例	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習・30分以上
14	酵素反応 酵素反応のメカニズム	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習・30分以上
15	問題演習 問題演習を通じて授業で行った内容の理解を深める	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習・30分以上

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員			
L130001		基礎生物学		2	15	講義	30	後期	1年	柳町悟司			
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験	
必修	選択	栄養士	医療 マネジメント	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼンテー ション実務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	食育イン ストラク ター		
	○	△											
		編入	幼稚園 教諭	保育士	ベビー シッター								
		○											
ディプロマ ポリシー (学習成果)		生活科	身につけるべき力				身につけるべき具体的な資質・能力					該当項目 に○	
			社会で活動するために必要な知識・技能	1. 知識を正確に理解する(知識理解)									○
				2. 技能を確実に習得(技能習得)									-
				3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)									○
				4. 状況を総合的に判断する(判断力)									-
				5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)									○
				6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)									-
				7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)									-
				8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感)									-
				9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)									○
				10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)									○
		11. 計画を確実に実行する力(実行力)									-		
		保育科	①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける									-	
			②子どもの心身の特性を知っている									-	
			③子どもにとって望ましい環境を理解している									-	
			④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている									-	
			⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる									-	
授業概要		新聞やニュースの記事等で扱われる生物学のテーマを題材として、人類を含む生物に関する知識を深める。											
授業の到達目標		新聞やニュース等で取り上げられる生物学のテーマを理解できるようになる。											
単位認定の方法		期末試験	100 %	授業内小テスト	%	授業内活動	%	計		100	%		
		期末レポート	%	授業内提出物	%	その他	%						
フィードバックの方法		期末試験の採点終了後、希望者には点数を伝達する											
教科書・教材		使用しない(自作のプリントを授業時に配布し使用する)											
参考書・参考文献等		羊土社 大学で学ぶ 身近な生物学 ほか											
履修上の注意等		内容の一部は栄養士必修科目(生化学等)の内容と関連が深いので、栄養士課程履修者は、本講義の履修が望ましい											
回	授 業 計 画					授業時間外学習							
						授業前・時間				授業後・時間			
1	生物とは何か 地球上で初の生命はどのように誕生したか					シラバスに記載されている内容の確認				配布プリントの復習・60分以上			
2	生物の進化1 生物多様性、生物の絶滅					配布プリントの予習・30分以上				配布プリントの復習・30分以上			
3	生物の進化2 食物連鎖					配布プリントの予習・30分以上				配布プリントの復習・30分以上			

4	生物の進化3 人類の誕生	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習・30分以上
5	遺伝子1 遺伝子の構造とはたらき	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習・30分以上
6	遺伝子2 遺伝子と体質の関係	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習・30分以上
7	遺伝子3 ジャンクDNA, DNAスイッチ	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習・30分以上
8	免疫1 自然免疫、獲得免疫、食物アレルギー	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習・30分以上
9	免疫2 各種免疫細胞の働き(NK細胞, B細胞, マクロファージ)	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習・30分以上
10	疾患の診断法 PCR検査, 陽性・陰性の解釈	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習・30分以上
11	生物の共存1 ヒトと家畜の関係	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習・30分以上
12	生物の共存2 ヒトと腸内細菌の関係	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習・30分以上
13	人類の進化1 絶滅した人類(ネアンデルタール人等)	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習・30分以上
14	人類の進化2 人類はこれまでどのように進化してきたか	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習・30分以上
15	人類の進化3 人類はこれからどのように進化する可能性があるか	配布プリントの予習・30分以上	配布プリントの復習・30分以上

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
L130002		キャリア基礎		1	15	演習	7.5	後期	1年	米塚清子		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	栄養士	医療 マネジメント	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼン テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	食育イン ストラク ター	
	○			△	△	△	△	△	△			
		編入	幼稚園 教諭	保育士	ベビー シッター							
ディプロマ ポリシー (学習成果)		生活科	身につけるべき力				身につけるべき具体的な資質・能力					該当項目 に○
			社会で活動するために必要な知識・技能				1. 知識を正確に理解する(知識理解)					○
							2. 技能を確実に習得(技能習得)					○
			社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力				3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)					○
							4. 状況を総合的に判断する(判断力)					-
							5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)					○
			多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力				6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)					○
							7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)					-
							8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感)					-
			労力を惜しまず、生涯に渡って主体的に学ぶ力				9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)					○
							10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)					-
		11. 計画を確実に実行する力(実行力)					-					
保育科	①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										-	
	②子どもの心身の特性を知っている										-	
	③子どもにとって望ましい環境を理解している										-	
	④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										-	
	⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										-	
授業概要		キャリアの本質を理解し、仕事や人生に対する自分なりの考えを深める。豊かな日常生活や学校生活を実現するために、ビジネスマナーやコミュニケーション、社会人基礎力を習得する。学びと実践を繰り返しながら、自らの成長を実感し、将来のキャリアにつなげていく。										
授業の到達目標		自分の価値観や強みを理解し、将来のキャリアについて考えられるようになる。 社会で求められる基本的なコミュニケーション力やビジネスマナーを身につける。 ストレス管理や自己管理の方法を学び、充実した学校生活・社会生活を送る基礎を築く。										
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	%	授業内活動	30	%	計 100 %			
		期末レポート	30 %	授業内提出物	40 %	その他		%				
フィードバックの方法		授業ごとに自己評価を行い、学びの定着度を確認する。										
教科書・教材		使用しない（授業内容に応じて適宜プリントを配布する）。										
参考書・参考文献等		特になし										
履修上の注意等		自分自身のキャリアについて考える機会として、主体的に学ぶことが求められる。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
	1	キャリアとは何か キャリアの定義・キャリアデザインの基本・キャリアの必要性・社会の変化とキャリアについて					授業の予習時間・30分			課題時間・30分		
	2	コミュニケーションの基本 「聞く・話す・伝える」の基本、相手に伝わる話し方、相槌や表情の大切さ					授業の予習時間・30分			課題時間・30分		
	3	自己主張と自己開示 学校生活での人間関係の築き方、敬語の基本、適切な距離感の保ち方					授業の予習時間・30分			課題時間・30分		

4	チームでの協力 チームビルディングの必要性、グループワークの進め方、意見のまとめ方、リーダーシップとフォロワーシップ	授業の予習時間・30分	課題時間・30分
5	社会人基礎力とビジネスマナー 社会で求められるスキル・ビジネスマナー（挨拶・お辞儀・言葉遣い・メールの書き方・SNSの使い方 など）	授業の予習時間・30分	課題時間・30分
6	自分を整える力：セルフマネジメント 日常生活や学校生活において生じるストレスへの適切な対応方法	授業の予習時間・30分	課題時間・30分
7	自己分析：未来につなげる自己探求 自分の価値観や特性を理解し、強みや課題の明確化	授業の予習時間・30分	課題時間・30分
8	キャリア形成に向けた第一歩 自分の強み・弱みの分析、行動計画を立てる 学んだことの整理と振り返り	授業の予習時間・30分	課題時間・30分
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員				
L130001		津軽を探る		1	15	講義	30	後期	1年	米塚清子				
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験		
必修	選択	栄養士	医療 マネジメン ト	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼン テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	食育イン ストラク ター			
	○													
		編入	幼稚園 教諭	保育士	ベビー シッター									
ディプロマ ポリシー (学習成果)		生活科	身につけるべき力			身につけるべき具体的な資質・能力						該当項目 に○		
			社会で活動するために必要な知識・技能	1. 知識を正確に理解する(知識理解)						○				
				2. 技能を確実に習得(技能習得)						-				
			社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力	3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)						○				
				4. 状況を総合的に判断する(判断力)						-				
				5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)						-				
			多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力	6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)						-				
				7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)						-				
				8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感)						-				
			労力を惜しまず、生涯に渡って主体的に学ぶ力	9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)						○				
				10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)						-				
		11. 計画を確実に実行する力(実行力)						-						
		保育科	①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける						-					
			②子どもの心身の特性を知っている						-					
			③子どもにとって望ましい環境を理解している						-					
④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている						-								
⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる						-								
授業概要		津軽に住む、様々な方面で活躍するゲストスピーカーの話聞き、津軽への愛着を深める。												
授業の到達目標		ゲストスピーカーの話を通して地域社会の多様な取り組みを理解する。 津軽の魅力や課題について自分の考えを言葉で表現できる。 津軽の未来について主体的に考え、意見をまとめることができる。												
単位認定の方法		期末試験	%		授業内小テスト	%		授業内活動	30	%		計	100	%
		期末レポート	40 %		授業内提出物	30 %		その他	%					
フィードバックの方法		成績不良者に個別指導を行う。												
教科書・教材		なし。随時プリント等を用いる。												
参考書・参考文献等		津軽に学ぶ会「津軽学」(シリーズ) 「ひろさき読解本」(津軽ひろさき歴史文化観光検定公式テキスト)弘前観光コンベンション協会												
履修上の注意等		ゲストスピーカーの都合等により不規則な開講になる可能性があります。詳細は初回時に伝えます。												
回	授 業 計 画					授業時間外学習								
						授業前・時間				授業後・時間				
1	オリエンテーション 津軽への興味関心を高める					左記に関することをネット検索等で 授業内容をネット検索などで調べ る (30分以上)				授業内容を復習し、不明な点は質問 する (30分以上)				
2	弘前に観光施策 ※ ゲストスピーカーによる授業					左記に関することをネット検索等で 授業内容をネット検索などで調べ る (30分以上)				授業内容を復習し、不明な点は質問 する (30分以上)				
3	津軽の歴史 ※ ゲストスピーカーによる授業					左記に関することをネット検索等で 授業内容をネット検索などで調べ る (30分以上)				授業内容を復習し、不明な点は質問 する (30分以上)				

4	岩木山の魅力 ※ ゲストスピーカーによる授業	左記に関することをネット検索等で き授業内容をネット検索などで調べ る (30分以上)	授業内容を復習し、不明な点は質問 する (30分以上)
5	津軽の食材と食文化 ※ ゲストスピーカーによる授業	左記に関することをネット検索等で き授業内容をネット検索などで調べ る (30分以上)	授業内容を復習し、不明な点は質問 する (30分以上)
6	津軽の伝統楽器津軽三味線 ※ ゲストスピーカーによる授業	左記に関することをネット検索等で き授業内容をネット検索などで調べ る (30分以上)	授業内容を復習し、不明な点は質問 する (30分以上)
7	津軽で夢をかなえる アイドルの挑戦 ※ ゲストスピーカーによる授業	左記に関することをネット検索等で き授業内容をネット検索などで調べ る (30分以上)	授業内容を復習し、不明な点は質問 する (30分以上)
8	振り返りとまとめ	授業の到達目標を達成できたかを自 己評価する (30分以上)	期末レポートに取り組む (60分以上)
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
L110001		現代作法学		2	15	講義	30	前期	1年	米塚清子		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	栄養士	医療 マネジメン ト	ビジネス 実務士	上級ビジネ ス実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼン テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	食育イン ストラク ター	
○			△									
		編入	幼稚園 教諭	保育士	ベビー シッター							
		○										
ディプロマ ポリシー (学習成果)		生活科	身につけるべき力			身につけるべき具体的な資質・能力						該当項目 に○
			社会で活動するために必要な知識・技能	1. 知識を正確に理解する(知識理解)						○		
				2. 技能を確実に習得(技能習得)						○		
			社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力	3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)						○		
				4. 状況を総合的に判断する(判断力)						○		
				5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)						○		
			多様な人々と共に共通の目標実現に向 かって協働する力	6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)						○		
				7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)						○		
			8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる (責任感)						○			
			労力を惜しまず、生涯に渡って主体的 に学ぶ力	9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)						-		
				10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)						-		
		11. 計画を確実に実行する力(実行力)						-				
		保育科	①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける						○			
			②子どもの心身の特性を知っている						-			
			③子どもにとって望ましい環境を理解している						○			
④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている						-						
⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる						○						
授業概要		学生・社会人として身につけることが望まれる基本マナー、訪問と応対のマナー 言葉づかいと人間関係のマナー手紙・ビジネス文書のマナー、食事のマナー、冠婚葬祭のマナー等から学ぶ。										
授業の到達目標		日本文化としての礼儀作法について、成り立ちと意味を理解する。さらに作法(マナー)の実際を学び、日常生活に活かしながら身につける。										
単位認定の方法		期末試験	40 %	授業内小テスト	20 %	授業内活動	20 %	計 100 %				
		期末レポート	%	授業内提出物	20 %	その他	%					
フィードバックの方法		レスポンスシートや小テスト等の提出課題について添削、返却をする。										
教科書・教材		使用しない(授業内容に応じて適宜プリントを配付する)。										
参考書・参考文献等		『新生活教養―社会人としての基本マナー』(建帛社)ほか										
履修上の注意等		授業で学んだことを日常生活に活かすことができるように、意欲を持って受講すること。授業計画は、進捗状況によって変更することがある。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	オリエンテーション 現代作法学を学ぶことの意義並びに礼儀作法について 挨拶について					事前にシラバスを読み、当科目の意義を考えておくこと。			授業後に小レポート(400字程度)を作成し、次回授業で提出すること。 (60分以上)			
2	手紙・ビジネス文書のマナー(1) 郵便知識とビジネス用語					事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。 (30分以上)			プリントやノートをしつかり整理する。からない用語や不明な点は確認し理解する。 (30分以上)			
3	手紙・ビジネス文書のマナー(2) 手紙(はがき・封書)のマナー、メール・ビジネス文書のマナー					事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。 (30分以上)			プリントやノートをしつかり整理する。からない用語や不明な点は確認し理解する。 (30分以上)			

4	電話応対電話応対の心構え、かけ方・受け方のマナー、その他の通信機器 ロールプレイ、グループワーク	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。 (30分以上)	グループワークやロールプレイで学んだ内容は、TP0に応じて自分に適用できるよう練習する。 (30分以上)
5	基本マナー(1) ～立ち居振る舞いの基本①～ お辞儀の基本・服装・身だしなみ	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。 (30分以上)	プリントやノートをしつかり整理する。からない用語や不明な点は確認し理解する。 (30分以上)
6	基本マナー(2) ～7立ち居振る舞いの基本②～ 応対の基本姿勢、物の持ち方・渡し方	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。 (30分以上)	プリントやノートをしつかり整理する。からない用語や不明な点は確認し理解する。 (30分以上)
7	基本マナー(3) グループワーク 小テスト	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。 (30分以上)	グループワークやロールプレイで学んだ内容は、TP0に応じて自分に適用できるよう練習する。 (30分以上)
8	言葉づかいと人間関係 ～コミュニケーションと言葉～	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。 (30分以上)	グループワークやロールプレイで学んだ内容は、TP0に応じて自分に適用できるよう練習する。 (30分以上)
9	社会人としての基本マナー(1) ～職場のルールとマナー～ 職場の基本ルール、職場の仕組みと仕事の進め方のルール、身だしなみについて	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。 (30分以上)	グループワークやロールプレイで学んだ内容は、TP0に応じて自分に適用できるよう練習する。 (30分以上)
10	社会人としての基本マナー(2) ロールプレイ、グループワーク	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。 (30分以上)	プリントやノートをしつかり整理する。からない用語や不明な点は確認し理解する。 (30分以上)
11	社会人としての基本マナー(3) ～来客応対～ 来客応対の心得、受付の仕方、取り次ぎの仕方、案内の仕方 ロールプレイ、グループワーク	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。 (30分以上)	グループワークやロールプレイで学んだ内容は、TP0に応じて自分に適用できるよう練習する。 (30分以上)
12	社会人としての基本マナー(4) ～来客応対～ 緑茶の種類と入れ方・出し方、緑茶以外の飲み物、緑茶の種類と入れ方・出し方の実際他 ロールプレイ、グループワーク	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。 (30分以上)	プリントやノートをしつかり整理する。からない用語や不明な点は確認し理解する。 (30分以上)
13	社会人としての基本マナー(5) ～席次のマナー～ 席次の考え方、応接室の席次、会議室の席次、乗り物の席次	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。 (30分以上)	プリントやノートをしつかり整理する。からない用語や不明な点は確認し理解する。 (30分以上)
14	食事のマナー ～T.P.0に応じた食事のマナー～ 旅行のマナー ～旅行の際に心がけたい事柄～ 小テスト	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。 (30分以上)	プリントやノートをしつかり整理する。からない用語や不明な点は確認し理解する。 (30分以上)
15	冠婚葬祭 ～慶弔贈答のマナー～	事前に配付されたプリントの内容を参照し、授業で扱うテーマを予習しておく。 (30分以上)	プリントやノートをしつかり整理する。からない用語や不明な点は確認し理解する。 (30分以上)

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
L130002		音楽		2	15	演習	30	後期	1年	金山茉莉花		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	栄養士	医療 マネジメント	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼン テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	食育イン ストラク ター	○
	○											
		編入	幼稚園 教諭	保育士	ベビー シッター							
ディプロマ ポリシー (学習成果)	生活科	身につけるべき力				身につけるべき具体的な資質・能力						該当項目 に○
		社会で活動するために必要な知識・技能				1. 知識を正確に理解する(知識理解)						○
						2. 技能を確実に習得(技能習得)						-
		社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力				3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)						-
						4. 状況を総合的に判断する(判断力)						-
		多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力				5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)						○
						6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)						○
		多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力				7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)						-
						8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感)						-
		労力を惜しまず、生涯に渡って主体的に学ぶ力				9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)						○
						10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)						-
	11. 計画を確実に実行する力(実行力)						-					
	保育科	①常に周囲の人に耳を傾け、社会人・保育者としての向上心を持ち続ける										○
②子どもの心身の特性を知っている										-		
③子どもにとって望ましい環境を理解している										-		
④子どもと楽しく遊ぶ技術を身につけている										○		
⑤子どもや保護者の諸問題にチームで解決できる										-		
授業概要		・音楽に親しみを持って関わることで、生涯にわたって音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽への興味・関心を高める。 ・表現と鑑賞の実体験を通して、音楽文化の多様性について自分なりに考察する。										
授業の到達目標		・音楽に親しみを持って関わることで、音楽を愛好する心を養う。 ・表現や鑑賞を通して、音楽文化の変遷に気づき、文化の多様性を理解する。										
単位認定の方法		期末試験	—	%	授業内小テスト	—	%	授業内活動	30	%	計	100 %
		期末レポート	40	%	授業内提出物	30	%	その他	—	%		
フィードバックの方法		・授業時に提出する出席カードにコメントを記入します。 ・翌回の授業時に、出席カードの記述に対するフィードバックを行います。										
教科書・教材		使用しない。(授業時に適宜資料を配布します。)										
参考書・参考文献等		授業時に随時紹介します。										
履修上の注意等		・体験活動を行いますので、動きやすい服装で参加するようにしましょう。 ・音楽経験の有無(高校での芸術選択も含む)に関係なく、「音楽の楽しさや良さを知る」姿勢を大切に、授業に臨みましょう。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間				授業後・時間		
1	オリエンテーション・これまでの音楽の学びの振り返り					図書館やインターネット等で関連する内容を調べる。(目安として1週間あたり90分以上)				授業で配布する資料等を参考に復習する。(目安として1週間あたり90分以上)		
2	声を使った表現①—1980年代から2000年代に流行したポピュラー音楽					〃				〃		
3	声を使った表現②—2010年以降に流行したポピュラー音楽					〃				〃		

4	体を使った音楽表現①—即時反応	〃	〃
5	体を使った音楽表現②—音の高低・強弱・速度	〃	〃
6	楽器を使った表現①—小物打楽器	〃	〃
7	楽器を使った表現②—太鼓、シンバル	〃	〃
8	楽器を使った表現③—鍵盤打楽器	〃	〃
9	ハンドベルやトーンチャイムを使った表現① —楽器の特徴や扱い方について	〃	〃
10	ハンドベルやトーンチャイムを使った表現② —簡単な曲の演奏	〃	〃
11	ハンドベルやトーンチャイムを使った表現③ —クリスマスソングの読譜	〃	〃
12	ハンドベルやトーンチャイムを使った表現④ —クリスマスソングの演奏	〃	〃
13	ハンドベルやトーンチャイムを使った表現⑤ —表現方法の工夫	〃	〃
14	ハンドベルやトーンチャイムを使った表現⑥ —クリスマスミニ音楽会	〃	〃
15	まとめ—期末レポートの作成	〃	〃

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員					
L127002		英語(1)		2	15	演習	30	後期	1年	ウォータース雅代					
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験			
必修	選択	栄養士	医療 マネジメン ト	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼン テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	食育イン ストラク ター	編入			
	○	○	△	△	△	△	△	△	△			○			
ディプロマ ポリシー (学習成果)		身につけるべき力				身につけるべき具体的な資質・能力							該当項目 に○		
		社会で活動するために必要な知識・技能				1. 知識を正確に理解する(知識理解)							○		
						2. 技能を確実に習得(技能習得)							○		
		社会で活躍するための土台となる思考 力・判断力・表現力				3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)							○		
						4. 状況を総合的に判断する(判断力)							○		
						5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)							○		
		多様な人々と共に共通の目標実現に向 かって協働する力				6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)							○		
						7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)							○		
						8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる (責任感)							○		
		労力を惜しまず、生涯に渡って主体的 に学ぶ力				9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)							○		
						10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)							○		
11. 計画を確実に実行する力(実行力)							○								
授業概要		高校までに学習した基礎的英文法を復習しながらスピーキングとリスニング、リーディング、ライティングという英語の4技能と組み合わせながら学び、総合的な英語力の基礎を身につける。													
授業の到達目標		テキストを積極的に活用し、アクティブラーニング（ペアワークやグループワーク）でのクラスメートとの共同作業を通じ英文法・話法の基礎知識が定着し、英語でのコミュニケーションを楽しく行うことが可能になる。													
単位認定の方法		期末試験	60 %			授業内小テスト				%	授業内活動	30 %		計	100 %
		期末レポート				%	授業内提出物	10 %			その他				
フィードバックの方法		授業内提出物等は採点后返却する。													
教科書・教材		"Everyday English Grammar (Fourth Edition) 大学生のためのコミュニケーション英文法(改訂4版) NAN' UN-DO ISBN 978-4-523-17959-7													
参考書・参考文献等		自宅学習では中学・高校で使用した参考書、または中高生向けの英語復習サイトなどを活用すること													
履修上の注意等		英和辞書（できれば電子辞書が望ましい）を持参。大きな声で積極的に挙手発言しましょう。授業中のスマホ等通信機器の使用は禁止。													
回	授 業 計 画					授業時間外学習									
						授業前・時間				授業後・時間					
1	オリエンテーション 授業の流れの説明。発音練習 プリント配布 Unit 1 be動詞（現在形）					教科書を読んで学習範囲の単語の意味を調べノートに記載、音声を聞き発音練習（60分以上）教科書を読んで文法を理解してからテキストの練習問題を解く（60分以上）				授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を聞きシャドウイングの練習をする。（30分以上）書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える（30分以上）					
2	Unit 2 一般動詞（現在形） Unit 3 be動詞（過去形）					教科書を読んで学習範囲の単語の意味を調べノートに記載、音声を聞き発音練習（60分以上）教科書を読んで文法を理解してからテキストの練習問題を解く（60分以上）				授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を聞きシャドウイングの練習をする。（30分以上）書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える（30分以上）					
3	Unit 4 一般動詞（過去形、規則変化） Unit 5 一般動詞（過去形、不規則変化）					教科書を読んで学習範囲の単語の意味を調べノートに記載、音声を聞き発音練習（60分以上）教科書を読んで文法を理解してからテキストの練習問題を解く（60分以上）				授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を聞きシャドウイングの練習をする。（30分以上）書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える（30分以上）					
4	Unit 6 命令形、There is(are)～ Unit 7 itの特別用法					教科書を読んで学習範囲の単語の意味を調べノートに記載、音声を聞き発音練習（60分以上）教科書を読んで文法を理解してからテキストの練習問題を解く（60分以上）				授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声を聞きシャドウイングの練習をする。（30分以上）書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える（30分以上）					

5	Unit 8 注意すべき疑問文 Unit 9 進行形	教科書を読んで学習範囲の単語の意味を調べノートに記載、音声聞き 発音練習 (60分以上)教科書を読んで文法を理解してからテキストの練習問題を解く (60分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声聞き シャドウイングの練習をする。(30分以上) 書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)
6	Unit 10 未来形 Unit 11 助動詞 (1) UNIT12 助動詞 (2)	教科書を読んで学習範囲の単語の意味を調べノートに記載、音声聞き 発音練習 (60分以上)教科書を読んで文法を理解してからテキストの練習問題を解く (60分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声聞き シャドウイングの練習をする。(30分以上) 書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)
7	Unit 13 名詞・冠詞 Unit 14 代名詞 UNIT15 前置詞	教科書を読んで学習範囲の単語の意味を調べノートに記載、音声聞き 発音練習 (60分以上)教科書を読んで文法を理解してからテキストの練習問題を解く (60分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声聞き シャドウイングの練習をする。(30分以上) 書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)
8	Unit 16 形容詞 Unit 17 副詞	教科書を読んで学習範囲の単語の意味を調べノートに記載、音声聞き 発音練習 (60分以上)教科書を読んで文法を理解してからテキストの練習問題を解く (60分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声聞き シャドウイングの練習をする。(30分以上) 書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)
9	Unit 18 比較 (1)	教科書を読んで学習範囲の単語の意味を調べノートに記載、音声聞き 発音練習 (60分以上)教科書を読んで文法を理解してからテキストの練習問題を解く (60分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声聞き シャドウイングの練習をする。(30分以上) 書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)
10	Unit 19 比較 (2)	教科書を読んで学習範囲の単語の意味を調べノートに記載、音声聞き 発音練習 (60分以上)教科書を読んで文法を理解してからテキストの練習問題を解く (60分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声聞き シャドウイングの練習をする。(30分以上) 書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)
11	Unit 20 接続詞 Unit 21 受け身 (受動態)	教科書を読んで学習範囲の単語の意味を調べノートに記載、音声聞き 発音練習 (60分以上)教科書を読んで文法を理解してからテキストの練習問題を解く (60分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声聞き シャドウイングの練習をする。(30分以上) 書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)
12	Unit 22 不定詞 Unit 23 動名詞	教科書を読んで学習範囲の単語の意味を調べノートに記載、音声聞き 発音練習 (60分以上)教科書を読んで文法を理解してからテキストの練習問題を解く (60分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声聞き シャドウイングの練習をする。(30分以上) 書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)
13	Unit 24 分詞	教科書を読んで学習範囲の単語の意味を調べノートに記載、音声聞き 発音練習 (60分以上)教科書を読んで文法を理解してからテキストの練習問題を解く (60分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声聞き シャドウイングの練習をする。(30分以上) 書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)
14	Unit 25 現在完了	教科書を読んで学習範囲の単語の意味を調べノートに記載、音声聞き 発音練習 (60分以上)教科書を読んで文法を理解してからテキストの練習問題を解く (60分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声聞き シャドウイングの練習をする。(30分以上) 書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)
15	まとめ	教科書を読んで学習範囲の単語の意味を調べノートに記載、音声聞き 発音練習 (60分以上)教科書を読んで文法を理解してからテキストの練習問題を解く (60分以上)	授業中理解した事柄を繰り返し学習し知識の定着を図る。音声聞き シャドウイングの練習をする。(30分以上) 書けない単語は繰り返し文章とともに書いて覚える (30分以上)

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員				
L117001		保健体育		1	7.5	講義	15	後期	1年	今和香子・佐藤裕				
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目											実務経験	
必修	選択	栄養士	医療 マネジメント	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼン テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	食育イン ストラク ター	編入		
○		○										○		
ディプロマ ポリシー (学習成果)		身につけるべき力			身につけるべき具体的な資質・能力								該当項目 に○	
		社会で活動するために必要な知識・技能			1. 知識を正確に理解する(知識理解)								○	
					2. 技能を確実に習得(技能習得)								-	
		社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力			3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)								○	
					4. 状況を総合的に判断する(判断力)								○	
					5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)								-	
		多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力			6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)								○	
					7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)								-	
					8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感)								-	
		労力を惜しまず、生涯に渡って主体的に学ぶ力			9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)								○	
					10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)								-	
					11. 計画を確実に実行する力(実行力)								-	
授業概要		健康に過ごすために自分の健康状態に目を向け、運動と健康の関係について理解を深め、健康を保つための方法について学ぶ。												
授業の到達目標		授業計画にそった内容を理解する												
単位認定の方法		期末試験	100	%	授業内小テスト		%	授業内活動		%	計	100	%	
		期末レポート		%	授業内提出物		%	その他		%				
フィードバックの方法		・授業内提出物返却時に解説する。 ・新体力テスト及びQOL健診実施結果返却時に解説する。												
教科書・教材		特になし。資料を配布する。												
参考書・参考文献等		新高等保健体育（大修館書店）・スポーツ文化論												
履修上の注意等		新体力テスト・QOL健診実施時は、体育館にて実施する。												
回	授 業 計 画					授業時間外学習								
						授業前・時間				授業後・時間				
1	・保健体育についての概略説明 ・「健康」とは何か、自分の意識及び健康の定義について知る。									プリントによる講義概要把握と自分の健康状態に目を向ける：30分				
2	・「体力」の定義を確認する。 ・「新体力テスト」実施結果をもとに、自己の現在の体力について考察する。					「体力」について各自調べる (30分)				講義内容の復習（30分）				
3	・有酸素運動と無酸素運動の特徴と健康との関わりについて					有酸素運動・無酸素運動について予習 (30分)				講義内容の復習（30分）				
4	・健康と運動の関係について理解し、自己の運動実践について考察する。					自分の運動習慣についてまとめておく。 (30分)				講義内容の復習（30分）				

5	・トレーニングの基本と実施について	トレーニング方法について予習する。(30分)	講義内容の復習(30分)
6	・QOL健診実施結果から、自己の生活習慣について考察する。	QOL健診実施上の注意を確認する。(30分)	講義内容の復習(30分)
7	・生活習慣と健康について	自分の生活習慣についてまとめておく。(30分)	講義内容の復習(30分)
8	講義内容のまとめ(テスト)	講義内容を復習し、自分の健康について考察する。(1時間)	テスト結果を確認し、健康な生活を営むための実践を考える。(30分)
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態		時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
L117003		体育実技		1	15	実技		30	前期	1年	神 和人		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験	
必修	選択	栄養士	医療 マネジメント	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼン テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	食育イン ストラク ター	編入	
○		○										○	
ディプロマ ポリシー (学習成果)		身につけるべき力			身につけるべき具体的な資質・能力								該当項目 に○
		社会で活動するために必要な知識・技能			1. 知識を正確に理解する(知識理解)								○
					2. 技能を確実に習得(技能習得)								○
		社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力			3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)								○
					4. 状況を総合的に判断する(判断力)								○
					5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)								○
		多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力			6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)								○
					7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)								○
					8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感)								○
					9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)								○
		労力を惜しまず、生涯に渡って主体的に学ぶ力			10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)								○
11. 計画を確実に実行する力(実行力)								○					
授業概要		運動処方の実施から始まり、各種スポーツの技術習得											
授業の到達目標		スポーツの楽しさを学び、生涯運動を継続するために「協力」礼儀」「尊重」を学ぶ											
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	70	%	授業内活動	30	%	計 100 %			
		期末レポート	%	授業内提出物		%	その他		%				
フィードバックの方法		チーム戦術についてはチームごとに解説する。											
教科書・教材		プリント・用具での説明											
参考書・参考文献等		特になし											
履修上の注意等		運動をするための服装と規則の厳守											
回	授 業 計 画					授業時間外学習							
						授業前・時間				授業後・時間			
1	体育実技のガイダンス：授業内容説明					準備運動の実施（ストレッチング）：30分				運動実施に向けた準備：20分			
2	体づくり運動（柔軟性・有酸素系）					準備運動の実施（ストレッチング）：30分				実技内容を理解し実施：30分			
3	体づくり運動（筋力・敏捷性）					準備運動の実施（ストレッチング）：30分				実技内容を理解し実施：30分			
4	バドミントンのガイダンス及びラケット・シャトルについて					準備運動の実施（ストレッチング）：30分				ラケット・シャトルとの距離把握：30分			

5	バドミントンの基本技術習得（ハイクリアー・ヘアピン）	準備運動の実施（ストレッチング）：30分	打点の確認：20分
6	バドミントンの基本技術習得（ドロップ・ドライブ）	ラケットと打点の確認：30分	身体とシャトルを打つ位置確認：30分
7	バドミントンの基本技術習得（スマッシュ・レシーブ）	ハイクリアーの打点確認：30分	コンパクトな振り：20分
8	バドミントンの基本技術習得（ゲーム方法・ルール・テスト練習）	チーム戦術の構築：30分	個人の役割とチーム戦術：40分
9	バドミントンの小テスト	チーム役割の確認：30分	チームとしての検証：30分
10	ソフトバレーボールのガイダンス	準備運動の実施（ストレッチング）：30分	ボールとの慣れ：20分
11	ソフトバレーボールの基本技術習得（レシーブ・トス）	正確なレシーブ・トス：30分	ボールのコントロール：30分
12	ソフトバレーボールの基本技術習得（サーブ・アタック・ブロック）	ボールをコンパクトに打つ練習：30分	コンパクトな振り方・ブロック時の手の確認：30分
13	ソフトバレーボールの基本技術習得（ゲーム方法説明・ルール・テストに向けた戦術）	アタックのコンパクトな打法習得：30分	チーム戦術：30分
14	ソフトバレーボールのテスト	戦術確認：30分	勝敗についての検証：30分
15	各種スポーツの実施	準備運動の実施：30分	各種スポーツの技術確認

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員								
L210001		家庭と社会		2	15	講義	30	前期	1年	玉田真梨菜								
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験						
必修	選択	栄養士	医療 マネジメン ト	ビジネス 実務士	上級ビジネ ス実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼン テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	食育イン ストラク ター	編入						
○												○						
ディプロマ ポリシー (学習成果)		身につけるべき力				身につけるべき具体的な資質・能力							該当項目 に○					
		社会で活動するために必要な知識・技能				1. 知識を正確に理解する(知識理解)							○					
						2. 技能を確実に習得(技能習得)							-					
		社会で活躍するための土台となる思考 力・判断力・表現力				3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)							○					
						4. 状況を総合的に判断する(判断力)							○					
						5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)							-					
		多様な人々と共に共通の目標実現に向 かって協働する力				6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)							○					
						7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)							○					
						8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる (責任感)							-					
						9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)							○					
		労力を惜しまず、生涯に渡って主体的 に学ぶ力				10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)							-					
						11. 計画を確実に実行する力(実行力)							-					
授業概要		「家族」で生活する場が「家庭」であり、生まれてから育てられた「家族・家庭」と「これから作っていく「家族・家庭」がある。時代とともに多様化していく「家族・家庭」をどのように選択し、築いていくのか。人生の節目「就労」「結婚」「出産」「子育て」「介護」「老後」のライフステージ毎に、私たちを守る法律を知り、「家庭と社会」の課題を取り上げ、幸せな人生を歩むことができる学びにつなげる。																
授業の到達目標		①家庭生活が個人、社会にとってどのような役割を持っているかを理解できる ②家族・家庭のあり方を見つめ、将来の家族・家庭について考得することができる ③少子化・高齢社会等今日の課題をあげ、持続可能な家庭経営を計画できる																
単位認定の方法		期末試験				%		授業内小テスト		%		授業内活動		20	%	計	100	%
		期末レポート				45		%	授業内提出物		35		%	その他				
フィードバックの方法		授業内提出物は採点評価し、返却する。																
教科書・教材		なし																
参考書・参考文献等		21世紀の生活経営-自分らしく生きる-第三版：同文書院 改訂新しい家族関係学：建帛社 現代家族を読み解く12章 日本家政学会編：丸善出版																
履修上の注意等		新聞やニュースなどから興味・関心をもって情報を得、考える。																
回	授 業 計 画					授業時間外学習												
						授業前・時間						授業後・時間						
1	ガイダンス 「家庭と社会」では何を学ぶのか。 自分史(過去)作成について					自分の歴史を振り返る						自分の過去・現在・未来について考 える。						
2	家族について					授業計画のテーマに関する、新聞記 事や本等情報を入手し、一読してく る						授業を通して理解したことと、予習 してきたことを照らし合わせ、理解 を深める						
3	家族と法について					授業計画のテーマに関する、新聞記 事や本等情報を入手し、一読してく る						授業を通して理解したことと、予習 してきたことを照らし合わせ、理解 を深める						
4	子ども、若者と家族について					授業計画のテーマに関する、新聞記 事や本等情報を入手し、一読してく る						授業を通して理解したことと、予習 してきたことを照らし合わせ、理解 を深める						

5	ジェンダーと家族について	授業計画のテーマに関する、新聞記事や本等情報を入手し、一読して く	授業を通して理解したことと、予習してきたことを照らし合わせ、理解を深める
6	結婚について	授業計画のテーマに関する、新聞記事や本等情報を入手し、一読して く	授業を通して理解したことと、予習してきたことを照らし合わせ、理解を深める
7	出産について	授業計画のテーマに関する、新聞記事や本等情報を入手し、一読して く	授業を通して理解したことと、予習してきたことを照らし合わせ、理解を深める
8	子育てについて	授業計画のテーマに関する、新聞記事や本等情報を入手し、一読して く	授業を通して理解したことと、予習してきたことを照らし合わせ、理解を深める
9	労働と家族について	授業計画のテーマに関する、新聞記事や本等情報を入手し、一読して く	授業を通して理解したことと、予習してきたことを照らし合わせ、理解を深める
10	高齢者と生きる、高齢期を生きることについて	授業計画のテーマに関する、新聞記事や本等情報を入手し、一読して く	授業を通して理解したことと、予習してきたことを照らし合わせ、理解を深める
11	生活保障と家族について	授業計画のテーマに関する、新聞記事や本等情報を入手し、一読して く	授業を通して理解したことと、予習してきたことを照らし合わせ、理解を深める
12	生活環境と家族について	授業計画のテーマに関する、新聞記事や本等情報を入手し、一読して く	授業を通して理解したことと、予習してきたことを照らし合わせ、理解を深める
13	グローバリゼーションと家族について	授業計画のテーマに関する、新聞記事や本等情報を入手し、一読して く	授業を通して理解したことと、予習してきたことを照らし合わせ、理解を深める
14	これからの家族の展望について 自分史(未来)作成について	授業計画のテーマに関する、新聞記事や本等情報を入手し、一読して く	授業を通して理解したことと、予習してきたことを照らし合わせ、理解を深める
15	まとめ 家庭と社会レポート作成、学習アンケート回答	授業計画のテーマに関する、新聞記事や本等情報を入手し、一読して く	授業を通して理解したことと、予習してきたことを照らし合わせ、理解を深める

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員				
L220112		情報処理		2	15	演習	30	前期	1年	米塚清子				
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目												実務経験
必修	選択	栄養士	医療 マネジメン ト	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼン テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	食育イン ストラク ター	編入		
	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○		○		
ディプロマ ポリシー (学習成果)		身につけるべき力				身につけるべき具体的な資質・能力								該当項目 に○
		社会で活動するために必要な知識・技能				1. 知識を正確に理解する(知識理解)								○
						2. 技能を確実に習得(技能習得)								○
		社会で活躍するための土台となる思考 力・判断力・表現力				3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)								○
						4. 状況を総合的に判断する(判断力)								○
						5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)								○
		多様な人々と共に共通の目標実現に向 かって協働する力				6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)								-
						7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)								-
						8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる (責任感)								-
						9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)								-
労力を惜しまず、生涯に渡って主体的 に学ぶ力				10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)								-		
				11. 計画を確実に実行する力(実行力)								-		
授業概要		本授業では、Wordによる文書作成およびExcelによる表計算・データ処理の基礎を学び、実務で活用できる基本技能の習得を目的とする。実習を中心に、文書作成、表作成、計算処理、グラフ作成などを行い、社会で必要とされる、文書作成やデータ整理などの基本的な情報処理能力を身につける。												
授業の到達目標		Windowsの基本操作とともに、ワープロソフト「Word」と表計算ソフト「Excel」を通して、レポート作成、データの集計・分析まで、学生生活やビジネスに役立つ機能をマスターする。												
単位認定の方法		期末試験	40 %		授業内小テスト	30 %		授業内活動	%		計 100 %			
		期末レポート	%		授業内提出物	30 %		その他	%					
フィードバックの方法		提出課題（授業で演習する練習問題）について添削、返却をする。												
教科書・教材		使用しない。（授業内容に応じて適宜プリントを配布する）												
参考書・参考文献等		必要に応じて紹介する。												
履修上の注意等		本授業はパソコンを使用した実習形式で行う。授業内容の理解には、毎回の出席と課題への取り組みが重要である。授業中に指示された課題は、指定された方法で提出すること。												
回	授 業 計 画					授業時間外学習								
						授業前・時間				授業後・時間				
1	講義概要・コンピュータ実習室利用の留意事項を説明 キー配列をタッチタイピングで入力できるようになる練習 習熟度アンケートの実施					事前にシラバスを読み、本科目の概 要を理解しておくこと。				配付プリントの内容を整理する。演 習問題で不明な点があれば確認し理 解する。(60分以上)				
2	ワープロソフトWordの特長と機能 基本的な文書の作成(1) 一文書の作成と管理―					事前に配付されたプリントを参照 し、授業で演習する課題内容を予習 しておく。(30分以上)				授業で演習した課題を期限までに提 出する。不明な点があれば、確認す る (30分以上)				
3	基本的な文書の作成(2) ーレポートや報告書の作成①ー					事前に配付されたプリントを参照 し、授業で演習する課題内容を予習 しておく。(30分以上)				授業で演習した課題を期限までに提 出する。不明な点があれば、確認す る (30分以上)				
4	基本的な文書の作成(3) ーレポートや報告書の作成②ー					事前に配付されたプリントを参照 し、授業で演習する課題内容を予習 しておく。(30分以上)				授業で演習した課題を期限までに提 出する。不明な点があれば、確認す る (30分以上)				

5	基本的な文書の作成(4) ―一般的なビジネス文書―	事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。(30分以上)	授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する(30分以上)
6	Wordを利用したDTP(1) ―表、画像、図形を使った文書①―	事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。(30分以上)	授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する(30分以上)
7	Wordを利用したDTP(2) ―表、画像、図形を使った文書②―	事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。(30分以上)	授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する(30分以上)
8	表計算ソフトExcelの特長と機能 表作成の基本操作	事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。(30分以上)	授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する(30分以上)
9	表編集の基本操作	事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。(30分以上)	授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する(30分以上)
10	数式・関数を活用した集計表の作成 (相対参照と絶対参照、平均、最大値・最小値を求める)	事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。(30分以上)	授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する(30分以上)
11	関数を活用した集計表の作成(1) (端数の四捨五人、条件で値を判定する)	事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。(30分以上)	授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する(30分以上)
12	関数を活用した集計表の作成(2) (複数の条件で値を判定する)	事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。(30分以上)	授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する(30分以上)
13	関数を活用した集計表の作成(3) (さまざまな関数の利用)	事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。(30分以上)	授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する(30分以上)
14	グラフの基本(1) ―グラフの作成	事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。(30分以上)	授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する(30分以上)
15	グラフの基本(2) ―グラフの編集	事前に配付されたプリントを参照し、授業で演習する課題内容を予習しておく。(30分以上)	授業で演習した課題を期限までに提出する。不明な点があれば、確認する(30分以上)

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員				
L220112		データ分析演習		2	15	演習	30	後期	1年	高橋直樹				
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験		
必修	選択	栄養士	医療 マネジメント	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼン テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	食育イン ストラク ター	編入		
	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○				
ディプロマ ポリシー (学習成果)		身につけるべき力			身につけるべき具体的な資質・能力								該当項目 に○	
		社会で活動するために必要な知識・技能			1. 知識を正確に理解する(知識理解)								○	
					2. 技能を確実に習得(技能習得)								○	
		社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力			3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)								○	
					4. 状況を総合的に判断する(判断力)								○	
					5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)								○	
		多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力			6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)								-	
					7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)								-	
					8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感)								-	
		労力を惜しまず、生涯に渡って主体的に学ぶ力			9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)								○	
10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)								○						
			11. 計画を確実に実行する力(実行力)								○			
授業概要		身の回りにある様々なデータを分析するために、統計学の初歩を学ぶ。エクセルを用いて、実際にデータ分析を行うことが授業の中心となる。												
授業の到達目標		エクセルを用いたデータ分析ができる。パソコンの操作方法だけではなく、データ分析の考え方や仕組み（統計学の基礎）を理解する。												
単位認定の方法		期末試験	%		授業内小テスト	%		授業内活動	20	%		計	100	%
		期末レポート	50 %		授業内提出物	30 %		その他	%					
フィードバックの方法		成績不良者に個別指導を行う。												
教科書・教材		富士通ラーニングメディア『Excelではじめるデータ分析』FOM出版												
参考書・参考文献等		随時プリント等を用いる。												
履修上の注意等		教科書とノートパソコンを毎回必ず持参すること。												
回	授 業 計 画					授業時間外学習								
						授業前・時間				授業後・時間				
1	何のためにデータを分析するのか					授業で学習する範囲について、教科書を熟読する（30分以上）				授業で学習した内容について、復習する（30分以上）				
2	データ分析のステップを確認する					授業で学習する範囲について、教科書を熟読する（30分以上）				授業で学習した内容について、復習する（30分以上）				
3	データを準備するときに知っておきたいポイント					授業で学習する範囲について、教科書を熟読する（30分以上）				授業で学習した内容について、復習する（30分以上）				
4	代表値からデータの傾向を探る					授業で学習する範囲について、教科書を熟読する（30分以上）				授業で学習した内容について、復習する（30分以上）				

5	データを視覚化する	授業で学習する範囲について、教科書を熟読する (30分以上)	授業で学習した内容について、復習する (30分以上)
6	集計表を作成する	授業で学習する範囲について、教科書を熟読する (30分以上)	授業で学習した内容について、復習する (30分以上)
7	仮説を立てる	授業で学習する範囲について、教科書を熟読する (30分以上)	授業で学習した内容について、復習する (30分以上)
8	t 検定を使った平均の比較	授業で学習する範囲について、教科書を熟読する (30分以上)	授業で学習した内容について、復習する (30分以上)
9	F 検定を使ったばらつきの比較	授業で学習する範囲について、教科書を熟読する (30分以上)	授業で学習した内容について、復習する (30分以上)
10	変数の関係性を視覚化する	授業で学習する範囲について、教科書を熟読する (30分以上)	授業で学習した内容について、復習する (30分以上)
11	相関係数を使ったデータ分析	授業で学習する範囲について、教科書を熟読する (30分以上)	授業で学習した内容について、復習する (30分以上)
12	2 つの変数の因果関係	授業で学習する範囲について、教科書を熟読する (30分以上)	授業で学習した内容について、復習する (30分以上)
13	重回帰分析を使ったデータ分析	授業で学習する範囲について、教科書を熟読する (30分以上)	授業で学習した内容について、復習する (30分以上)
14	レポート課題作成	レポート課題作成の準備をおこなう (30分以上)	授業で学習した内容について、復習する (30分以上)
15	最終プレゼンテーション	最終プレゼンテーションの準備をおこなう (30分以上)	授業で学習した内容について、復習する (30分以上)

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員				
L220101		食と健康		2	15	講義	30	後期	1年	宮地博子				
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目											実務経験	
必修	選択	栄養士	医療 マ ネ ジ メ ン ト	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼン テー ション 実 務 士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	食育イン ストラク ター	編入		
	○		△	○	○	○	○	○	○	○				
ディプロマ ポリシー (学習成果)		身につけるべき力				身につけるべき具体的な資質・能力								該当項目 に○
		社会で活動するために必要な知識・技能				1. 知識を正確に理解する(知識理解)								○
						2. 技能を確実に習得(技能習得)								-
		社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力				3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)								○
						4. 状況を総合的に判断する(判断力)								-
						5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)								-
		多様な人々と共に共通の目標実現に向 かって協働する力				6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)								-
						7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)								-
						8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる (責任感)								-
		労力を惜しまず、生涯に渡って主体的 に学ぶ力				9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)								○
						10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)								○
						11. 計画を確実に実行する力(実行力)								-
授業概要		「栄養」「運動」「休養」は人々が健康な生活を営むために必要であり「健康の三本柱」といわれている。その三本柱をトータルの考え、関係性についてを学習し自身の日頃の生活に活かせるように学習する。 また、食の流通や表示などについてを学び「食ビジネス」についてを学習する。												
授業の到達目標		健康の三本柱について理解する。 自分たちの生活環境を取り巻く問題・課題について学習し、自分が出来る対策を考えることが出来る。												
単位認定の方法		期末試験	60 %		授業内小テスト	20 %		授業内活動	10 %		計 100 %			
		期末レポート	%		授業内提出物	10 %		その他	%					
フィードバックの方法		小テストは採点后に返却し、解説を行う。質問等はその都度対応する。												
教科書・教材		プリントを配布する												
参考書・参考文献等		佐藤祐造, 柴田英治 編集: テキスト健康科学 改訂第2版 南江堂 久保田俊一郎, 寺本房子 編集: コンパクト栄養学 改訂第4版 南江堂												
履修上の注意等		提出物の期限は守ること。 質問等はMicrosoft Teams等で随時受付する。小テストは返却時に解説をする。												
回	授 業 計 画					授業時間外学習								
						授業前・時間				授業後・時間				
1	講義のガイダンス 健康の概念・健康度チェック					配布資料を読み予習 (30分以上)				復習 (30分以上)				
2	食とビジネス① 持続可能な開発目標 (SDGs) についてを学ぶ(1)					配布資料を読み予習 (30分以上)				復習 (30分以上)				
3	食とビジネス② 持続可能な開発目標 (SDGs) についてを学ぶ(2) テーマの設定					配布資料を読み予習 (30分以上)				復習 (30分以上)				
4	食とビジネス③ 持続可能な開発目標 (SDGs) についてを学ぶ(3) リーフレットの作成					配布資料を読み予習 (30分以上)				プレゼン発表の準備 (30分以上)				

5	食とビジネス④ 持続可能な開発目標（SDGs）についてを学ぶ(4) プレゼン	プレゼン発表の準備 (30分以上)	プレゼン発表の仕上げ・課題提出 (30分以上)
6	ウェイトコントロール 適正体重・ボディイメージについて	配布資料を読み予習 (30分以上)	復習（30分以上）
7	食と健康① 栄養素（5大栄養素）のはたらきについてを学ぶ	配布資料を読み予習 (30分以上)	復習（30分以上）
8	食と健康② 6つの基礎食品群についてを学び、今の自分に必要な栄養についてを学ぶ	配布資料を読み予習 (30分以上)	復習（30分以上）
9	食と健康③ ライフステージごとの栄養について学ぶ 【食とビジネス 小テスト】	配布資料を読み予習 (30分以上)	小テストにむけて復習と勉強 (30分以上)
10	調理実習① 食卓を整える ～おにぎり～	配布資料を読み予習 (30分以上)	復習（30分以上）
11	調理実習② 食卓を整える ～だしを取る、みそ汁作り～	配布資料を読み予習 (30分以上)	復習（30分以上）
12	調理実習③ 食卓を整える ～洋食～	配布資料を読み予習 (30分以上)	復習（30分以上）
13	運動と健康① 実際の活動量から、消費エネルギー等について学ぶ	配布資料を読み予習 (30分以上)	復習（30分以上）
14	運動と健康② 健康づくりのためのレクリエーション(実技)	配布資料を読み予習 (30分以上)	復習（30分以上）
15	休養と健康、環境づくり ・ まとめ	配布資料を読み予習 (30分以上)	復習（30分以上）

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員			
L230001		食生活論		2	15	講義	30	後期	1年	岡本由美子			
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験	
必修	選択	栄養士	医療 マネジメン ト	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼン テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	食育イン ストラク ター	編入	
	○	△	△									○	
ディプロマ ポリシー (学習成果)		身につけるべき力			身につけるべき具体的な資質・能力								該当項目 に○
		社会で活動するために必要な知識・技能			1. 知識を正確に理解する(知識理解)								○
					2. 技能を確実に習得(技能習得)								-
		社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力			3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)								○
					4. 状況を総合的に判断する(判断力)								○
					5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)								-
		多様な人々と共に共通の目標実現に向 かって協働する力			6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)								○
					7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)								-
					8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる (責任感)								-
					9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)								○
		労力を惜しまず、生涯に渡って主体的 に学ぶ力			10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)								-
11. 計画を確実に実行する力(実行力)								-					
授業概要		健康や生活の質の向上を図るためには「食」が重要であると考えられている。そこで、生活の中の「食」について総合的に把握し、望ましい食生活のあり方を考える。											
授業の到達目標		・ 食べることに興味を持つ ・ 食に関する現状や問題に関心を持つ ・ 食の問題について自分の考えを持つ											
単位認定の方法		期末試験	60 %	授業内小テスト	20 %	授業内活動	%	計 100 %					
		期末レポート	%	授業内提出物	20 %	その他	%						
フィードバックの方法		小テストや課題提出を行い、返却時解説する。											
教科書・教材		プリント配付											
参考書・参考文献等		「食生活アドバイザー公式テキスト問題集」FLAネットワーク協会 科学シリーズ NEXT 食文化論/食育・食生活論 講談社											「栄養
履修上の注意等													
回	授 業 計 画					授業時間外学習							
						授業前・時間			授業後・時間				
1	オリエンテーション 1. 食生活の概念					シラバスを確認する			授業内容を復習する 30分以上 (小テスト)				
2	2. 衛生管理に関する知識 食中毒					左記に関することを参考資料等 で調べる・30分以上			授業内容を復習する 30分以上				
3	2. 衛生管理に関する知識 食品の科学変化・食品の安全					左記に関することを参考資料等 で調べる・30分以上			授業内容を復習する 30分以上 (小テスト)				
4	3. 食品学に関する知識 食品表示を読み解く					左記に関することを参考資料等 で調べる・30分以上			授業内容を復習する 30分以上				

5	3. 食品学に関する知識 生鮮食品と加工食品	左記に関することを参考資料等で調べる・30分以上	授業内容を復習する 30分以上
6	3. 食品学に関する知識 食品マークと表示	左記に関することを参考資料等で調べる・30分以上	授業内容を復習する 30分以上 (小テスト)
7	4. 栄養と健康に関する知識 栄養素の種類と役割	左記に関することを参考資料等で調べる・30分以上	授業内容を復習する 30分以上
8	4. 栄養と健康に関する知識 食事摂取基準	左記に関することを参考資料等で調べる・30分以上	授業内容を復習する 30分以上
9	4. 栄養と健康に関する知識 病気と食事	左記に関することを参考資料等で調べる・30分以上	授業内容を復習する 30分以上 (小テスト)
10	5. 食文化と食習慣に関する知識 四季と行事食	左記に関することを参考資料等で調べる・30分以上	授業内容を復習する 30分以上
11	5. 食文化と食習慣に関する知識 日本料理の特徴と世界の料理	左記に関することを参考資料等で調べる・30分以上	授業内容を復習する 30分以上
12	5. 食文化と食習慣に関する知識 郷土料理、食材とおいしさ	左記に関することを参考資料等で調べる・30分以上	授業内容を復習する 30分以上
13	5. 食文化と食習慣に関する知識 盛り付けと器	左記に関することを参考資料等で調べる・30分以上	授業内容を復習する 30分以上 (小テスト)
14	6. 食マーケットに関する知識 食生活と食マーケットの変化	左記に関することを参考資料等で調べる・30分以上	授業内容を復習する 30分以上 (小テスト)
15	7. 社会生活に関する知識 食に関わる問題	左記に関することを参考資料等で調べる・30分以上	授業内容を復習する 30分以上 (小テスト)

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員			
L220102		プレゼンテーション基礎		2	15	演習	30	前期	1年	高橋直樹			
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目											実務経験
必修	選択	栄養士	医療 マネジメン ト	ビジネス 実務士	上級ビジネ ス実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼン テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	食育イン ストラク ター	編入	
	○		△	○	☆	○	○	○	△	△		○	
ディプロマ ポリシー (学習成果)		身につけるべき力			身につけるべき具体的な資質・能力								該当項目 に○
		社会で活動するために必要な知識・技能			1. 知識を正確に理解する(知識理解)								○
					2. 技能を確実に習得(技能習得)								○
		社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力			3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)								○
					4. 状況を総合的に判断する(判断力)								-
					5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)								○
		多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力			6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)								○
					7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)								○
					8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感)								-
		労力を惜しまず、生涯に渡って主体的に学ぶ力			9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)								○
					10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)								○
11. 計画を確実に実行する力(実行力)								○					
授業概要		実際にプレゼンテーションを行うことを通してその基礎を学ぶ。 プレゼンテーション後は相互評価を行い、批判的 思考力も磨く。											
授業の到達目標		プレゼンテーションとは何かを理解する。 そして、実際にプレゼンテーションを行うことができる。											
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	%	授業内活動	50	%	計 100 %				
		期末レポート	%	授業内提出物	50	%	その他	%					
フィードバックの方法		授業内に個別指導を行う。 成績不良者にも別途個別指導を行う。											
教科書・教材		リプロワークス『PowerPoint 2024 やさしい教科書』SBクリエイティブ											
参考書・参考文献等		随時プリント等を用いる。											
履修上の注意等		教科書とノートパソコンを毎回必ず持参すること。											
回	授 業 計 画					授業時間外学習							
						授業前・時間				授業後・時間			
1	プレゼンテーションとは何か					プレゼンテーションとは何かという問いに対する自分なりの考えを持つ(30分以上)				授業で理解できなかった自己の課題に取り組み、問題を解決する(30分以上)			
2	PowerPointの基本操作を知る					授業で学習する範囲について、教科書を読み、パワーポイントを操作する(30分以上)				授業で理解できなかった自己の課題に取り組み、問題を解決する(30分以上)			
3	スライド作成の基本をマスターする					授業で学習する範囲について、教科書を読み、パワーポイントを操作する(30分以上)				授業で理解できなかった自己の課題に取り組み、問題を解決する(30分以上)			
4	テーマやフォントを設定してスライドの表現力を上げる					授業で学習する範囲について、教科書を読み、パワーポイントを操作する(30分以上)				授業で理解できなかった自己の課題に取り組み、問題を解決する(30分以上)			

5	画像や図をスライドに挿入する	授業で学習する範囲について、教科書を読み、パワーポイントを操作する（30分以上）	授業で理解できなかった自己の課題に取り組み、問題を解決する（30分以上）
6	第1回プレゼンテーションの準備	授業で学習する範囲について、教科書を読み、パワーポイントを操作する（30分以上）	授業で理解できなかった自己の課題に取り組み、問題を解決する（30分以上）
7	第1回プレゼンテーション	プレゼンテーションの準備を行う（30分以上）	プレゼンテーションの振り返りを行う（30分以上）
8	表を作成する	授業で学習する範囲について、教科書を読み、パワーポイントを操作する（30分以上）	授業で理解できなかった自己の課題に取り組み、問題を解決する（30分以上）
9	グラフを作成する	授業で学習する範囲について、教科書を読み、パワーポイントを操作する（30分以上）	授業で理解できなかった自己の課題に取り組み、問題を解決する（30分以上）
10	作図機能を使いこなす	授業で学習する範囲について、教科書を読み、パワーポイントを操作する（30分以上）	授業で理解できなかった自己の課題に取り組み、問題を解決する（30分以上）
11	アニメーションを設定する	授業で学習する範囲について、教科書を読み、パワーポイントを操作する（30分以上）	授業で理解できなかった自己の課題に取り組み、問題を解決する（30分以上）
12	プレゼンテーションの実行と資料の配布	授業で学習する範囲について、教科書を読み、パワーポイントを操作する（30分以上）	授業で理解できなかった自己の課題に取り組み、問題を解決する（30分以上）
13	使い方が広がる機能	授業で学習する範囲について、教科書を読み、パワーポイントを操作する（30分以上）	授業で理解できなかった自己の課題に取り組み、問題を解決する（30分以上）
14	第2回プレゼンテーションの準備	プレゼンテーションを行う内容について調べる（30分以上）	プレゼンテーションを行う内容についてまとめる（30分以上）
15	第2回プレゼンテーション	プレゼンテーションの準備を行う（30分以上）	プレゼンテーションの振り返りを行う（30分以上）

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員			
L2201011		社会福祉		2	15	講義	30	前期	1年	若林一哉			
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験	
必修	選択	栄養士	医療 マネジメント	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	ITパス ポート	食育イン ストラク ター	編入			
	○	○	○							○			
ディプロマ ポリシー (学習成果)		身につけるべき力			身につけるべき具体的な資質・能力							該当項目 に○	
		社会で活動するために必要な知識・技能			1. 知識を正確に理解する(知識理解)							○	
					2. 技能を確実に習得(技能習得)							-	
		社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力			3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)							-	
					4. 状況を総合的に判断する(判断力)							○	
					5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)							-	
		多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力			6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)							○	
					7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)							-	
		労力を惜まず、生涯に渡って主体的に学ぶ力			8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感)							-	
					9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)							-	
					10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)							-	
			11. 計画を確実に実行する力(実行力)							-			
授業概要		生活を支える専門職として必要となる社会福祉の基礎的理解を目的に、社会福祉の理念・歴史・制度の仕組みについて学ぶ。児童福祉、障害福祉、高齢者福祉、地域福祉の動向を概観し、現代社会における生活課題や健康・医療・福祉の連携の在り方について考察する。また、生活支援に関わる職種として求められる相談援助の視点や多職種連携の重要性を理解し、利用者の尊厳を尊重した支援と職業倫理の基礎を養うことを目指す。理論と実社会の実践を関連付けながら理解を深める。											
授業の到達目標		1 現代社会における社会福祉の意義と歴史の変遷及び社会福祉における子ども家庭支援の視点について理解する。 2 社会福祉の制度や実施体系等について理解する。 3 社会福祉における相談援助について理解する。 4 社会福祉における利用者の保護に関わる仕組みについて理解する。											
単位認定の方法		期末試験	%		授業内小テスト	%		授業内活動	20	%	計	100	%
		期末レポート	60		%	授業内提出物	20		%	その他			
フィードバックの方法		授業内活動および提出物に対するフィードバックは、講義内において全体講評および解説の形で実施する。											
教科書・教材		教科書は使用せず、授業担当者が作成・配布する資料を主教材として用いる。											
参考書・参考文献等		『社会福祉』ミネルヴァ書房 / 『保育と社会福祉』みらい / 『福祉小六法』中央法規出版											
履修上の注意等		本講義はMicrosoft Teamsを活用して実施する。「社会福祉」クラスに講義資料を事前掲載するため、各自PCを持参、または事前に資料をダウンロードのうえ受講すること。											
回	授 業 計 画					授業時間外学習							
						授業前・時間				授業後・時間			
1	社会福祉制度の成立背景と存在意義 ― 社会福祉の目的と現代社会における役割を理解する					Microsoft Teams「社会福祉」クラスに次回講義資料を事前掲載するため、各自確認し、事前に熟読しておくこと。(60分)				講義内容をふり振り返り、私たちの生活と「社会福祉」について要約し、自分の考えをまとめる。(60分)			
2	現代社会における多様な生活課題と社会福祉 ― 貧困、孤立、少子化、家族形態の変化などの社会問題					Microsoft Teams「社会福祉」クラスに次回講義資料を事前掲載するため、各自確認し、事前に熟読しておくこと。(60分)				講義で行った内容のキーワードを提示するので、それについてまとめる。(60分)			
3	社会福祉の歴史的変遷と福祉思想の展開 ― 社会福祉の起源から現代社会福祉への歴史的発展					Microsoft Teams「社会福祉」クラスに次回講義資料を事前掲載するため、各自確認し、事前に熟読しておくこと。(60分)				講義で行った内容のキーワードを提示するので、それについてまとめる。(60分)			
4	人権の概念と現代社会福祉を支える基本理念 ― 尊厳・自立支援・ノーマライゼーション等					Microsoft Teams「社会福祉」クラスに次回講義資料を事前掲載するため、各自確認し、事前に熟読しておくこと。(60分)				講義で行った内容のキーワードを提示するので、それについてまとめる。(60分)			

5	社会福祉の法体系と制度の概要 — 社会保障制度と関連法の基本構造	Microsoft Teams「社会福祉」クラスに次回講義資料を事前掲載するため、各自確認し、事前に熟読しておくこと。(60分)	講義で行った内容のキーワードを提示するので、それについてまとめる。(60分)
6	社会福祉施設の機能と社会福祉専門職の役割 — 保育士・社会福祉士等の専門性と多職種連携	Microsoft Teams「社会福祉」クラスに次回講義資料を事前掲載するため、各自確認し、事前に熟読しておくこと。(60分)	講義で行った内容のキーワードを提示するので、それについてまとめる。(60分)
7	ソーシャルワークの理論・意義と機能 — 相談援助の基本的枠組み	Microsoft Teams「社会福祉」クラスに次回講義資料を事前掲載するため、各自確認し、事前に熟読しておくこと。(60分)	講義で行った内容のキーワードを提示するので、それについてまとめる。(60分)
8	ソーシャルワークの対象理解と援助過程・方法・技術 — アセスメント、支援計画、評価の基礎	Microsoft Teams「社会福祉」クラスに次回講義資料を事前掲載するため、各自確認し、事前に熟読しておくこと。(60分)	講義で行った内容のキーワードを提示するので、それについてまとめる。(60分)
9	社会福祉サービスの利用支援と第三者評価 — 利用者主体と権利擁護、サービスの質の保証	Microsoft Teams「社会福祉」クラスに次回講義資料を事前掲載するため、各自確認し、事前に熟読しておくこと。(60分)	講義で行った内容のキーワードを提示するので、それについてまとめる。(60分)
10	生活保護制度の仕組みと現代的課題 — 最低生活保障と自立支援、子どもの貧困との関連	Microsoft Teams「社会福祉」クラスに次回講義資料を事前掲載するため、各自確認し、事前に熟読しておくこと。(60分)	講義で行った内容のキーワードを提示するので、それについてまとめる。(60分)
11	児童の人権擁護と社会福祉 — 児童虐待防止、子どもの最善の利益	Microsoft Teams「社会福祉」クラスに次回講義資料を事前掲載するため、各自確認し、事前に熟読しておくこと。(60分)	講義で行った内容のキーワードを提示するので、それについてまとめる。(60分)
12	児童家庭福祉の制度と支援の実際 — 子育て支援、家庭支援、地域との連携	Microsoft Teams「社会福祉」クラスに次回講義資料を事前掲載するため、各自確認し、事前に熟読しておくこと。(60分)	講義で行った内容のキーワードを提示するので、それについてまとめる。(60分)
13	現代社会における高齢者保健福祉の現状と課題 — 高齢化社会と地域包括ケア	Microsoft Teams「社会福祉」クラスに次回講義資料を事前掲載するため、各自確認し、事前に熟読しておくこと。(60分)	講義で行った内容のキーワードを提示するので、それについてまとめる。(60分)
14	現代社会における障害者福祉と共生社会 — 障害者権利条約、インクルージョンの理念	Microsoft Teams「社会福祉」クラスに次回講義資料を事前掲載するため、各自確認し、事前に熟読しておくこと。(60分)	講義で行った内容のキーワードを提示するので、それについてまとめる。(60分)
15	地域福祉の意義と推進方法／社会福祉の課題とこれから — 地域共生社会と関わる福祉的視点(総括)	Microsoft Teams「社会福祉」クラスに次回講義資料を事前掲載するため、各自確認し、事前に熟読しておくこと。(60分)	講義で行った内容のキーワードを提示するので、それについてまとめる。(60分)

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員			
L221001		公衆衛生学		2	15	講義	30	後期	1年	田中里奈			
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験	
必修	選択	栄養士	医療 マネジメン ト	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼン テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	食育イン ストラク ター	編入	
	○	○									○	○	
ディプロマ ポリシー (学習成果)		身につけるべき力				身につけるべき具体的な資質・能力							該当項目 に○
		社会で活動するために必要な知識・技能				1. 知識を正確に理解する(知識理解)							○
						2. 技能を確実に習得(技能習得)							-
		社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力				3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)							○
						4. 状況を総合的に判断する(判断力)							○
		多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力				5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)							-
						6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)							-
		労力を惜しまず、生涯に渡って主体的に学ぶ力				7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)							○
						8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感)							○
						9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)							○
10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)							-						
				11. 計画を確実に実行する力(実行力)							-		
授業概要		健康の定義や予防の概念を知り、人口統計や保健統計などの疫学的な学修を通して、人間を取り巻く健康課題を理解する。また、その健康課題に対しての疾病予防、早期発見、そして健康増進のための組織的な取組みについて理解する。											
授業の到達目標		・健康の定義、予防の概念が説明できる。 ・主要な健康指標を理解し、健康課題が説明できる。 そして健康の保持・増進に対する対策や制度について説明できる。											
単位認定の方法		期末試験	40 %		授業内小テスト	40 %		授業内活動	10 %		計		90 %
		期末レポート	%		授業内提出物	%		その他	%				
フィードバックの方法		毎回講義の最後に小テストを実施する。小テストの解答、解説はその場で実施する。											
教科書・教材		南江堂「シンプル衛生公衆衛生学2026」辻一郎											
参考書・参考文献等		公衆衛生がみえる（メディックメディア） よくわかる公衆衛生（金原出版）など											
履修上の注意等		座学が中心となります。 自分自身や周囲の個人あるいは家族、地域社会に目を向けて推考し、理解を深めて欲しいです。 健康に関するニュースに関心を持って下さい。											
回	授 業 計 画					授業時間外学習							
						授業前・時間				授業後・時間			
1	オリエンテーション 健康の概念と公衆衛生学					教科書の該当箇所を読む。				配布した資料を見返し、小テストで誤った箇所を確認する。			
2	人口動態統計と保健統計					教科書の該当箇所を読む。				配布した資料を見返し、小テストで誤った箇所を確認する。			
3	疫学1（疫学概論）					教科書の該当箇所を読む。				配布した資料を見返し、小テストで誤った箇所を確認する。			
4	疫学2（疫学の方法論）					教科書の該当箇所を読む。				配布した資料を見返し、小テストで誤った箇所を確認する。			

5	母子保健	教科書の該当箇所を読む。	配布した資料を見返し、小テストで誤った箇所を確認する。
6	成人保健	教科書の該当箇所を読む。	配布した資料を見返し、小テストで誤った箇所を確認する。
7	学校保健・高齢者保健	教科書の該当箇所を読む。	配布した資料を見返し、小テストで誤った箇所を確認する。
8	感染症	教科書の該当箇所を読む。	配布した資料を見返し、小テストで誤った箇所を確認する。
9	食品衛生	教科書の該当箇所を読む。	配布した資料を見返し、小テストで誤った箇所を確認する。
10	環境保健	教科書の該当箇所を読む。	配布した資料を見返し、小テストで誤った箇所を確認する。
11	社会保障と社会福祉	教科書の該当箇所を読む。	配布した資料を見返し、小テストで誤った箇所を確認する。
12	精神保健と障害者保健	教科書の該当箇所を読む。	配布した資料を見返し、小テストで誤った箇所を確認する。
13	産業保健	教科書の該当箇所を読む。	配布した資料を見返し、小テストで誤った箇所を確認する。
14	国際保健	教科書の該当箇所を読む。	配布した資料を見返し、小テストで誤った箇所を確認する。
15	まとめ	教科書の該当箇所を読む。	配布した資料を見返し、小テストで誤った箇所を確認する。

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員					
L223001		食品衛生学		2	15	講義	30	後期	1年	木村康子					
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験			
必修	選択	栄養士	医療 マネジメン ト	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼン テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	食育イン ストラク ター	編入			
	○	○	△									○			
ディプロマ ポリシー (学習成果)		身につけるべき力				身につけるべき具体的な資質・能力							該当項目 に○		
		社会で活動するために必要な知識・技能				1. 知識を正確に理解する(知識理解)							○		
						2. 技能を確実に習得(技能習得)							-		
		社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力				3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)							○		
						4. 状況を総合的に判断する(判断力)							○		
						5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)							-		
		多様な人々と共に共通の目標実現に向 かって協働する力				6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)							-		
						7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)							-		
						8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる (責任感)							-		
		労力を惜しまず、生涯に渡って主体的 に学ぶ力				9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)							○		
						10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)							-		
11. 計画を確実に実行する力(実行力)							-								
授業概要		食品衛生に関する法律、食品を介した微生物等による健康被害やその予防の対策方法について学ぶ。 食品を衛生的に扱うことの理由、食に関わる中毒、食品添加物、化学物質の理解を深める。													
授業の到達目標		食品微生物の特性について理解し、自ら評価・判断ができる知識を身につける。その基礎知識を活用し、安全な食生活 を営むために生かすことができる。													
単位認定の方法		期末試験	80	%	授業内小テスト	20	%	授業内活動	%	計				100	%
		期末レポート		%	授業内提出物		%	その他	%						
フィードバックの方法		期末試験は、確認問題を基に作成するため、個別に質問があれば対応する。													
教科書・教材		新食品衛生学要説 廣末トシ子 安達修一編 医歯薬出版株式会社													
参考書・参考文献等		栄養科学イラストレイテッド 食品衛生学 田崎達明 羊土社 栄養管理と生命科学シリーズ 食品衛生学 後藤政幸他 理工図書													
履修上の注意等		欠席、遅刻について理由がある場合は申し出ること。													
回	授 業 計 画					授業時間外学習									
						授業前・時間				授業後・時間					
1	食品衛生と法規 食品衛生及び安全性確保に関する法規、リスク分析					教科書の予習・30分以上				まとめ問題の学習・30分以上					
2	食品と微生物 食中毒の定義と分類、発生状況					教科書の予習・30分以上				まとめ問題の学習・30分以上					
3	食品の変質 食品の変質の定義、鮮度・腐敗度・酸敗の判定法、 食品の変質防止法					教科書の予習・30分以上				まとめ問題の学習・30分以上					
4	食中毒の概要 食中毒の定義と分類、発生状況					教科書の予習・30分以上				まとめ問題の学習・30分以上					

5	食中毒の概要 食中毒の特徴(DVD)	教科書の予習・30分以上	まとめ問題の学習・30分以上
6	細菌性食中毒 感染型食中毒の特徴	教科書の予習・30分以上	まとめ問題の学習・30分以上
7	細菌性食中毒 毒素型食中毒の特徴	教科書の予習・30分以上	まとめ問題の学習・30分以上
8	ウィルス性食中毒 ウィルス性食中毒の特徴	教科書の予習・30分以上	まとめ問題の学習・30分以上
9	自然毒による食中毒・科学性食中毒 動物性自然毒、植物性自然毒による食中毒	教科書の予習・30分以上	まとめ問題の学習・30分以上
10	寄生虫による食中毒 魚介類、野菜類、肉類、水を介する寄生虫による食中毒	教科書の予習・30分以上	まとめ問題の学習・30分以上
11	食品中の汚染物質 放射性物質、カビ毒、有害元素、化学物質	教科書の予習・30分以上	まとめ問題の学習・30分以上
12	食品添加物 食品添加物の定義、種類と用途、安全性の評価(ADI)	教科書の予習・30分以上	まとめ問題の学習・30分以上
13	食品の安全性 食品の器具・包装容器、洗剤の使用基準、遺伝子組換え食品、放射線照射食品	教科書の予習・30分以上	まとめ問題の学習・30分以上
14	食品表示制度 食品表示に関する法律、品質表示、アレルギー表示	教科書の予習・30分以上	まとめ問題の学習・30分以上
15	食品衛生管理 HACCP(総合衛生管理製造過程)、特定給食の衛生管理	教科書の予習・30分以上	まとめ問題の学習・30分以上

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員			
L223001		食品学総論		2	15	講義	30	前期	1年	木村康子			
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験	
必修	選択	栄養士	医療 マネジメン ト	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼン テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	食育イン ストラク ター	編入	
	○	○	△								○	○	
ディプロマ ポリシー (学習成果)		身につけるべき力				身につけるべき具体的な資質・能力							該当項目 に○
		社会で活動するために必要な知識・技能				1. 知識を正確に理解する(知識理解)							○
						2. 技能を確実に習得(技能習得)							-
		社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力				3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)							○
						4. 状況を総合的に判断する(判断力)							○
						5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)							-
		多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力				6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)							-
						7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)							-
						8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感)							-
						9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)							○
		労力を惜まず、生涯に渡って主体的に学ぶ力				10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)							-
11. 計画を確実に実行する力(実行力)							-						
授業概要		食品の成分の機能について学ぶ。食品の性状や化学変化と色、味、香りなどの関連を考えながら学習する。											
授業の到達目標		食品に含まれる成分と特性について理解する。それらの成分が調理、加工、貯蔵中におこる成分変化等に関連づけ説明ができる。											
単位認定の方法		期末試験	80	%	授業内小テスト	20	%	授業内活動	%	計 100 %			
		期末レポート		%	授業内提出物		%	その他	%				
フィードバックの方法		期末試験は、確認問題を基に作成するため、個別に質問があれば対応する。											
教科書・教材		栄養科学イラストレイテッド 食品学Ⅰ 水品善之他 羊土社											
参考書・参考文献等		新食品・栄養科学シリーズ 食品学総論 食べ物と健康 森田潤司、成田宏史編 化学同人 食品学Ⅰ 食品の化学・物性と機能性 加藤保子 他 南江堂											
履修上の注意等		欠席、遅刻について理由がある場合は申し出ること。											
回	授 業 計 画					授業時間外学習							
						授業前・時間				授業後・時間			
1	食文化と食生活 食文化の歴史的変遷、現代の食生活、環境問題					教科書の予習・30分以上				まとめ問題の学習・30分以上			
2	食品の種類と分類 食品成分と機能、食品成分表の活用					教科書の予習・30分以上				まとめ問題の学習・30分以上			
3	食品の一次機能 エネルギー源となる炭水化物、糖質、脂質					教科書の予習・30分以上				まとめ問題の学習・30分以上			
4	食品の一次機能 体をつくるタンパク質					教科書の予習・30分以上				まとめ問題の学習・30分以上			

5	食品の一次機能 身体の調子を整えるビタミン、ミネラル	教科書の予習・30分以上	まとめ問題の学習・30分以上
6	食品の一次機能 遺伝子の成分としての核酸成分、水分の特性	教科書の予習・30分以上	まとめ問題の学習・30分以上
7	非栄養成分 有毒成分、食品に含まれる水分の働き	教科書の予習・30分以上	まとめ問題の学習・30分以上
8	食品の二次機能 おいしさに関係する人の五感と呈味成分、色素成分	教科書の予習・30分以上	まとめ問題の学習・30分以上
9	食品の二次機能 おいしさに関係する香り成分、有害成分	教科書の予習・30分以上	まとめ問題の学習・30分以上
10	食品の三次機能 食品の機能性とその働き	教科書の予習・30分以上	まとめ問題の学習・30分以上
11	食品成分の変化 炭水化物、たんぱく質、脂質の変化	教科書の予習・30分以上	まとめ問題の学習・30分以上
12	食品成分の変化 酵素的褐変、非酵素的褐変、酸化、物理的变化、酵素反応	教科書の予習・30分以上	まとめ問題の学習・30分以上
13	食品の物性 コロイド、レオロジー、テクスチャー	教科書の予習・30分以上	まとめ問題の学習・30分以上
14	食品表示① 食品表示の法律、食品の機能性	教科書の予習・30分以上	まとめ問題の学習・30分以上
15	食品表示② 遺伝子組み換え	教科書の予習・30分以上	まとめ問題の学習・30分以上

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員			
L223001		食品学各論		2	15	講義	30	後期	1年	木村康子			
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験	
必修	選択	栄養士	医療 マネジメント	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼン テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	食育イン ストラク ター	編入	
	○	○	△									○	
ディプロマ ポリシー (学習成果)		身につけるべき力				身につけるべき具体的な資質・能力							該当項目 に○
		社会で活動するために必要な知識・技能				1. 知識を正確に理解する(知識理解)							○
						2. 技能を確実に習得(技能習得)							-
		社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力				3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)							○
						4. 状況を総合的に判断する(判断力)							○
		多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力				5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)							-
						6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)							-
		多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力				7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)							-
						8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感)							-
		労力を惜しまず、生涯に渡って主体的に学ぶ力				9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)							○
						10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)							-
		11. 計画を確実に実行する力(実行力)							-				
授業概要		食品について正しく理解することは、栄養及び調理、加工において重要である。植物性食品と動物性食品を分類し、成分の物質名や性質について学ぶ。											
授業の到達目標		各食品の成分を把握し、物性や性質について説明ができる。 食品の加工と保存方法について理解し説明ができる。											
単位認定の方法		期末試験	80	%	授業内小テスト	20	%	授業内活動	%	計 100 %			
		期末レポート		%	授業内提出物		%	その他	%				
フィードバックの方法		期末試験は、確認問題を基に作成するため、個別に質問があれば対応する。											
教科書・教材		栄養科学イラストレイテッド 食品学Ⅱ 栢野新市他 羊土社											
参考書・参考文献等		Nブックス 五訂 食品加工学 北尾悟・鍋谷浩志編著 建帛社 新編 標準食品学各論〔食品学Ⅱ〕澤野 勉 他 医歯薬出版株式会社											
履修上の注意等		欠席、遅刻について理由がある場合は申し出ること。											
回	授 業 計 画					授業時間外学習							
						授業前・時間				授業後・時間			
1	世界の食料事情 食料自給率、栄養摂取量、輸入食品、食の問題					教科書の予習・30分以上				まとめ問題の学習・30分以上			
2	食品成分表 食品の分類、収載食品と分析方法					教科書の予習・30分以上				まとめ問題の学習・30分以上			
3	植物性食品 穀類の種類、成分、機能と特性					教科書の予習・30分以上				まとめ問題の学習・30分以上			
4	植物性食品 いもおよびでんぷん類の種類、成分、機能と特性					教科書の予習・30分以上				まとめ問題の学習・30分以上			

5	植物性食品 豆類の種類、成分、機能と特性	教科書の予習・30分以上	まとめ問題の学習・30分以上
6	植物性食品 種実類、野菜類の種類、成分、機能と特性	教科書の予習・30分以上	まとめ問題の学習・30分以上
7	植物性食品 果実類、きのこ類、海藻類の種類、成分、機能と特性	教科書の予習・30分以上	まとめ問題の学習・30分以上
8	動物性食品 肉類の種類、成分、機能と特性	教科書の予習・30分以上	まとめ問題の学習・30分以上
9	動物性食品 魚介類の種類、成分、機能と特性	教科書の予習・30分以上	まとめ問題の学習・30分以上
10	動物性食品 乳類、卵類の種類、成分、機能と特性	教科書の予習・30分以上	まとめ問題の学習・30分以上
11	その他の食品 油脂(植物、動物)の種類、成分、機能と特性	教科書の予習・30分以上	まとめ問題の学習・30分以上
12	その他の食品 調味料、香辛料、嗜好飲料類の成分、機能と特性	教科書の予習・30分以上	まとめ問題の学習・30分以上
13	食品の保存及び加工技術 保存方法とその利用	教科書の予習・30分以上	まとめ問題の学習・30分以上
14	加工食品の規格と表示制度 食品表示法、食品衛生法、健康増進法、保健機能食品制度 栄養表示基準制度	教科書の予習・30分以上	まとめ問題の学習・30分以上
15	微生物利用食品 発酵食品の種類、成分、機能と特性	教科書の予習・30分以上	まとめ問題の学習・30分以上

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員			
L224001		栄養学総論		2	15	講義	30	前期	1年	柳町悟司			
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験	
必修	選択	栄養士	医療 マナジメン ト	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼン テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	食育イン ストラク ター	編入	
	○	○	△								○	○	
ディプロマ ポリシー (学習成果)		身につけるべき力		身につけるべき具体的な資質・能力									該当項目 に○
		社会で活動するために必要な知識・技能		1. 知識を正確に理解する(知識理解)									○
				2. 技能を確実に習得(技能習得)									-
		社会で活躍するための土台となる思考 力・判断力・表現力		3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)									○
				4. 状況を総合的に判断する(判断力)									-
				5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)									-
		多様な人々と共に共通の目標実現に向 かって協働する力		6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)									-
				7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)									○
				8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる (責任感)									-
		労力を惜しまず、生涯に渡って主体的 に学ぶ力		9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)									○
				10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)									○
11. 計画を確実に実行する力(実行力)									-				
授業概要		生命の維持及び健康の保持・増進のために、栄養素が体内でどのような役割を果たしているかに関して、概要を学習する。											
授業の到達目標		栄養の概念及びその意義に関する基礎的な知識を習得する。											
単位認定の方法		期末試験	80 %		授業内小テスト	20 %		授業内活動	%		計 100 %		
		期末レポート	%		授業内提出物	%		その他	%				
フィードバックの方法		授業内小テスト：小テストを行った次の時間に模範解答を伝える。 期末試験：希望する者には点数を伝える。											
教科書・教材		自作のプリントを授業時に配布し使用する											
参考書・参考文献等		羊土社 栄養科学イラストレイティッド 基礎栄養学											
履修上の注意等		本講義は栄養士必修科目であり、他の科目と関連する内容も多いため、本講義の内容を正確に理解することが栄養士免許を取得するまでの過程で重要な事項となる。											
回	授 業 計 画					授業時間外学習							
						授業前・時間				授業後・時間			
1	エネルギー代謝1 基礎代謝量、活動時代謝量、食事誘発性熱産出					不要				配布プリントの復習・60分以上			
2	三大栄養素・五大栄養素 糖質、タンパク質、脂質、ビタミン、ミネラル					配布プリントの予習・30分				配布プリントの復習・30分以上			
3	消化吸収の概要 三大栄養素の消化吸収、難消化物質(食物繊維)の作用					配布プリントの予習・30分				配布プリントの復習・30分以上			
4	糖質の消化吸収 多糖類、二糖類の消化吸収					配布プリントの予習・30分				配布プリントの復習・30分以上			

5	タンパク質の消化吸収 タンパク質、ペプチドの消化吸収	配布プリントの予習・30分	配布プリントの復習・30分以上
6	脂質の消化吸収 トリアシルグリセロールをはじめとする脂質の消化吸収	配布プリントの予習・30分	配布プリントの復習・30分以上
7	消化吸収のまとめ 消化吸収後の各栄養素の挙動	配布プリントの予習・30分	配布プリントの復習・30分以上
8	エネルギー代謝2 三大栄養素の化学反応でエネルギーを産出するメカニズム	配布プリントの予習・30分	配布プリントの復習・30分以上
9	糖質の代謝 解糖系、クエン酸回路、電子伝達系	配布プリントの予習・30分	配布プリントの復習・30分以上
10	タンパク質・アミノ酸の代謝 アミノ基転移反応、酸化的脱アミノ反応、尿素回路	配布プリントの予習・30分	配布プリントの復習・30分以上
11	脂質の代謝1 β 酸化	配布プリントの予習・30分	配布プリントの復習・30分以上
12	脂質の代謝2 コレステロールの代謝、リポタンパク質	配布プリントの予習・30分	配布プリントの復習・30分以上
13	ビタミンの役割 水溶性ビタミン、脂溶性ビタミン、欠乏症と過剰症	配布プリントの予習・30分	配布プリントの復習・30分以上
14	ミネラルの役割 多量ミネラル、微量ミネラル、欠乏症と過剰症	配布プリントの予習・30分	配布プリントの復習・30分以上
15	まとめ これまで学んだ内容の総復習	配布プリントの予習・30分	配布プリントの復習・30分以上

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員			
L224001		栄養学各論		2	15	講義	30	後期	1年	宮地博子			
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験	
必修	選択	栄養士	医療 マネジメント	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼン テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	食育イン ストラク ター	編入	
	○	○	△									○	
ディプロマ ポリシー (学習成果)		身につけるべき力			身につけるべき具体的な資質・能力								該当項目 に○
		社会で活動するために必要な知識・技能			1. 知識を正確に理解する(知識理解)								○
					2. 技能を確実に習得(技能習得)								○
		社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力			3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)								○
					4. 状況を総合的に判断する(判断力)								○
					5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)								○
		多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力			6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)								-
					7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)								-
					8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感)								-
					9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)								○
労力を惜しまず、生涯に渡って主体的に学ぶ力			10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)								○		
			11. 計画を確実に実行する力(実行力)								-		
授業概要		妊娠期から高齢期までのライフステージにおける身体的・生理的特徴を学び、それぞれの対象者にあった食事の管理を中心とした栄養管理を学ぶ。また、栄養マネジメントの概念や日本人の食事摂取基準の基礎について学び、栄養管理に適切に活用することを学ぶ。											
授業の到達目標		人は胎生期から高齢期までのライフコースアプローチにおいて、生理的機能の変化があり、その中で適切な食生活と栄養素の摂取が求められる。健康を維持・増進するための栄養と食生活について理解する。											
単位認定の方法		期末試験	50 %		授業内小テスト	50 %		授業内活動	%		計 100 %		
		期末レポート	%		授業内提出物	%		その他	%				
フィードバックの方法		小テストは確認後に解説を行う。質問等についてはその都度対応する。											
教科書・教材		渡邊早苗、松田早苗、真野由紀子 編著：改訂 応用栄養学概論 建帛社											
参考書・参考文献等		医歯薬出版 編：日本食品成分表2025 八訂 医歯薬出版株式会社											
履修上の注意等		予習・復習をしっかりとすること。配布物は整理して、保管すること。											
回	授 業 計 画					授業時間外学習							
						授業前・時間			授業後・時間				
1	ガイダンス 第1章 成長・発達・加齢					教科書を読み予習 (30分以上)			復習 (30分以上)				
2	第2章 栄養ケア・マネジメント					教科書を読み予習 (30分以上)			復習 (30分以上)				
3	第3章 日本人の食事摂取基準					教科書を読み予習 (30分以上)			復習 (30分以上)				
4	第4章 妊娠期・授乳期 1. 妊娠期・授乳期の生理的特徴 2. 妊娠期・授乳期の栄養ケア・マネジメント					教科書を読み予習 (30分以上)			復習 (30分以上)				

5	第4章 妊娠期・授乳期 3. 妊娠期・授乳期の食事摂取基準 第5章 新生児期・乳児期 1. 新生児期・乳児期の生理的特徴	教科書を読み予習 (30分以上)	小テストに向けての復習と勉強 (30分以上)
6	第5章 新生児期・乳児期 2. 新生児期・乳児期の栄養ケア・マネジメント 3. 新生児期・乳児期の食事摂取基準 【小テスト① 妊娠期】	教科書を読み予習 (30分以上)	小テストに向けての復習と勉強 (30分以上)
7	第6章 幼児期 1. 幼児期の生理的特徴 2. 幼児期の栄養ケア・マネジメント 【小テスト② 授乳期】	教科書を読み予習 (30分以上)	復習 (30分以上)
8	第6章 幼児期 3. 幼児期・乳児期の食事摂取基準 4. 幼児期の食生活	教科書を読み予習 (30分以上)	小テストに向けての復習と勉強 (30分以上)
9	第7章 学童期 1. 学童期の生理的特徴 2. 学童期の栄養ケア・マネジメント 【小テスト③ 幼児期】	教科書を読み予習 (30分以上)	復習 (30分以上)
10	第7章 学童期 3. 学童期の食事摂取基準 4. 学童期の食生活	教科書を読み予習 (30分以上)	小テストに向けての復習と勉強 (30分以上)
11	第8章 思春期・青年期 【小テスト④ 学童期】	教科書を読み予習 (30分以上)	復習 (30分以上)
12	第9章 成人期・更年期	教科書を読み予習 (30分以上)	復習 (30分以上)
13	第10章 高齢期 1. 高齢期の生理的特徴 2. 高齢期の栄養ケア・マネジメント	教科書を読み予習 (30分以上)	復習 (30分以上)
14	第10章 高齢期 3. 高齢期の食事摂取基準 4. 高齢期の食生活	教科書を読み予習 (30分以上)	小テストに向けての復習と勉強 (30分以上)
15	第11章 障がい者(児) 第12章 運動・スポーツ 第13章 生体リズムと環境 【小テスト⑤ 高齢期】	教科書を読み予習 (30分以上)	復習 (30分以上)

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員			
L225001		栄養指導論(1)		2	15	講義	30	前期	1年	宮地博子			
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験	
必修	選択	栄養士	医療 マネジメント	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼン テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	食育イン ストラク ター	編入	
	○	○										○	
ディプロマ ポリシー (学習成果)		身につけるべき力				身につけるべき具体的な資質・能力							該当項目 に○
		社会で活動するために必要な知識・技能				1. 知識を正確に理解する(知識理解)							○
						2. 技能を確実に習得(技能習得)							-
		社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力				3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)							○
						4. 状況を総合的に判断する(判断力)							-
						5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)							○
		多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力				6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)							-
						7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)							-
						8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感)							-
						9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)							○
		労力を惜しまず、生涯に渡って主体的に学ぶ力				10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)							○
11. 計画を確実に実行する力(実行力)							-						
授業概要		健康教育において、対象者が意欲的に規則正しい食習慣と運動習慣を整え、それを維持していくための支援が求められる。栄養教育の概念や歴史について学び、その社会的背景や社会的ニーズを理解する。また、行動変容を促すためにどのような働きかけをしなければならないのか、行動科学やカウンセリングについて基本的な考え方を身に付け理解を深める。											
授業の到達目標		・栄養教育の必要性やその社会的背景を理解できる。 ・栄養教育を行っていくために必要な知識や技術について理解できる。 ・栄養士の社会的役割を理解する。											
単位認定の方法		期末試験	70 %		授業内小テスト	30 %		授業内活動	%		計		100 %
		期末レポート	%		授業内提出物	%		その他	%				
フィードバックの方法		小テストは確認後に解説を行う。質問等についてはその都度対応する。											
教科書・教材		相川りゑ子・小野友紀 著：Nブックス 四訂 栄養指導論 建帛社											
参考書・参考文献等		医歯薬出版 編：日本食品成分表2026 八訂 医歯薬出版株式会社											
履修上の注意等		予習・復習をしっかりとすること。配布物は整理して、保管すること。											
回	授 業 計 画					授業時間外学習							
						授業前・時間			授業後・時間				
1	第1章 栄養指導の意義と定義					教科書を読み予習 (30分以上)			復習 (30分以上)				
2	第2章 栄養指導の沿革 1. 栄養指導の歴史					教科書を読み予習 (30分以上)			復習 (30分以上)				
3	第2章 栄養指導の沿革 2. 戦前、戦後復興 3. 経済成長期の栄養指導					教科書を読み予習 (30分以上)			復習 (30分以上)				
4	第2章 栄養指導の沿革 4. 栄養指導の現在 5. 栄養指導の展望					教科書を読み予習 (30分以上)			小テストに向けての復習と勉強 (30分以上)				

5	第3章 栄養指導と関係法規 1. 栄養士制度と法律 2. 栄養指導にかかわる法律 【小テスト① 栄養指導の概念・沿革】	教科書を読み予習 (30分以上)	復習 (30分以上)
6	第3章 栄養指導と関係法規 3. その他関連の法律	教科書を読み予習 (30分以上)	小テストに向けての復習と勉強 (30分以上)
7	第4章 食生活・栄養に関する諸調査 【小テスト② 栄養指導と関係法規】	教科書を読み予習 (30分以上)	復習 (30分以上)
8	第5章 栄養指導の方法と技術 1. 栄養指導（相談）の一般原則 2. 栄養指導の計画・評価	教科書を読み予習 (30分以上)	復習 (30分以上)
9	第5章 栄養指導の方法と技術 3. 栄養指導の方法と技術 第6章 栄養指導の実際 1. 指導方法の選択	教科書を読み予習 (30分以上)	復習 (30分以上)
10	第6章 栄養指導の実際 2. カウンセリングの理論と意義 3. 行動科学と栄養指導	教科書を読み予習 (30分以上)	小テストに向けての復習と勉強 (30分以上)
11	第6章 栄養指導の実際 4. 教材・媒体 第7章 栄養指導に必要な基礎事項 1. 日本人の食事摂取基準 【小テスト③ 食生活・栄養に関する諸調査】	教科書を読み予習 (30分以上)	復習 (30分以上)
12	第7章 栄養指導に必要な基礎事項 2. 食生活指針と食事バランスガイド 第12章 栄養指導の国際的動向	教科書を読み予習 (30分以上)	復習 (30分以上)
13	第7章 栄養指導に必要な基礎事項 3. 日本食品標準成分表 4. 食育関連	教科書を読み予習 (30分以上)	復習 (30分以上)
14	第7章 栄養指導に必要な基礎事項 5. 食料需給表と食の安全性 6. 健康日本21	教科書を読み予習 (30分以上)	復習 (30分以上)
15	第7章 栄養指導に必要な基礎事項 7. 栄養指導と運動指導 8. 栄養指導と休養指導	教科書を読み予習 (30分以上)	復習 (30分以上)

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員			
L225001		栄養指導論(2)		2	15	講義	30	後期	1年	木田久美			
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験	
必修	選択	栄養士	医療 マネジメント	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼン テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	食育イン ストラク ター	編入	
	○	○										○	
ディプロマ ポリシー (学習成果)		身につけるべき力			身につけるべき具体的な資質・能力								該当項目 に○
		社会で活動するために必要な知識・技能			1. 知識を正確に理解する(知識理解)								○
					2. 技能を確実に習得(技能習得)								○
		社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力			3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)								○
					4. 状況を総合的に判断する(判断力)								-
					5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)								○
		多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力			6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)								○
					7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)								○
					8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感)								○
					9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)								○
		労力を惜しまず、生涯に渡って主体的に学ぶ力			10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)								-
11. 計画を確実に実行する力(実行力)								-					
授業概要		①ライフステージの特徴と課題を理解し、問題解決に活用できる。②栄養状態の評価と栄養調査について解説のする。③特定給食施設における栄養指導について解説する。											
授業の到達目標		①ライフステージや様々な場面における栄養教育を解説する。②個人・集団に対して栄養知識を活用して栄養教育ができる。③特定給食施設において栄養教育ができる。											
単位認定の方法		期末試験	80 %	授業内小テスト	%	授業内活動	20 %	計		100 %			
		期末レポート	%	授業内提出物	%	その他	%						
フィードバックの方法		最終日にまとめを行うことで確認する。											
教科書・教材		栄養士・管理栄養士のための栄養指導論 第9班 学建書院											
参考書・参考文献等		東京教学社 栄養教育・栄養指導論 第6班 その他 資料は授業で配布											
履修上の注意等		教科書、配布資料、電卓を常備する。											
回	授 業 計 画					授業時間外学習							
						授業前・時間				授業後・時間			
1	栄養指導の概念 総論					事前に次の授業内容の教科書を読んでおく、(90分)				授業内容を復習する。(90ぶん)			
2	栄養指導状態の評価と栄養調査					事前に次の授業内容の教科書を読んでおく、(91分)				授業内容を復習する。(90分)			
3	栄養指導と情報収集					事前に次の授業内容の教科書を読んでおく、(92分)				授業内容を復習する。(90分)			
4	①栄養指導の技法と方法 行動変容 ②栄養指導とカウンセリング					事前に次の授業内容の教科書を読んでおく、(93分)				授業内容を復習する。(90分)			

5	栄養指導の進め方 個別指導 集団指導	事前に次の授業内容の教科書を読んでおく、(94分)	授業内容を復習する。(90分)
6	ライフステージ別栄養指導 妊婦 産婦 授乳婦の栄養指導	事前に次の授業内容の教科書を読んでおく、(95分)	授業内容を復習する。(91分)
7	ライフステージ別栄養指導 乳幼児 幼児の栄養指導	事前に次の授業内容の教科書を読んでおく、(96分)	授業内容を復習する。(92分)
8	ライフステージ別栄養指導 学童 思春期の栄養指導	事前に次の授業内容の教科書を読んでおく、(97分)	授業内容を復習する。(93分)
9	ライフステージ別栄養指導 成人期の栄養指導	事前に次の授業内容の教科書を読んでおく、(98分)	授業内容を復習する。(94分)
10	ライフステージ別栄養指導 高齢期の栄養指導	事前に次の授業内容の教科書を読んでおく、(99分)	授業内容を復習する。(95分)
11	特定給食施設における栄養指導 病院など医療施設における栄養指導	事前に次の授業内容の教科書を読んでおく、(100分)	授業内容を復習する。(96分)
12	特定給食施設における栄養指導 学校における栄養指導	事前に次の授業内容の教科書を読んでおく、(101分)	授業内容を復習する。(97分)
13	特定給食施設における栄養指導 産業給食における栄養指導	事前に次の授業内容の教科書を読んでおく、(102分)	授業内容を復習する。(98分)
14	特定給食施設における栄養指導 福祉施設における栄養指導	事前に次の授業内容の教科書を読んでおく、(103分)	授業内容を復習する。(99分)
15	まとめ てすと対策	事前に次の授業内容の教科書を読んでおく、(104分)	授業内容を復習する。(100分)

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員			
L225003		栄養指導実習		1	15	実習	45	前期	1年	宮地博子			
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験	
必修	選択	栄養士	医療 マナジメン ト	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼン テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	食育イン ストラク ター	編入	
	○	○											
ディプロマ ポリシー (学習成果)		身につけるべき力			身につけるべき具体的な資質・能力								該当項目 に○
		社会で活動するために必要な知識・技能			1. 知識を正確に理解する(知識理解)								○
					2. 技能を確実に習得(技能習得)								○
		社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力			3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)								○
					4. 状況を総合的に判断する(判断力)								○
					5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)								○
		多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力			6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)								-
					7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)								○
					8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感)								-
		労力を惜しまず、生涯に渡って主体的に学ぶ力			9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)								○
10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)								○					
11. 計画を確実に実行する力(実行力)								○					
授業概要		栄養教育に必要な基礎知識を理解した上で、より理解を深め対象者の実態把握を行うための方法を学ぶ。栄養指導に必要な日本人のための食事摂取基準や献立評価を理解し、その結果をアセスメントし栄養指導をするための技術を学ぶ。											
授業の到達目標		栄養学の理論を実践の場に連結させる栄養教育の方法、技術を習得する。 栄養教育の基礎知識、実態把握の方法、栄養アセスメントの方法を理解する。 食事調査方法について理解する。											
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	45	%	授業内活動	10	%	計 100 %			
		期末レポート	%	授業内提出物	45	%	その他	%					
フィードバックの方法		提出物は点検後、速やかに返却し解説等をその都度行う。個別対応が必要な場合は適宜対応する。											
教科書・教材		関口紀子 編著：改訂 栄養教育・指導実習 建帛社											
参考書・参考文献等		女子栄養大学調理学研究室 監修：調理のためのベーシックデータ 第6版 女子栄養大学出版部 医歯薬出版 編：日本食品成分表2026 八訂 医歯薬出版株式会社											
履修上の注意等		普段から食事を計量し、量の把握に努めること。課題は溜めないように授業時間外学習も取り組むこと。 提出期限は守ること。A4サイズのノートを1冊準備すること。											
回	授 業 計 画					授業時間外学習							
						授業前・時間			授業後・時間				
1	ガイダンス 栄養教育・指導の意義を理解し、その流れを学ぶ					教科書に一通り目を通す (30分以上)			授業内容を復習 (30分以上)				
2	対象者の実態把握 ①日本人の食事摂取基準について ②自分自身の食事摂取基準を算出 [BMI、標準体重、基礎代謝量、 推定エネルギー必要量(EER)、目標量(DG)の求め方]					教科書を読んで予習 (30分以上)			授業内容を復習 (30分以上)				
3	対象者の実態把握 ②自分自身の食事摂取基準を算出 その他栄養素の求め方 日本食品成分表の使い方①					教科書を読んで予習 (30分以上)			ノート提出 小テストに向けて復習 (30分以上)				
4	日本食品成分表の使い方② 緑黄色野菜について 【小テスト① 食事摂取基準、BMI、摂取重量算出】					教科書を読んで予習 小テストの勉強 (30分以上)			授業内容を復習 (30分以上)				

5	栄養価計算 ①献立表の記載方法、電卓の使い方	教科書を読んで予習 小テストの勉強 (30分以上)	授業内容を復習 (30分以上)
6	栄養価計算 ②栄養価計算の方法 ③栄養価計算の練習問題	教科書を読んで予習 (30分以上)	小テストに向けて復習 (30分以上)
7	献立評価 ①エネルギー・産生栄養素バランス、穀類エネルギー比、 動物性たんぱく質比 ②食品の分類	教科書を読んで予習 小テストの勉強 (30分以上)	ノート提出 小テストに向けて復習 (30分以上)
8	食事調査の実施について 秤量記録法 対象者の実態把握 ①身体状況調査(説明) ②自覚症状調べ ③体組成計測定 【小テスト② 栄養価計算、PFC比、緑黄色野菜】	教科書を読んで予習 (30分以上)	1日目の食事・生活時間調査 授業内容を復習 (30分以上)
9	対象者の実態把握 ④食事調査の実施(1日目) 食事摂取状況調査表に記入→献立表に記入→栄養価計算 (手計算)	1日目の食事・生活時間調査 (30分以上)	栄養価計算 (30分以上)
10	栄養価計算ソフトの使い方	パソコンにソフトをDL マニュアルに通り目を通す (30分以上)	2日目の食事・生活時間調査 授業内容を復習 (30分以上)
11	対象者の実態把握 ④食事調査の実施(2日目) 食事摂取状況調査表に記入→献立表に記入→栄養価計算 (ソフト使用)	2日目の食事・生活時間調査 (30分以上)	栄養価計算 (30分以上)
12	対象者の実態把握 ⑤身体活動状況の実際 活動時間算出→METsから身体活動レベル(PAL)を算出	教科書を読んで予習 (30分以上)	PAL算出 (30分以上)
13	栄養アセスメント【グループ活動】 模擬カウンセリングのための情報収集、準備 【確認テスト】	教科書を読んで予習 (30分以上)	カウンセリングの準備 (30分以上)
14	栄養アセスメント【グループ活動】 20分間の模擬カウンセリングを実施 レポートの書き方を実施	カウンセリングの準備 (30分以上)	対象者の実態把握の課題を 確認(すべて終了している) (30分以上)
15	レポート作成	対象者の実態把握の課題を 確認(すべて終了している) (30分以上)	ノート提出 (30分以上)

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員			
L226001		調理学		2	15	講義	30	前期	1年	安田智子			
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目											実務経験
必修	選択	栄養士	医療 マネジメント	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼンテー ション実務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	食育イン ストラク ター	編入	
	○	○									○	○	
ディプロマ ポリシー (学習成果)		身につけるべき力			身につけるべき具体的な資質・能力								該当項目 に○
		社会で活動するために必要な知識・技能			1. 知識を正確に理解する(知識理解)								○
					2. 技能を確実に習得(技能習得)								-
		社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力			3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)								○
					4. 状況を総合的に判断する(判断力)								○
		多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力			5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)								-
					6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)								-
					7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)								-
					8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感)								-
		労力を惜しまず、生涯に渡って主体的に学ぶ力			9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)								○
					10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)								○
11. 計画を確実に実行する力(実行力)								-					
授業概要		日常の調理や調理学実習、食品学の内容と関連させながら、食品ごとの調理特性や成分について学ぶ。各調理法の特徴、調理操作によって生じる食品の変化、食べ物のおいしさを決める要因を理論的に理解し、食事作りの基礎的な知識として身につける。											
授業の到達目標		1. 調理の意義を理解し、調理操作の目的や特徴、各食材料の調理特性を理論的に説明できる。 2. 調理の基本原則および各調理操作とその理論を科学的に理解し、調理実習で見られる調理上の現象を説明できる。 3. 健康を支える食事を実践するために、学んだ内容を食事計画・調理・食事提供に活用できる。											
単位認定の方法		期末試験	60 %	授業内小テスト	30 %	授業内活動	%	計 100 %					
		期末レポート	%	授業内提出物	10 %	その他	%						
フィードバックの方法		中間テストは、採点后授業時に解説して返却する。											
教科書・教材		健康・栄養系教科書シリーズ 調理学 久木久美子・新田陽子・喜多野宣子（化学同人）											
参考書・参考文献等		①新版調理と理論 山崎清子 島田キミエ他（同文書院） ②日本食品成分表2024 医歯薬出版 ③配布プリント・副読本（うま味ほか）											
履修上の注意等		食材や調理に対して興味・関心を持ち、さまざまな食材を知ることから学びを始める。基礎調理学実習での経験と関連づけながら学習を進め、安全でおいしく、健康的に食べることを常に意識する。学習内容が多いため、毎回の予習と復習を十分に行うことが求められる。なお、授業計画は進行状況により前後する場合がある											
回	授 業 計 画					授業時間外学習							
						授業前・時間				授業後・時間			
1	ガイダンス 調理学の基本	食べ物のおいしさ（食べ物の味）			教科書p1-9を読んで予習する				ノートのまとめをする 指定した栄養士実力認定試験過去問題を解く 30分以上				
2	食べ物のおいしさ 食べ物のにおい、色、テクスチャー、外観、温度、おいしさの評価				教科書 p 9-21を読んで予習する・30分以上				ノートのまとめをする 指定した栄養士実力認定試験過去問題を解く 30分以上				
3	調理操作と調理器具 非加熱調理操作の種類と特徴（計量、洗浄、浸漬、切碎、混合、冷却、解凍）				教科書 p 23-35を読んで予習する・30分以上				ノートのまとめをする 指定した栄養士実力認定試験過去問題を解く 30分以上				
4	調理操作と調理器具 加熱調理操作の種類と特徴（湿式加熱、乾式加熱）				教科書 p 35-41を読んで予習する・30分以上				ノートのまとめをする 指定した栄養士実力認定試験過去問題を解く 30分以上				

5	調理操作と調理器機 加熱調理操作（誘電加熱の特徴、電磁誘導加熱の特徴 調理機器、調理用熱源の扱い方） 中間テスト①（範囲1-3章）	教科書 p 41-47を読んで予習する・30分以上 テスト対策勉強	ノートのまとめをする 指定した栄養士実力認定試験過去問題を解く 30分以上
6	植物性食品の調理科学 （調理特性） 米、小麦の調理科学	教科書 p 49-64を読んで予習する・30分以上	ノートのまとめをする 指定した栄養士実力認定試験過去問題を解く 30分以上
7	植物性食品の調理科学 （調理特性） 小麦、いも類、豆類及びその加工品、種実類の調理科学	教科書 p 59-72を読んで予習する・30分以上	ノートのまとめをする 指定した栄養士実力認定試験過去問題を解く 30分以上
8	植物性食品の調理科学 （調理特性） 野菜類、果実類、きのこ類、藻類の調理科学	教科書 p 73-85を読んで予習する・30分以上	ノートのまとめをする 指定した栄養士実力認定試験過去問題を解く 30分以上
9	動物性食品の調理科学 （調理特性） 食肉類、魚介類の調理科学	教科書 p 87-97を読んで予習する・30分以上	ノートのまとめをする 指定した栄養士実力認定試験過去問題を解く 30分以上
10	動物性食品の調理科学 （調理特性） 卵類、乳類及びその加工品の調理科学	教科書 p 97-107を読んで予習する・30分以上	ノートのまとめをする 指定した栄養士実力認定試験過去問題を解く 30分以上
11	油脂類、ゲル化剤（ゼラチン、寒天、カラギーナン、ペクチン）の調理特性と栄養	教科書 p 109-124を読んで予習する・30分以上	ノートのまとめをする 指定した栄養士実力認定試験過去問題を解く 30分以上
12	でんぷんの調理特性と栄養、調味料の調理特性 中間テスト②（範囲4-5章）	教科書 p 124-137を読んで予習する・30分以上 テスト対策勉強	ノートのまとめをする 指定した栄養士実力認定試験過去問題を解く 30分以上
13	調味料、香辛料、嗜好飲料の調理特性	教科書 p 138-147を読んで予習する。小テストで達成度を確認するため、しっかりと勉強をする・30分以上	ノートのまとめをする 指定した栄養士実力認定試験過去問題を解く 30分以上
14	調理と食文化 料理様式別の食事構成、献立作成、食文化論、行事食（日本の中華と本場の中華の料理の権貝についてDVD学習）	教科書 p 149-166を読んで予習する。・30分以上	ノートのまとめをする 指定した栄養士実力認定試験過去問題を解く 30分以上
15	調理と食文化 料理様式別の食事構成、献立構成、食文化論、行事食、まとめ	栄養士実力認定試験の過去問を解く・30分以上	筆記試験によって達成度を確認するため、しっかりと勉強をすること

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員					
L226003		基礎調理学実習（和食1）		1	7.5	実習	30	前期	1年	安田智子					
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験			
必修	選択	栄養士	医療 マネジメン ト	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼンテー ション実務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	食育イン ストラク ター	編入			
	○	○										○			
ディプロマ ポリシー (学習成果)		身につけるべき力				身につけるべき具体的な資質・能力							該当項目 に○		
		社会で活動するために必要な知識・技能				1. 知識を正確に理解する(知識理解)							○		
						2. 技能を確実に習得(技能習得)							○		
		社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力				3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)							-		
						4. 状況を総合的に判断する(判断力)							-		
						5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)							-		
		多様な人々と共に共通の目標実現に向 かって協働する力				6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)							-		
						7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)							○		
						8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる (責任感)							-		
		労力を惜しまず、生涯に渡って主体的 に学ぶ力				9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)							○		
						10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)							○		
11. 計画を確実に実行する力(実行力)							○								
授業概要		基礎調理学実習では、美味しい食事を作るための調理技術と調理に関する知識を実習を通して身につけ、日常生活に活かしながら、自身の健康への意識を高めるとともに、栄養士を目指すうえでの基礎力を養うことを目的とする。和食Ⅰでは、春から夏にかけての旬の食材を用い、和食の基本的な調理法を学ぶ。調理技術や調理過程で生じる変化を調理科学的な視点から理解し、調理の基礎知識を深める。 さらに、地域社会との連携事業として、学んだ知識と技術を活かしたレシピ開発にも取り組む。													
授業の到達目標		1. 切り方の基礎および基本的な調理法を正しく身につける。 2. 食材の特徴を理解し、それに適した調理操作を行うことができる。 3. 各料理の段取りを考えて作業を進め、時間内に班員と協力して完成させることができる。 4. 食器の選択・盛り付け・配膳を美しく行うことができる。 5. 地域社会との連携事業として、学んだ知識と技術を活かしレシピを考案することができる。													
単位認定の方法		期末試験	%		授業内小テスト	30		%		授業内活動	10		%		計 100 %
		期末レポート	20 %		授業内提出物	40		%		その他			%		
フィードバックの方法		各単元の料理について、調理道具の使い方、食材の下処理、切り方、調理用語などをノートにまとめる。授業時には、前回の実習内容や重要なポイントを振り返り、フィードバックを行う。班員と協力して料理を完成させるため、自宅などで再度調理を行い、知識と調理技術の定着を図る。													
教科書・教材		「改訂調理学実習」 田口アイ 石岡春美 中野つえ子 北山育子共著 やまと印刷株式会社													
参考書・参考文献等		新版「調理と理論」同文書院、「調理学」化学同人、「日本食品成分表」医歯薬出版社、「調理のためのベーシックデータ」女子栄養大学													
履修上の注意等		実習に際しては、ピアス・指輪・時計などの装飾品をすべて外し、白衣・エプロン・衛生帽・コックシューズを着用する。髪の毛が外に出ないように十分注意すること。白衣は毎回洗濯し、アイロンをかけ、常に衛生的な状態で調理に臨む。また、班員と協力して調理を行うことで協調性を養い、自らの力を発揮して全体の料理を完成させる姿勢を大切にする。													
回	授 業 計 画					授業時間外学習									
						授業前・時間				授業後・時間					
1	オリエンテーション/ノートまとめ方、段取り・作業工程・栄養価、調理室の使い方/調理室内調理道具・器具について					シラバスを読み、どのような料理を実習するのかわてくる				調理室の使い方、ノートのまとめ方、栄養価計算の仕方、調理の段取りの仕方について理解する。(30分以上)					
2	調理の基礎1 洗う、切る操作（包丁の種類・使い方）野菜の切り方の名称と要点 調理実験…重量・廃棄量の計測 実習：けんちん汁（切った野菜を利用）					教科書を読み、作り方を理解する。 段取りや作業工程を立てる (30分以上)				単元の料理について、調理道具の使い方、食材の下処理、切り方等、また、調理用語、栄養価計算、塩分濃度、などノートまとめを行う。(30分以上)					
3	調理の基礎2 ご飯の炊き方 出汁の取り方（煮干しだし）、青菜のゆで方、配膳の仕方 実習例：白飯、豆腐となめこのみそ汁、ほうれん草のお浸し、だし巻き卵 調理実験…炊飯（付着水、蒸発量、炊き倍率他）					教科書を読み、作り方を理解する。 段取りや作業工程を立てる (30分以上)				単元の料理について、調理道具の使い方、食材の下処理、切り方等、また、調理用語、栄養価計算、塩分濃度、などノートまとめを行う。(30分以上)					
4	調理の基礎3 混合煮出し汁の取り方、汁物の調味%、漬物の塩分%、炊飯の復習 実習例：錦井、菊花豆腐の清汁、キャベツの即席漬					教科書を読み、作り方を理解する。 段取りや作業工程を立てる (30分以上)				単元の料理について、調理道具の使い方、食材の下処理、切り方等、また、調理用語、栄養価計算、塩分濃度、などノートまとめを行う。(30分以上)					

5	味付け飯、貝の汁物の要点、魚の扱いと煮魚の基本、酢の物 実習例；桜飯、しじみのみそ汁、鰯の煮付け、きゅうりとわかめの酢の物	教科書を読み、作り方を理解する。 段取りや作業工程を立てる (30分以上)	単元の料理について、調理道具の使い方、食材の下処理、切り方等、また、調理用語、栄養価計算、塩分濃度、などノートまとめを行う。(30分以上)
6	すし飯の基本、具材(乾物)の使い方、混合煮出し汁の復習、澱粉の効果 実習例；五目ちらしずし、かき卵汁、かぶの千枚漬	教科書を読み、作り方を理解する。 段取りや作業工程を立てる (30分以上)	単元の料理について、調理道具の使い方、食材の下処理、切り方等、また、調理用語、栄養価計算、塩分濃度、などノートまとめを行う。(30分以上)
7	和風乾麺の扱い方、揚げ物の基本、なす料理の要点、 寒天の特徴と寄せ物 実習例；五目冷やしそうめん、なすのはさみ揚げ、水ようかん	教科書を読み、作り方を理解する。 段取りや作業工程を立てる (30分以上)	単元の料理について、調理道具の使い方、食材の下処理、切り方等、また、調理用語、栄養価計算、塩分濃度、などノートまとめを行う。(30分以上)
8	実技試験、調理実習室大掃除 胡瓜の薄切り(30秒間。円形・2mm以内厚さの薄切りが40枚以上合格)	胡瓜の薄切りは、包丁の腹の部分に胡瓜を抑える手が接して切ることができるように練習してくる	学習アンケート回答(10分)
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員												
L226003		基礎調理学実習（中華）		1	7.5	実習	30	前期	1年	安田智子												
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験										
必修	選択	栄養士	医療 マネジメント	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼンテー ション実務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	食育イン ストラク ター	編入										
	○	○										○										
ディプロマ ポリシー (学習成果)		身につけるべき力				身につけるべき具体的な資質・能力							該当項目 に○									
		社会で活動するために必要な知識・技能				1. 知識を正確に理解する(知識理解)							○									
						2. 技能を確実に習得(技能習得)							○									
		社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力				3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)							-									
						4. 状況を総合的に判断する(判断力)							-									
						5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)							-									
		多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力				6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)							-									
						7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)							○									
		労力を惜みず、生涯に渡って主体的に学ぶ力				8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感)							-									
						9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)							○									
						10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)							○									
11. 計画を確実に実行する力(実行力)							○															
授業概要		美味しい食事を作るための調理技術と調理に関する知識を実習を通して身につけ、日常生活に活かしながら自身の健康への意識を高め、栄養士を目指す基礎力を養うことを目的とする。基礎調理学実習（和食Ⅰ）に続き、本科目（中華）では、中国料理における基本的な調理技術を習得し、調理過程で生じる変化を調理科学的な視点から理解する。さらに、和食Ⅰに引き続き、地域社会との連携事業として、学んだ知識と技術を活かしたレシピ開発にも取り組む。																				
授業の到達目標		1. 中華料理に特有の切り方や強火調理・油の扱いなど、基本的な調理技術を正しく身につける。 2. 食材の特徴と中華調理における加熱・油・香味の使い方を理解し、適切な調理操作ができる。 3. 短時間調理を前提とした段取りや作業工程を考え、時間内に班員と協力して正確に仕上げることができる。 4. 中華料理の特徴を踏まえた食器選択・盛り付け・配膳を美しく行うことができる。 5. 試食した料理の栄養価を計算し、調理法と栄養の関係を理解することができる。																				
単位認定の方法		期末試験				%		授業内小テスト		30		%		授業内活動		10		%		計	100	%
		期末レポート				20		%		授業内提出物		40		%		その他						
フィードバックの方法		単元ごとの料理について、調理道具の使い方、食材の下処理、切り方、調理用語、栄養価算出などをノートにまとめ、疑問点や質問事項についてはノートを通して理解を深める。授業は班員と協力して進めるため、習った献立を自宅で復習し、知識と調理技術の定着に努める。																				
教科書・教材		「改訂調理学実習」 田口アイ 石岡春美 中野つえ子 北山育子共著 やまと印刷株式会社																				
参考書・参考文献等		新版「調理と理論」同文書院、「調理学」化学同人、「日本食品成分表」医歯薬出版社 「調理のためのベーシックデータ」女子栄養大学																				
履修上の注意等		実習に際しては、ピアス・指輪・時計などの装飾品をすべて外し、白衣・エプロン・衛生帽・コックシューズを着用する。髪の毛が外に出ないように十分注意すること。白衣は毎回洗濯し、アイロンをかけ、常に衛生的な状態で調理に臨む。また、班員と協力して調理を行うことで協調性を養い、自らの力を発揮して全体の料理を完成させる姿勢を大切にする。																				
回	授 業 計 画					授業時間外学習																
						授業前・時間				授業後・時間												
1	中国料理の特徴、中華麺、点心、比重の違うものを加えた寄せ物、シロップ 実習例；冷拌黄瓜、涼麵、牛奶豆腐					教科書を読み、作り方を理解する。 段取りや作業工程を立てる (30分以上)				本時の料理について、調理道具の使い方、食材の下処理、切り方等、また、調理用語、栄養価計算、塩分濃度、などノートまとめを行う。(30分以上)												
2	前菜・溜菜・鹹点心の要点、粥の種類と要点 中国茶の種類と淹れ方 実習例；冷拌蕃茄、糖醋魚片、鶏蓉粥					教科書を読み、作り方を理解する。 段取りや作業工程を立てる (30分以上)				本時の料理について、調理道具の使い方、食材の下処理、切り方等、また、調理用語、栄養価計算、塩分濃度、などノートまとめを行う。(30分以上)												
3	中国料理の食器、メレンゲのポイント 実習例；冷拌墨魚、春捲、鶏蛋糕、中国茶（青茶）					教科書を読み、作り方を理解する。 段取りや作業工程を立てる (30分以上)				本時の料理について、調理道具の使い方、食材の下処理、切り方等、また、調理用語、栄養価計算、塩分濃度、などノートまとめを行う。(30分以上)												
4	中国各地域の料理の特徴、中国料理の配膳、焼売のポイント 実習例；咕咾肉、焼売、辣白菜、中国茶（花茶）					教科書を読み、作り方を理解する。 段取りや作業工程を立てる (30分以上)				単元の料理について、調理道具の使い方、食材の下処理、切り方等、また、調理用語、栄養価計算、塩分濃度、などノートまとめを行う。(30分以上)												

5	湯の取り方とポイント、餃子の種類及び皮の作り方とポイント 実習例；棒棒鶏、黄花湯、餃子、中国茶（黒茶）	教科書を読み、作り方を理解する。 段取りや作業工程を立てる (30分以上)	本時の料理について、調理道具の使い方、食材の下処理、切り方等、また、調理用語、栄養価計算、塩分濃度、などノートまとめを行う。（30分以上）
6	中国料理の配膳方法と食器、湯菜の種類と要点、炒飯のポイント 実習例；冷拌三絲、白菜丸子湯、桂花炒飯、中国茶（工夫茶）	教科書を読み、作り方を理解する。 段取りや作業工程を立てる (30分以上)	本時の料理について、調理道具の使い方、食材の下処理、切り方等、また、調理用語、栄養価計算、塩分濃度、などノートまとめを行う。（30分以上）
7	「シン・スリーアップる！」事業レシピ開発	りんごを用いたレシピを考案 (30分以上)	本時の試作の改良点を検討 (30分以上)
8	実技試験、調理実習室大掃除 薄焼き卵（2分間。焼き色つかず、ゼリー化せずきれいな円形の薄焼き卵2枚焼けて合格）	薄焼き卵では、フライパンの扱いを練習する（30分以上）	学習アンケート回答（10分）
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

ナンバリング		科目名			単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員			
L226003		基礎調理学実習（洋食）			1	7.5	実習	30	後期	1年	安田智子			
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目											実務経験	
必修	選択	栄養士	医療 マネジメント	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼンテー ション実務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	食育イン ストラク ター	編入		
	○	○												
ディプロマ ポリシー (学習成果)		身につけるべき力				身につけるべき具体的な資質・能力								該当項目 に○
		社会で活動するために必要な知識・技能				1. 知識を正確に理解する(知識理解)								○
						2. 技能を確実に習得(技能習得)								○
		社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力				3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)								
						4. 状況を総合的に判断する(判断力)								
						5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)								
		多様な人々と共に共通の目標実現に向 かって協働する力				6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)								
						7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)								○
						8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる (責任感)								
						9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)								○
		労力を惜しまず、生涯に渡って主体的 に学ぶ力				10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)								○
						11. 計画を確実に実行する力(実行力)								○
授業概要		美味しい食事を作るための調理技術と調理に関する知識を実習を通して身につけ、日常生活に活かしながら自身の健康への意識を高め、栄養士を目指す基礎力を養うことを目的とする。前期の和食・中華に続き、後期は洋食を中心に、香辛料や油脂類など洋食特有の食材を用いて基本的な調理法を学ぶ。調理技術や調理過程で生じる変化を調理科学的な視点から理解し、洋食調理の特徴を体系的に身につける。												
授業の到達目標		1. 前期で身につけた基礎を踏まえ、洋食に特有の調理技術や食材の扱い方を正しく習得する。 2. 香辛料・油脂類など洋食特有の食材の特徴を理解し、適切な調理操作を行うことができる。 3. 各料理や献立の作業工程を的確に考え、時間内に班員と協力して効率よく上げることができる。 4. 洋食の特徴を踏まえた食器選択・盛り付け・配膳を美しく行うことができる。 5. 試食した料理の栄養価を算出し、調理法と栄養との関係を理解することができる。												
単位認定の方法		期末試験	%		授業内小テスト	30	%		授業内活動	10	%		計 100 %	
		期末レポート	20 %		授業内提出物	40	%		その他		%			
フィードバックの方法		単元の料理について、調理道具の使い方、食材の下処理、切り方等、また、調理用語などノートまとめを行う。授業時に前回のポイントをフィードバックする。												
教科書・教材		「改訂調理学実習」 田口アイ 石岡春美 中野つえ子 北山育子共著 やまと印刷株式会社												
参考書・参考文献等		新版「調理と理論」同文書院、「調理学」化学同人、「日本食品成分表」医歯薬出版社 「調理のためのベーシックデータ」女子栄養大学												
履修上の注意等		衛生的に調理を行うことを常に心がけ、身だしなみや実習着の管理を徹底する。洋食実習では油脂や高温を扱う場面が多いため、火傷や転倒などの事故を防ぐために安全に十分注意して作業を行う。また、班員と協力して調理を進めることで協調性を養い、自らの力を発揮して全体の料理を完成させる姿勢を大切にする。なお、食材の入荷状況や季節により、使用する材料やメニューが変更になる場合がある。												
回	授 業 計 画					授業時間外学習								
						授業前・時間					授業後・時間			
1	パスタの種類と扱い方 手作りマヨネーズの原理 ゼラチンゼリーの扱い方 実習例；スパゲティ・ナポリタン、マセドアンサラダ、コーヒージェリー（ゼラチン）					教科書を読み、作り方を理解する。 段取りや作業工程を立てる (30分以上)					単元の料理について、調理道具の使い方、食材の下処理、切り方等、また、調理用語、栄養価算出、塩分濃度、などノートまとめを行う。（30分以上）			
2	洋風煮込み物の特徴、ホワイトルウとホワイトソース、洋風焼き菓子の要点 実習例；野菜のクリーム煮、カップケーキ、紅茶（ストレートティー）					教科書を読み、作り方を理解する。 段取りや作業工程を立てる (30分以上)					単元の料理について、調理道具の使い方、食材の下処理、切り方等、また、調理用語、栄養価算出、塩分濃度、などノートまとめを行う。（30分以上）			
3	スープの種類、塩分の出し方、ブランルウとホワイトルウと比較、ひき肉の調理性と扱い方 実習例；コンスープ、ハンバーグステーキ、粉ふき芋、ヨーグルトゼリー、紅茶（レモンティー）					教科書を読み、作り方を理解する。 段取りや作業工程を立てる (30分以上)					単元の料理について、調理道具の使い方、食材の下処理、切り方等、また、調理用語、栄養価算出、塩分濃度、などノートまとめを行う。（30分以上）			
4	カレールウ、香辛料の種類、マリネの手法、比重の違うものを混ぜたゼリー 実習例；ビーフカレー、サーモンのマリネ、フルーツゼリー（ゼラチン）					教科書を読み、作り方を理解する。 段取りや作業工程を立てる (30分以上)					単元の料理について、調理道具の使い方、食材の下処理、切り方等、また、調理用語、栄養価算出、塩分濃度、などノートまとめを行う。（30分以上）			

5	洋風煮込み料理の要点、ブールマニエの手法、冷蔵 実習例；ロールキャベツ、ミモザサラダ、二色ゼリー（ゼラチン）、 紅茶（ミルクティー）	教科書を読み、作り方を理解する。 段取りや作業工程を立てる （30分以上）	単元の料理について、調理道具の使い方、 食材の下処理、切り方等、また、 調理用語、栄養価算出、塩分濃度、な どノートまとめを行う。（30分以上）
6	西洋料理の献立構成、スープストックとスープの基礎、ムニエルの要 点、サラダ、でんぷんによる寄せ物 実習例；コンソメ・ジュリアン、鯖のムニエル、マッシュポテト、フ ルーツサラダ、ブランマンジェ（コーンスターチ）	教科書を読み、作り方を理解する。 段取りや作業工程を立てる （30分以上）	単元の料理について、調理道具の使い方、 食材の下処理、切り方等、また、 調理用語、栄養価算出、塩分濃度、な どノートまとめを行う。（30分以上）
7	西洋料理の盛り付け；揚げ物の特色、サラダ、アガーの扱い方 実習例；ポテトコロッケ、アボカド・カッテージチーズのサラダ、 コーヒーとミクルのゼリー（アガー）	教科書を読み、作り方を理解する。 段取りや作業工程を立てる （30分以上）	単元の料理について、調理道具の使い方、 食材の下処理、切り方等、また、 調理用語、栄養価算出、塩分濃度、な どノートまとめを行う。（30分以上）
8	実技試験、調理実習室大掃除 胡瓜の薄切り	包丁技術の練習を行う（30分以上）	学習アンケート回答（10分）
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

ナンバリング		科目名			単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
L226003		基礎調理学実習（和食2）			1	7.5	実習	30	後期	1年	安田智子		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験	
必修	選択	栄養士	医療 マネジメン ト	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼンテー ション実務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	食育イン ストラク ター	編入	
	○	○											
ディプロマ ポリシー (学習成果)		身につけるべき力			身につけるべき具体的な資質・能力								該当項目 に○
		社会で活動するために必要な知識・技能			1. 知識を正確に理解する(知識理解)								○
					2. 技能を確実に習得(技能習得)								○
		社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力			3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)								
					4. 状況を総合的に判断する(判断力)								
		多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力			5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)								
					6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)								
		労力を惜しまず、生涯に渡って主体的に学ぶ力			7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)								○
					8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感)								
					9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)								○
					10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)								○
			11. 計画を確実に実行する力(実行力)								○		
授業概要		美味しい食事を作るための調理技術と調理に関する知識を実習を通して身につけ、日常生活に活かしながら自身の健康への意識を高め、栄養士を目指す基礎力を養うことを目的とする。 和食2では、秋から冬にかけての旬の食材を用い、季節に応じた和食の基本調理を学ぶとともに、年中行事に関連した行事食についても理解を深める。調理技術や調理過程で生じる変化を調理科学的な視点からとらえ、和食の特徴をより体系的に身につける。											
授業の到達目標		1. 切り方の基礎および基本的な調理法を正しく身につける。 2. 食材の特徴を理解し、それに適した調理操作を行うことができる。 3. 各料理や献立の作業工程と段取りを考え、時間内に班員と協力して正確に仕上げるができる。 4. 和食の特徴を踏まえた食器の選択・盛り付け・配膳を美しく行うことができる。 5. 試食した料理の栄養価を算出し、調理法との関連を理解することができる。											
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	40	%	授業内活動	20	%	計 100 %			
		期末レポート	%	授業内提出物	40	%	その他	%					
フィードバックの方法		単元ごとの料理について、調理道具の使い方、食材の下処理、切り方、調理用語などをノートにまとめ、理解を深める。授業時には、前回の実習内容や重要なポイントを振り返り、学習の定着を図る。											
教科書・教材		「改訂調理学実習」 田口アイ 石岡春美 中野つえ子 北山育子共著 やまと印刷株式会社											
参考書・参考文献等		新版「調理と理論」同文書院、「調理学」化学同人、「日本食品成分表」医歯薬出版社、「調理のためのベーシックデータ」女子栄養大学											
履修上の注意等		衛生的に調理を行うことを常に心がけ、身だしなみや実習着の管理を徹底する。1年生最後の実習として、これまでに身につけた基本姿勢を踏まえ、より安全で丁寧な作業を意識する。また、班員と協力して調理を進めることで協調性を養い、自らの力を発揮して全体の料理を完成させる姿勢を大切にする。なお、食材の入荷状況や季節により、使用する材料やメニューが変更になる場合がある。											
回	授 業 計 画					授業時間外学習							
						授業前・時間				授業後・時間			
1	炊き込みご飯のポイント、煮干しだしの取り方、和え物の要点、電子レンジを使用した和菓子 実習例；炊き込みご飯、じゃが芋とわかめのみそ汁、ほうれんそうのごま和え、ゆべし、玄米茶					教科書を読み、作り方を理解する。 段取りや作業工程を立てる (30分以上)				単元の料理について、調理道具の使い方、食材の下処理、切り方等、また、調理用語、栄養価算出、塩分濃度、などノートまとめを行う。(30分以上)			
2	クリスマス料理 ロールケーキの基礎、卵の泡立て方法、生クリームの扱い方 実習例；チキンローフ、ニンジングラッセ、ブッシュ・ド・ノエル、ティーパンチ					教科書を読み、作り方を理解する。 段取りや作業工程を立てる (30分以上)				単元の料理について、調理道具の使い方、食材の下処理、切り方等、また、調理用語、栄養価算出、塩分濃度、などノートまとめを行う。(30分以上)			
3	正月料理 行事食の意義 おせち料理の種類と作り方、祝い肴と祝い箸 実習例；栗きんとん、牛肉の八幡巻き、岩石卵、ぶどう酒かん、結びかまぼこ、紅白なます、俵型おにぎり、煎茶					教科書を読み、作り方を理解する。 段取りや作業工程を立てる (30分以上)				単元の料理について、調理道具の使い方、食材の下処理、切り方等、また、調理用語、栄養価算出、塩分濃度、などノートまとめを行う。(30分以上)			
4	雑炊のポイント、魚の三枚おろし、面取り・隠し包丁 実習例；卵雑炊、さんまの鳴戸揚げ、ふろふき大根、いり卵の花、そば蒸しようかん、番茶					教科書を読み、作り方を理解する。 段取りや作業工程を立てる (30分以上)				単元の料理について、調理道具の使い方、食材の下処理、切り方等、また、調理用語、栄養価算出、塩分濃度、などノートまとめを行う。(30分以上)			

5	井物の要点、胚芽精米、汁物の構成、緑黄野菜とその他の野菜のゆで方ポイント 実習例；親子丼、白髪そうめんの清汁、白菜とほうれん草のごまじょうゆ、大学芋、番茶	教科書を読み、作り方を理解する。 段取りや作業工程を立てる (30分以上)	単元の料理について、調理道具の使い方、食材の下処理、切り方等、また、調理用語、栄養価算出、塩分濃度、などノートまとめを行う。(30分以上)
6	煮魚（みそ煮）の要点、魚のおろし方、煮物の塩分と糖分、蒸し菓子のポイント 実習例；鯖の味噌煮、かぼちゃのそぼろあんかけ、利休まんじゅう、日本茶	教科書を読み、作り方を理解する。 段取りや作業工程を立てる (30分以上)	単元の料理について、調理道具の使い方、食材の下処理、切り方等、また、調理用語、栄養価算出、塩分濃度、などノートまとめを行う。(30分以上)
7	おでんの要点と材料の下準備、即席漬のポイント 実習例；茶飯、おでん、白菜と菊の即席漬、日本茶	教科書を読み、作り方を理解する。 段取りや作業工程を立てる (30分以上)	単元の料理について、調理道具の使い方、食材の下処理、切り方等、また、調理用語、栄養価算出、塩分濃度、などノートまとめを行う。(30分以上) 学習アンケート回答（10分）
8	実技試験、調理実習室大掃除 人参の乱切り	包丁技術の練習を行う（30分以上）	
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員			
L226001		給食管理論		2	15	講義	30	前期	1年	木村康子			
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験	
必修	選択	栄養士	医療 マネジメント	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼン テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	食育イン ストラク ター	編入	
	○	○										○	
ディプロマ ポリシー (学習成果)		身につけるべき力			身につけるべき具体的な資質・能力								該当項目 に○
		社会で活動するために必要な知識・技能			1. 知識を正確に理解する(知識理解)								○
					2. 技能を確実に習得(技能習得)								○
		社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力			3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)								○
					4. 状況を総合的に判断する(判断力)								-
					5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)								-
		多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力			6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)								-
					7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)								-
					8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感)								-
		労力を惜しまず、生涯に渡って主体的に学ぶ力			9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)								○
					10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)								○
11. 計画を確実に実行する力(実行力)								-					
授業概要		給食の目的は、利用者に対して栄養的に考慮された適切な食事を供給することである。施設・設備や調理時間など諸条件を効率的に行えるよう調理の標準化が重要となる。また、利用者の健康保持増進、心身の健全および疾病の予防・治療などを図るとともに、利用者を通して家庭や地域の正しい食習慣の確立に寄与するものである。給食運営と食材の確保から、栄養面、安全面、経済面全般のマネジメント原理や応用について学び、基本的な考え方や方法が身に付けられるよう学習する。											
授業の到達目標		給食の計画に必要な管理業務に関する基礎知識を身に付ける。 安全・衛生管理について理解できる。 食材料管理の方法が理解できる。											
単位認定の方法		期末試験	70	%	授業内小テスト	20	%	授業内活動	%	計 100 %			
		期末レポート		%	授業内提出物	10	%	その他	%				
フィードバックの方法		授業での質問は個別に対応する。											
教科書・教材		エスカペーシック 給食の運営管理論 計画と実務 同文書院											
参考書・参考文献等		食品成分表、給食施設のための献立作成マニュアル 富田教代執筆者代表 医歯薬出版株式会社 新実践 給食経営管理論 藤原正嘉 他 みらい											
履修上の注意等		事前に教科書を読んでくること。											
回	授 業 計 画					授業時間外学習							
						授業前・時間			授業後・時間				
1	給食の概念(1) 給食の目的と定義、健康増進法による特定給食施設					教科書の予習・30分以上			自宅学習・30分以上				
2	給食の概念(2) 特定給食施設の特徴と給食運営に関わる法規 (学校・病院)					教科書の予習・30分以上			自宅学習・30分以上				
3	給食の概念(3) 特定給食施設の特徴と給食運営に関わる法規 (児童福祉施設・高齢者施設)					教科書の予習・30分以上			自宅学習・30分以上				
4	給食の概念(4) 特定給食施設の特徴と給食運営に関わる法規(事業所) 給食運営のマネジメントの概要					教科書の予習・30分以上			自宅学習・30分以上				

5	栄養・食事管理(1) 栄養・食事管理の目的、給与栄養目標量（食事摂取基準の活用）	教科書の予習・30分以上	自宅学習・30分以上
6	栄養・食事管理(2) 献立作成基準、利用者への情報提供	教科書の予習・30分以上	自宅学習・30分以上
7	栄養・食事管理(3) 食事計画の評価、嗜好調査	教科書の予習・30分以上	自宅学習・30分以上
8	生産管理(1) 食材料管理の目的、購入計画、発注方法	教科書の予習・30分以上	自宅学習・30分以上
9	生産管理(2) 食材料管理（在庫管理と在庫下限量）、検収	教科書の予習・30分以上	自宅学習・30分以上
10	生産管理(3) 調理作業管理の目的、大量調理の特性と品質 大量調理の調味の標準化	教科書の予習・30分以上	自宅学習・30分以上
11	生産管理(4) 安全・衛生管理の目的、安全・衛生教育 事故・災害対策	教科書の予習・30分以上	自宅学習・30分以上
12	生産管理(5) 調理過程における衛生管理（大量調理施設衛生管マニュアル）	教科書の予習・30分以上	自宅学習・30分以上
13	生産管理(6) 調理過程における衛生管理（大量調理施設衛生管マニュアル）	教科書の予習・30分以上	自宅学習・30分以上
14	生産管理(7) 期間食材料使用量、期間食材料費、検食簿、帳票類	教科書の予習・30分以上	自宅学習・30分以上
15	施設・設備管理 施設・設備管理の目的、構造	教科書の予習・30分以上	自宅学習・30分以上

令和8年度

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員			
L226003		給食管理校内実習(1)		1	-	実習	45	後期	1年	木村康子			
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験	
必修	選択	栄養士	医療 マネジメント	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	アプリケーション 実務士	Webデザイン 実務士	ITパス ポート	食育イン ストラク ター	編入	
	○	○											
ディプロマ ポリシー (学習成果)		身につけるべき力				身につけるべき具体的な資質・能力							該当項目 に○
		社会で活動するために必要な知識・技能				1. 知識を正確に理解する(知識理解)							○
						2. 技能を確実に習得(技能習得)							○
		社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力				3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)							○
						4. 状況を総合的に判断する(判断力)							○
						5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)							○
		多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力				6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)							○
						7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)							○
						8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感)							○
		労力を惜しまず、生涯に渡って主体的に学ぶ力				9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)							○
10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)							○						
11. 計画を確実に実行する力(実行力)							○						
授業概要		本学学生・教職員を対象に、常食を提供する。 大量調理に関する計画・実施・評価に至るすべてを学生自身で運営管理する。											
授業の到達目標		特定給食施設における給食の運営管理に関する食事計画、献立計画、購入計画、生産管理、衛生管理、事務管理が概ねできる。											
単位認定の方法			期末試験	%	授業内小テスト	%	授業内活動	50	%	計 100 %			
			期末レポート	%	授業内提出物	50	%	その他	%				
フィードバックの方法			実習時間内や放課後も質問に対応する。また提出物に対しての指導をする。										
教科書・教材			給食管理校内実習ノート エスカパーシック 給食の運営管理論 計画と実務 同文書院										
参考書・参考文献等			食品成分表/医歯薬出版株式会社 調理のためのベーシックデータ/女子栄養大学出版部										
履修上の注意等			実習日程表の打ち合わせ日と検便提出日を確認すること。 実習前、実習中のアルバイトはしないこと。 校外実習の準備のための実習として、服装・容姿(茶髪・ピアス禁止)を調べて臨むこと。										
回	授 業 計 画					授業時間外学習							
						授業前・時間			授業後・時間				
1	【ガイダンスと事前学習】 発注・在庫量の計算 発注書兼検収記録簿の作成 実施献立表の記入 単価計算 作業工程表の作成					時間内でやり終えられなかった分を自主学習							
2	【予定献立表の配布】 予定献立の栄養価計算(給食管理帳票ソフト) 試作し試作検討表の記入 発注												
3	【供食実習】 1日100食前後の常食を提供する。 15名前後の班編成。 各班ごとに月曜から金曜までの5日間集中で実施する。 5日間の間に栄養士役と調理員役を担当する。					実習期間内の実習ノートの記入(毎朝提出)							
4													

5	栄養士役（マネージャー） 納品・検収・出庫 下処理・調理指示 盛付指示	調理員役 出庫・仕分け 材料下処理・調理 盛付	実習期間内の実習ノートの記入（毎朝提出）
6	検食 提供 帳票整理 後片付け点検	提供 後片付け	
7	評価 1日の反省（計画と実施の差異についての要因分析）		
8	※実習1日目について 設備・器具の使い方・作業区域の確認・回転釜点火は、 調理作業や提供後の片づけ作業と並行して学習する。		
9	※実習最終日（5日目）について 1日の反省後に、実習全体を通して目標達成状況を発表する。		
10			
11			
12			
13			
14			
15			

5	3. 献立作成（料理の組み合わせ） 課題（1日3食）	教科書の左記の内容を読む 30分以上	授業内容を復習、または課題を 完成させる。 不明な点は質問する。 30分以上
6	4. 献立作成までの手順 給与栄養目標量・食品群別荷重平均栄養成分表	教科書の左記の内容を読む 30分以上	授業内容を復習、または課題を 完成させる。 不明な点は質問する。 30分以上
7	4. 献立作成までの手順 給与栄養目標量・食品群別荷重平均栄養成分表	教科書の左記の内容を読む 30分以上	授業内容を復習、または課題を 完成させる。 不明な点は質問する。 30分以上
8	5. 献立作成・栄養計算・評価 練習（昼1食、1日3食）（重量を入れる）	教科書の左記の内容を読む 30分以上	授業内容を復習、または課題を 完成させる。 不明な点は質問する。 30分以上
9	5. 献立作成・栄養計算・評価 課題（昼1食、1日3食）（重量を入れる）	教科書の左記の内容を読む 30分以上	授業内容を復習、または課題を 完成させる。 不明な点は質問する。 30分以上
10	6. 献立作成・栄養計算・評価 課題（1日3食×3日）	教科書の左記の内容を読む 30分以上	授業内容を復習、または課題を 完成させる。 不明な点は質問する。 30分以上
11	6. 献立作成・栄養計算・評価 課題（1日3食×3日）	教科書の左記の内容を読む 30分以上	授業内容を復習、または課題を 完成させる。 不明な点は質問する。 30分以上
12	6. 食品構成表 練習（食品構成表作成）	教科書の左記の内容を読む 30分以上	授業内容を復習、または課題を 完成させる。 不明な点は質問する。 30分以上
13	6. 献立作成・栄養計算・評価 課題（1日3食×1週間）	教科書の左記の内容を読む 30分以上	授業内容を復習、または課題を 完成させる。 不明な点は質問する。 30分以上
14	6. 献立作成・栄養計算・評価 課題（1日3食×1週間）	教科書の左記の内容を読む 30分以上	授業内容を復習、または課題を 完成させる。 不明な点は質問する。 30分以上
15	6. 栄養計算・評価・修正 課題（1日3食×1週間）	教科書の左記の内容を読む 30分以上	授業内容を復習、または課題を 完成させる。 不明な点は質問する。 30分以上

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員				
L220012		診療報酬事務演習(1)		1	15	演習	30	前期	1年	林田美沙子				
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目												実務経験
必修	選択	栄養士	医療 マネジメント	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	アセス テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	食育イン ストラク ター	編入		
	○		○											
ディプロマ ポリシー (学習成果)		身につけるべき力				身につけるべき具体的な資質・能力								該当項目 に○
		社会で活動するために必要な知識・技能				1. 知識を正確に理解する(知識理解)								○
						2. 技能を確実に習得(技能習得)								-
		社会で活躍するための土台となる思考 力・判断力・表現力				3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)								○
						4. 状況を総合的に判断する(判断力)								○
						5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)								-
		多様な人々と共に共通の目標実現に向 かって協働する力				6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)								○
						7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)								-
						8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責 任感)								-
		労力を惜しまず、生涯に渡って主体的 に学ぶ力				9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)								○
						10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)								○
11. 計画を確実に実行する力(実行力)								-						
授業概要		診療報酬明細書(レセプト)の基本的作成、及び個別診療カルテの読み取りや基礎的な記載方法を習得する。												
授業の到達目標		診療報酬明細書(レセプト)作成の基礎を身につけ、基本診療料・特掲診療料について診療内容と診療項目に応じた点数(診療料)の関連を理解する。												
単位認定の方法		期末試験	60 %	授業内小テスト	10 %	授業内活動	20 %	計 100 %						
		期末レポート	%	授業内提出物	10 %	その他	%							
フィードバックの方法		課題については解答解説を行い、質問はその都度対応する。												
教科書・教材		診療点数早見表【医科】2026年度版(医学通信社) 薬価基準 点数早見表 令和8年度4月版(じほう) 診療報酬請求の実務 診療報酬請求(医療教育協会)												
参考書・参考文献等		必要に応じて資料配布をする。												
履修上の注意等		課題の締切は厳守のこと。 復習をして、知識の定着を図ること。												
回	授 業 計 画					授業時間外学習								
						授業前・時間					授業後・時間			
1	オリエンテーション 「我が国における医療保険制度」及び 「医療事務と医療秘書の仕事」について					30分					30分			
2	医療保険の仕組み 病医院職員接遇DVD鑑賞 「患者への接遇マナー・気配り」					30分					30分			
3	基本診療料(初診料・再診料)の算定 所定点数と加算点数					30分					30分			
4	診療報酬明細書(レセプト)作成①					30分					30分			

5	医学管理料の算定	30分	30分
6	診療報酬明細書（レセプト）作成②	30分	30分
7	注射料の算定 注射の種類・注射薬剤・単位	30分	30分
8	診療報酬明細書（レセプト）作成③	30分	30分
9	投薬料の算定(1) 投薬の種類・調剤料・処方料・調剤技術基本料	30分	30分
10	投薬料の算定(2) 特定疾患処方管理料・処方箋料の算定方法	30分	30分
11	診療報酬明細書（レセプト）作成④	30分	30分
12	処置料の算定(1) 主な処置料の算定	30分	30分
13	処置料の算定(2) 時間外加算・乳幼児加算等	30分	30分
14	診療報酬明細書（レセプト）作成⑤	30分	30分
15	まとめ（各診療項目算定方法の理解度） ◎レセプト記載要領を把握しているか、 制限時間内にレセプト作成をできるかをチェックする。	30分	30分

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員			
L220012		診療報酬事務演習(2)		1	15	演習	30	後期	1年	林田美沙子			
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目											実務経験
必修	選択	栄養士	医療 マネジメント	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	アセス テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	食育イン ストラク ター	編入	
	○		○										
ディプロマ ポリシー (学習成果)		身につけるべき力			身につけるべき具体的な資質・能力								該当項目 に○
		社会で活動するために必要な知識・技能			1. 知識を正確に理解する(知識理解)								○
					2. 技能を確実に習得(技能習得)								-
		社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力			3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)								○
					4. 状況を総合的に判断する(判断力)								○
		多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力			5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)								-
					6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)								○
		労力を惜しまず、生涯に渡って主体的に学ぶ力			7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)								-
8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感)								-					
9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)								○					
授業概要		複雑な診療行為を含む外来レセプト作成技術を習得する。 診療請求において、迅速かつ的確に算定できる要点を習得する。											
授業の到達目標		診療報酬事務演習(1)に引続いて、在宅医療、処置料、手術料、検査料、画像診断料など各診療行為別に正確な算定方法を身につける。											
単位認定の方法		期末試験	60 %	授業内小テスト	10 %	授業内活動	20 %	計 100 %					
		期末レポート	%	授業内提出物	10 %	その他	%						
フィードバックの方法		課題は採点后に返却し、解説を行う。質問はその都度対応する。											
教科書・教材		診療点数早見表【医科】2026年度版(医学通信社) 薬価基準 点数早見表 令和8年度4月版(じほう) 診療報酬請求の実務 診療報酬請求演習(医療教育協会) ※3冊とも診療(1)で使用しているテキストを使用。 電卓											
参考書・参考文献等		必要に応じて資料配布する。											
履修上の注意等		課題の提出時間は厳守のこと。 復習をすること。											
回	授 業 計 画					授業時間外学習							
						授業前・時間			授業後・時間				
1	オリエンテーション 基本診療料から処置料まで 外来患者のレセプト作成①					30分			30分				
2	手術料の算定(1) 基本算定料等					30分			30分				
3	手術料の算定(2) 時間外加算・乳幼児加算等					30分			30分				
4	麻酔料の算定 麻酔料の算定と記載方法					30分			30分				

5	外来患者のレセプト作成②	30分	30分
6	検査料の算定(1) 検体検査の種類及び検査区分・算定と記載方法	30分	30分
7	検査料の算定(2) 検査区分・検体検査の種類・算定と記載方法	30分	30分
8	外来患者のレセプト作成③	30分	30分
9	検査料の算定(3) 生体検査の種類・算定と記載方法	30分	30分
10	検査料の算定(4) 病理学的検査料の算定と記載方法	30分	30分
11	外来患者のレセプト作成④	30分	30分
12	画像診断料の算定(1) 基本算定料・時間外加算・造影剤使用撮影の算定と記載方法	30分	30分
13	画像診断料の算定(2) 特殊撮影等・コンピュータ断層撮影診断料の算定方法と記載	30分	30分
14	外来患者のレセプト作成⑤	30分	30分
15	まとめ（各診療項目算定方法の理解度） ◎レセプト記載要領を把握しているか、制限時間内にレセプト作成 をできるかをチェックする。	30分	30分

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員		
L230001		登録販売者対策講座 (医薬品と人体)		2	15	講義	30	前期	1年	安田智子・岡本由美子		
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験
必修	選択	栄養士	医療 マネジメン ト	ビジネス 実務士	上級ビジ ネス実務	情報処理 士	上級情報 処理士	ITパス ポート	食育イン ストラク ター	編入		
	○		△									
ディプロマ ポリシー (学習成果)		身につけるべき力			身につけるべき具体的な資質・能力							該当項目 に○
		社会で活動するために必要な知識・技能			1. 知識を正確に理解する(知識理解)							○
					2. 技能を確実に習得(技能習得)							○
		社会で活躍するための土台となる思考 力・判断力・表現力			3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)							○
					4. 状況を総合的に判断する(判断力)							-
					5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)							-
		多様な人々と共に共通の目標実現に向 かって協働する力			6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)							-
					7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)							-
		労力を惜しまず、生涯に渡って主体的 に学ぶ力			8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる (責任感)							-
					9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)							○
					10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)							○
11. 計画を確実に実行する力(実行力)							○					
授業概要		登録販売者資格取得における、第1章 医薬品に共通する特性と基本的な知識・第2章 人体の働きと医薬品について学ぶ。										
授業の到達目標		登録販売者資格取得するための知識を身に付け、「医薬品に共通する特性と基本的な知識」と「人体の働きと医薬品」について理解する。										
単位認定の方法			期末試験	100 %	授業内小テスト	%	授業内活動	%	計 100 %			
			期末レポート	%	授業内提出物	%	その他	%				
フィードバックの方法			質問等はその都度対応する。									
教科書・教材			登録販売者 登録販売者	ズルい！合格法 ズルい！合格法	YTL 問題集	YTL						
参考書・参考文献等			必要に応じて資料配布する。									
履修上の注意等			わからないことをそのままにしないこと。予習・復習を怠らないこと									
回	授 業 計 画					授業時間外学習						
						授業前・時間			授業後・時間			
1	オリエンテーション 第1章 医薬品に共通する特性と基本的な知識 Ⅰ 医薬品概論 (1) P2-6					シラバスを確認後、テキスト内容を 確認しておく。(30分)			問題集の内容を確認しておく			
2	第1章 医薬品に共通する特性と基本的な知識 Ⅰ 医薬品概論 (2) P7-156					教科書の「医薬品概論(1)」の領域 を読んでおく。(30分)			問題集の「医薬品概論(1)」の練習問 題に挑戦する			
3	第1章 医薬品に共通する特性と基本的な知識 Ⅱ 医薬品の効き目や安全性に影響を与える要因 (1) P16-23					教科書の「医薬品概論(2)」の領域 を読んでおく。(30分)			問題集の「医薬品概論(2)」の練習問 題に挑戦する			
4	第1章 医薬品に共通する特性と基本的な知識 Ⅱ 医薬品の効き目や安全性に影響を与える要因 (2) P24-29					教科書の「医薬品の効き目や安全性 に影響を与える要因(1)」の領域を 読んでおく。(30分)			問題集の「医薬品の効き目や安全性 に影響を与える要因(1)」の練習問題 に挑戦する			

5	第1章 医薬品に共通する特性と基本的な知識 Ⅲ適切な医薬品選択と受診勧奨 P30-36	教科書の「医薬品の効き目や安全性に影響を与える要因(2)」の領域を読んでおく。(30分)	問題集の「医薬品の効き目や安全性に影響を与える要因(2)」の練習問題に挑戦する
6	第1章 医薬品に共通する特性と基本的な知識 Ⅳ薬害の歴史 P37-44	教科書の「適切な医薬品選択と受診勧奨」の領域を読んでおく。(30分)	問題集の「適切な医薬品選択と受診勧奨」の練習問題に挑戦する
7	第1章 医薬品に共通する特性と基本的な知識 まとめ 挑戦問題・過去問題集・青森県出題傾向	教科書の「薬害の歴史」の領域を読んでおく。(30分)	問題集の「薬害の歴史」の練習問題に挑戦する
8	Ⅱ. 人体の構造と働き(1) 内臓器官① 練習問題	教科書P48～58を読んでおく (30分)	関連の練習問題に挑戦し、自己採点しながら理解を深めてくる
9	Ⅱ. 人体の構造と働き(2) 内臓器官② 練習問題	教科書P59～66を読んでおく (30分)	関連の練習問題に挑戦し、自己採点しながら理解を深めてくる
10	Ⅱ. 人体の構造と働き(3) 感覚器官・運動器官 問題	練習 教科書P67～77を読んでおく (30分)	関連の練習問題に挑戦し、自己採点しながら理解を深めてくる
11	Ⅱ. 人体の構造と働き(4) 運動器官・神経系 練習問題	教科書P76～85を読んでおく (30分)	関連の練習問題に挑戦し、関連の問題に挑戦し理解を深めてくる
12	Ⅱ. 人体の働きと医薬品 薬が働く仕組み(1) 練習問題	教科書P86～94を読んでおく (30分)	関連の練習問題に挑戦し、関連の問題に挑戦し理解を深めてくる
13	Ⅱ. 人体の働きと医薬品 薬が働く仕組み(2) 症状からみた副作用(1) 練習問題	教科書P95～102を読んでおく (30分)	関連の練習問題に挑戦し、関連の問題に挑戦し理解を深めてくる
14	Ⅱ. 人体の働きと医薬品 症状からみた副作用(2) 練習問題	教科書P103～109を読んでおく (30分)	関連の練習問題に挑戦し、関連の問題に挑戦し理解を深めてくる
15	Ⅱ 人体の働きと医薬品 まとめ(過去問題実施)	領域Ⅰ・Ⅱの範囲を復習する (60分)	過去問題2022年度東北エリア 試験問題(領域Ⅰ・Ⅱ)の間違った箇所を各自確認する

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員			
L230001		登録販売者対策講座 (医薬品の作用)		2	15	講義	30	後期	1年	木村康子			
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目											実務経験
必修	選択	栄養士	医療 マネジメン ト	ビジネス 実務士	上級ビジネ ス実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼン テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	食育イン ストラク ター	編入	
	○		△										
ディプロマ ポリシー (学習成果)		身につけるべき力				身につけるべき具体的な資質・能力							該当項目 に○
		社会で活動するために必要な知識・技能				1. 知識を正確に理解する(知識理解)							○
						2. 技能を確実に習得(技能習得)							○
		社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力				3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)							○
						4. 状況を総合的に判断する(判断力)							-
						5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)							-
		多様な人々と共に共通の目標実現に向 かって協働する力				6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)							-
						7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)							-
						8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる (責任感)							-
		労力を惜しまず、生涯に渡って主体的 に学ぶ力				9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)							○
						10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)							○
11. 計画を確実に実行する力(実行力)							○						
授業概要		登録販売者資格取得における第3章 主な医薬品とその作用について学ぶ。登録販売者は第2類医薬品、第3類医薬品を販売できる専門的な資格となる。医療費を削減のために国が推進するセルフメディケーション支援をするためにも、正確で且つ最新の知識を修得し、健康回復のための助言ができるように心がける必要がある。医薬品に関する知識と副作用、使用してはならない対象について学習する。											
授業の到達目標		登録販売者資格取得するための知識を身に付ける。 一般的に市販される医薬品の取り扱いについて理解し説明ができるようになる。											
単位認定の方法		期末試験 80 %				授業内小テスト 20 %		授業内活動 %		計 100 %			
		期末レポート %				授業内提出物 %		その他 %					
フィードバックの方法		授業での質問は個別に対応する											
教科書・教材		特になし											
参考書・参考文献等		登録販売者 ズルい！合格法 参考書・問題集 青森県庁HP、青森県登録販売者試験過去問題参照											
履修上の注意等		事前に問題集を解き、授業に取り組むこと。											
回	授 業 計 画					授業時間外学習							
						授業前・時間			授業後・時間				
1	精神神経に作用する薬-1					テキストの予習・30分以上			自宅学習・30分以上				
2	精神神経に作用する薬-2					テキストの予習・30分以上			自宅学習・30分以上				
3	呼吸器に作用する薬					テキストの予習・30分以上			自宅学習・30分以上				
4	胃腸に作用する薬					テキストの予習・30分以上			自宅学習・30分以上				

5	心臓などの器官や血液に作用する薬-1	テキストの予習・30分以上	自宅学習・30分以上
6	心臓などの器官や血液に作用する薬-2 排泄に関わる部位に作用する薬	テキストの予習・30分以上	自宅学習・30分以上
7	婦人薬、内服アレルギー用薬（鼻炎用内服薬を含む）	テキストの予習・30分以上	自宅学習・30分以上
8	鼻に用いる薬、眼科用薬	テキストの予習・30分以上	自宅学習・30分以上
9	皮膚に用いる薬	テキストの予習・30分以上	自宅学習・30分以上
10	歯や口中に用いる薬、禁煙補助剤	テキストの予習・30分以上	自宅学習・30分以上
11	滋養強壮保健薬、漢方処方製剤・生薬製剤-1	テキストの予習・30分以上	自宅学習・30分以上
12	漢方処方製剤・生薬製剤-2	テキストの予習・30分以上	自宅学習・30分以上
13	公衆衛生用薬	テキストの予習・30分以上	自宅学習・30分以上
14	一般検査薬	テキストの予習・30分以上	自宅学習・30分以上
15	別表Ⅳ	テキストの予習・30分以上	自宅学習・30分以上

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員			
L220102		情報表現とデザイン		2	15	演習	30	前期	1年	佐藤 建			
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験	
必修	選択	栄養士	医療 マネジメント	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼン テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	食育イン ストラク ター	編入	無
	○		△	☆	☆	☆	☆	☆	○	△			
ディプロマ ポリシー (学習成果)		身につけるべき力				身につけるべき具体的な資質・能力							該当項目 に○
		社会で活動するために必要な知識・技能				1. 知識を正確に理解する(知識理解)							○
						2. 技能を確実に習得(技能習得)							○
		社会で活躍するための土台となる思考 力・判断力・表現力				3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)							○
						4. 状況を総合的に判断する(判断力)							
						5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)							○
		多様な人々と共に共通の目標実現に向 かって協働する力				6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)							
						7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)							
						8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる (責任感)							
		労力を惜しまず、生涯に渡って主体的 に学ぶ力				9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)							○
10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)													
11. 計画を確実に実行する力(実行力)													
授業概要		「デザインの基本ルール」と「デザイン制作の流れ」を解説し、ソフトウェアなどを活用して課題を解決するデザインを制作できることを体験させる。											
授業の到達目標		情報の表現方法やデザインの考え方を学び、課題解決のために自分が表現したい内容を具現化できて、生活の中で活用することができるようになる。											
単位認定の方法		期末試験	%		授業内小テスト	%		授業内活動	%		計 100 %		
		期末レポート	%		授業内提出物	80 %		その他	20 %				
フィードバックの方法		制作途中で、困難を感じている部分について翌週に解説したり、適宜サポートする。											
教科書・教材		その都度配布する資料に基づいて行う											
参考書・参考文献等		特になし											
履修上の注意等		欠席した時の授業内容は次の授業までに確認し、自ら課題等を進めること。課題は制作の進捗管理をして期限までに提出すること。											
回	授 業 計 画					授業時間外学習							
						授業前・時間			授業後・時間				
1	オリエンテーション デザインをはじめる前に					身近なもののデザインについてを調べる(30分程度)			授業内容について復習(30分程度)				
2	ソフトウェアの紹介					前回の授業内容について復習(30分程度)			授業内容について復習(30分程度)				
3	文字や画像、図形のデザイン (1)					前回の授業内容について復習(30分程度)			授業内容について復習(30分程度)				
4	文字や画像、図形のデザイン (2)					前回の授業内容について復習(30分程度)			授業内容について復習(30分程度)				

5	文字や画像、図形のデザイン（3）	前回の授業内容について復習(30分程度)	授業内容について復習(30分程度)
6	プレゼンテーションや印刷物の作成（1）	前回の授業内容について復習(30分程度)	授業内容について復習(30分程度)
7	プレゼンテーションや印刷物の作成（2）	前回の授業内容について復習(30分程度)	授業内容について復習(30分程度)
8	プレゼンテーションや印刷物の作成（3）	前回の授業内容について復習(30分程度)	授業内容について復習(30分程度)
9	プレゼンテーションや印刷物の作成（4）	前回の授業内容について復習(30分程度)	授業内容について復習(30分程度)
10	制作物発表（1）	前回の授業内容について復習(30分程度)	授業内容について復習(30分程度)
11	メディアの活用（1）	前回の授業内容について復習(30分程度)	授業内容について復習(30分程度)
12	メディアの活用（2）	前回の授業内容について復習(30分程度)	授業内容について復習(30分程度)
13	外部との連携	前回の授業内容について復習(30分程度)	授業内容について復習(30分程度)
14	AIの活用	前回の授業内容について復習(30分程度)	授業内容について復習(30分程度)
15	制作物発表（2）	前回の授業内容について復習(30分程度)	授業内容について復習(30分程度)

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員				
L220101		ビジネス・情報用語の基礎知識		2	15	講義	30	前期	1年	佐藤 建				
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験		
必修	選択	栄養士	医療 マネジメント	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼン テーション実 践士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	食育イン ストラク ター	編入	無	
	○		△	○	☆	☆	☆	△	△	△				
ディプロマ ポリシー (学習成果)		身につけるべき力			身につけるべき具体的な資質・能力								該当項目 に○	
		社会で活動するために必要な知識・技能			1. 知識を正確に理解する(知識理解)								○	
					2. 技能を確実に習得(技能習得)									
		社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力			3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)								○	
					4. 状況を総合的に判断する(判断力)									
					5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)									
		多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力			6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)									
					7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)									
					8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感)									
		労力を惜しまず、生涯に渡って主体的に学ぶ力			9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)								○	
					10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)									
11. 計画を確実に実行する力(実行力)														
授業概要		現代社会においては、さまざまなシーンでビジネス・情報用語を聞く機会がある。												
授業の到達目標		ビジネス現場でのコミュニケーションの際に、ビジネス・情報用語の意味を理解し、コミュニケーションに参加できることを目指す。												
単位認定の方法		期末試験	%		授業内小テスト	%		授業内活動	70	%		計	100	%
		期末レポート	30 %		授業内提出物	%		その他	%					
フィードバックの方法		制作途中で、困難を感じている部分について翌週に解説したり、その都度サポートする。												
教科書・教材		・適宜資料などを配布する												
参考書・参考文献等		特になし												
履修上の注意等		欠席した時の授業内容は次の授業までに確認し、自ら課題等を進めること。												
回	授 業 計 画					授業時間外学習								
						授業前・時間				授業後・時間				
1	ガイダンス 情報処理についての教材学習					ビジネスや情報処理について身近な企業を調べる(90分)				授業後は理解した事柄をノートに整理する(90分)				
2	現代がわかる情報用語					事前に予告された学習範囲について教材等を参考にしながら予習する(90分)				授業後は理解した事柄をノートに整理する(90分)				
3	ニュースを読むためのIT用語					事前に予告された学習範囲について教材等を参考にしながら予習する(90分)				授業後は理解した事柄をノートに整理する(90分)				
4	インターネットのサービスがわかる基本用語					事前に予告された学習範囲について教材等を参考にしながら予習する(90分)				授業後は理解した事柄をノートに整理する(90分)				

5	経営とECを知る情報用語	事前に予告された学習範囲について 教材等を参考にしながら予習する (90分)	授業後は理解した事柄をノートに整理する(90分)
6	セキュリティのIT用語	事前に予告された学習範囲について 教材等を参考にしながら予習する (90分)	授業後は理解した事柄をノートに整理する(90分)
7	情報リテラシー・セキュリティについての教材学習	事前に予告された学習範囲について 調べる(90分)	授業後は理解した事柄をノートに整理する(90分)
8	ビジネス用語の基礎知識	事前に予告された学習範囲について 教材等を参考にしながら予習する (90分)	授業後は理解した事柄をノートに整理する(90分)
9	企業の目的について	事前に予告された学習範囲について 教材等を参考にしながら予習する (90分)	授業後は理解した事柄をノートに整理する(90分)
10	企業の事業内容について	事前に予告された学習範囲について 教材等を参考にしながら予習する (90分)	授業後は理解した事柄をノートに整理する(90分)
11	情報開発、技術開発や研究開発について	事前に予告された学習範囲について 教材等を参考にしながら予習する (90分)	授業後は理解した事柄をノートに整理する(90分)
12	企業がかかわる業界について	事前に予告された学習範囲について 教材等を参考にしながら予習する (90分)	授業後は理解した事柄をノートに整理する(90分)
13	企業のガバナンスについて	事前に予告された学習範囲について 教材等を参考にしながら予習する (90分)	授業後は理解した事柄をノートに整理する(90分)
14	サステナビリティと環境について	事前に予告された学習範囲について 教材等を参考にしながら予習する (90分)	授業後は理解した事柄をノートに整理する(90分)
15	調査内容の報告	調査内容の発表準備(90分)	授業後は理解した事柄をノートに整理する(90分)

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員				
L220101		現代社会とICT		2	15	講義	30	後期	1年	長谷川直宏				
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目											実務経験	
必修	選択	栄養士	医療 マネジメン ト	ビジネス 実務士	上級ビジネ ス実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼン テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	食育イン ストラク ター	編入		
	○			☆	☆	○	○	△	△	○				
ディプロマ ポリシー (学習成果)		身につけるべき力				身につけるべき具体的な資質・能力								該当項目 に○
		社会で活動するために必要な知識・技能				1. 知識を正確に理解する(知識理解)								○
						2. 技能を確実に習得(技能習得)								-
		社会で活躍するための土台となる思考 力・判断力・表現力				3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)								○
						4. 状況を総合的に判断する(判断力)								-
						5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)								○
		多様な人々と共に共通の目標実現に向 かって協働する力				6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)								-
						7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)								-
						8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる (責任感)								-
		労力を惜しまず、生涯に渡って主体的 に学ぶ力				9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)								○
10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)								-						
11. 計画を確実に実行する力(実行力)								-						
授業概要		様々な業種・規模の企業やCtoC、CtoBなどの事例を取り上げ、ICTと密接に結びついた現代社会におけるビジ ネス環境について考察し、理解を深める。												
授業の到達目標		現代社会における問題点や情報化社会の特徴を理解し、社会の組織の一員として諸問題に対処する知識と手法を身に 付ける。												
単位認定の方法		期末試験	60 %		授業内小テスト	40 %		授業内活動	%		計 100 %			
		期末レポート	%		授業内提出物	%		その他	%					
フィードバックの方法		小テスト・期末試験は返却時に解説する												
教科書・教材		授業内容に応じて適宜資料を配布												
参考書・参考文献等		総務省：情報通信白書刊行から50年～ICTとデジタル経済の変遷～												
履修上の注意等		日頃からICTやビジネスに関するニュース等に目を通しておくこと。 授業にはノートブックPCを持参すること。												
回	授 業 計 画					授業時間外学習								
						授業前・時間				授業後・時間				
1	現代社会とは？ICTとは？									授業後は理解した事柄をノートに整 理する(15分以上)				
2	現代社会における日本(1)									授業後は理解した事柄をノートに整 理する(15分以上)				
3	現代社会における日本(2)									授業後は理解した事柄をノートに整 理する(15分以上)				
4	現代社会における日本(3)									授業後は理解した事柄をノートに整 理する(15分以上)				

5	ICTによって変わるシゴト（1）		授業後は理解した事柄をノートに整理する(15分以上)
6	ICTによって変わるシゴト（2）		授業後は理解した事柄をノートに整理する(15分以上)
7	ICT、ビジネスに関する小テスト実施	事前に予告された小テスト範囲について、配布資料を参考に予習する(15分以上)	
8	通信自由化とICT産業の発展（1）		授業後は理解した事柄をノートに整理する(15分以上)
9	通信自由化とICT産業の発展（2）		授業後は理解した事柄をノートに整理する(15分以上)
10	ICT利活用の進展（1）		授業後は理解した事柄をノートに整理する(15分以上)
11	ICT利活用の進展（2）		授業後は理解した事柄をノートに整理する(15分以上)
12	ICTが拓く未来社会（1）		授業後は理解した事柄をノートに整理する(15分以上)
13	ICTが拓く未来社会（2）		授業後は理解した事柄をノートに整理する(15分以上)
14	今後の日本社会におけるICTの役割に関する展望について（1）		授業後は理解した事柄をノートに整理する(15分以上)
15	今後の日本社会におけるICTの役割に関する展望について（2）		授業後は理解した事柄をノートに整理する(15分以上)

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員			
L220101		職業倫理とセキュリティ		2	15	講義	30	後期	1年	友田志郎			
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験	
必修	選択	栄養士	医療 マネジメン ト	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼン テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	食育イン ストラク ター	編入	
	○			☆	☆	☆	☆	△	☆	○			
ディプロマ ポリシー (学習成果)		身につけるべき力			身につけるべき具体的な資質・能力								該当項目 に○
		社会で活動するために必要な知識・技能			1. 知識を正確に理解する(知識理解)								○
					2. 技能を確実に習得(技能習得)								—
		社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力			3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)								○
					4. 状況を総合的に判断する(判断力)								○
		多様な人々と共に共通の目標実現に向 かって協働する力			5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)								—
					6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)								○
					7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)								—
		労力を惜しまず、生涯に渡って主体的 に学ぶ力			8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる (責任感)								—
					9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)								—
					10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)								—
			11. 計画を確実に実行する力(実行力)								—		
授業概要		物事の正しさを判断するための土台となる一般的な倫理観を解説し、情報化社会がそれに与えるバイアス等について学ぶ。また、職業人として必要な法的な知識やハラスメント等に対する問題意識、企業のコンプライアンス等について具体的事例を交えて講義する。最後に、これからの社会で必要となる情報セキュリティと認証基盤についての基礎知識を解説する											
授業の到達目標		価値観の多様化する現代社会において職業人として要求される倫理観と法規の知識、及び情報化社会で必須となるセキュリティ知識の基本を理解し、様々な状況に対処できる能力を身につける。											
単位認定の方法		期末試験	50 %	授業内小テスト	%	授業内活動	30 %	計 100 %					
		期末レポート	%	授業内提出物	20 %	その他	%						
フィードバックの方法		レポートの返却時に解説と講評を行う。											
教科書・教材		授業時間内に必要な資料を配布・提示する。											
参考書・参考文献等													
履修上の注意等		授業の内容をよく理解し、主体的に関わるようにすること。											
回	授 業 計 画					授業時間外学習							
						授業前・時間				授業後・時間			
1	倫理を学ぶにあたって。社会の成立。社会契約説									授業ノートの整理に60分程度。授業内で提示した事柄の関連事項を調べる時間として120分程度を必要とする			
2	功利主義とカントの義務論。リベタリアニズム									授業ノートの整理に60分程度。授業内で提示した事柄の関連事項を調べる時間として120分程度を必要とする			
3	フェイクニュース。プロパガンダ。認知バイアス									授業ノートの整理に60分程度。授業内で提示した事柄の関連事項を調べる時間として120分程度を必要とする			
4	法。法の歴史。法の分類。大陸法と英米法									授業ノートの整理に60分程度。授業内で提示した事柄の関連事項を調べる時間として120分程度を必要とする			

5	法と正義。労働問題。労働法		授業ノートの整理に60分程度。授業内で提示した事柄の関連事項を調べる時間として120分程度を必要とする
6	労働者の権利保護。現代の労働問題		授業ノートの整理に60分程度。授業内で提示した事柄の関連事項を調べる時間として120分程度を必要とする
7	職場環境とハラスメント防止		授業ノートの整理に60分程度。授業内で提示した事柄の関連事項を調べる時間として120分程度を必要とする
8	ビジネスの場での犯罪。企業犯罪		授業ノートの整理に60分程度。授業内で提示した事柄の関連事項を調べる時間として120分程度を必要とする
9	悪徳商法。不正競争とその防止		授業ノートの整理に60分程度。授業内で提示した事柄の関連事項を調べる時間として120分程度を必要とする
10	企業不祥事とその対応		授業ノートの整理に60分程度。授業内で提示した事柄の関連事項を調べる時間として120分程度を必要とする
11	企業の社会的責任。企業コンプライアンス。情報セキュリティ。		授業ノートの整理に60分程度。授業内で提示した事柄の関連事項を調べる時間として120分程度を必要とする
12	コンピュータの仕組み。コンピュータセキュリティ		授業ノートの整理に60分程度。授業内で提示した事柄の関連事項を調べる時間として120分程度を必要とする
13	インターネットの仕組み。ネットワークセキュリティ		授業ノートの整理に60分程度。授業内で提示した事柄の関連事項を調べる時間として120分程度を必要とする
14	暗号化と認証。認証基盤		授業ノートの整理に60分程度。授業内で提示した事柄の関連事項を調べる時間として120分程度を必要とする
15	セキュリティ関連の事件。これからの社会と情報セキュリティ		授業ノートの整理に60分程度。授業内で提示した事柄の関連事項を調べる時間として120分程度を必要とする

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員				
L220101		Webデザイン論		2	15	講義	30	前期	1年	佐藤 建				
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目											実務経験	
必修	選択	栄養士	医療 マネジメント	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼン テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	食育イン ストラク ター	編入		無
	○			△	△	△	○	△	△	△				
ディプロマ ポリシー (学習成果)		身につけるべき力				身につけるべき具体的な資質・能力								該当項目 に○
		社会で活動するために必要な知識・技能				1. 知識を正確に理解する(知識理解)								○
						2. 技能を確実に習得(技能習得)								○
		社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力				3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)								○
						4. 状況を総合的に判断する(判断力)								○
		多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力				5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)								○
						6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)								
						7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)								
						8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感)								
						9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)								○
		労力を惜しまず、生涯に渡って主体的に学ぶ力				10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)								
11. 計画を確実に実行する力(実行力)														
授業概要		Webサイト制作の基礎となるサイトデザイン、効果的なカラーデザイン、インタラクティブデザインを中心に、実際のサイトを事例に取り上げてHTML、CSS等の作成方法について説明し、Webサイトの有用性を講義する。												
授業の到達目標		Webの一般的な技術用語や概念を習得し、情報の優先度の観点からフォントの基礎知識、色彩や配色の理論を理解し説明できるようになり、Webサイトによる情報発信の重要性を認識し、効果的なWebサイト制作に必要な知識とスキルを身に付ける。												
単位認定の方法		期末試験	%		授業内小テスト	%		授業内活動	%		計 100 %			
		期末レポート	%		授業内提出物	80 %		その他	20 %					
フィードバックの方法		制作途中で、困難を感じている部分について翌週に解説したり、その都度サポートする。												
教科書・教材		・「これだけで基本がしっかり身につくHTML/CSS & Webデザイン1冊目の本」												
参考書・参考文献等		特になし												
履修上の注意等		欠席した時の授業内容は次の授業までに確認し、自ら課題等を進めること。課題は制作の進捗管理をして期限までに提出すること。英数字の入力が多いため、頻繁にタイピング練習をすること。												
回	授 業 計 画					授業時間外学習								
						授業前・時間				授業後・時間				
1	オリエンテーションと環境設定					Webサイトの基本構成について調べることとタイピング練習(30分程度)				操作方法の復習とタイピング練習(30分程度)				
2	Webサイト制作の基礎(1)					タイピング練習(30分程度)				操作方法の復習とタイピング練習(30分程度)				
3	Webサイト制作の基礎(2)					前回の授業で作成した練習問題の完成とタイピング練習(30分程度)				授業内容の復習とタイピング練習(30分程度)				
4	HTMLの基礎(1)					前回の授業で作成した練習問題の完成とタイピング練習(30分程度)				授業内容の復習とタイピング練習(30分程度)				

5	HTMLの基礎(2)	前回の授業で作成した練習問題の完成とタイピング練習(30分程度)	授業内容の復習とタイピング練習(30分程度)
6	HTMLの基礎(3)	前回の授業で作成した練習問題の完成とタイピング練習(30分程度)	授業内容の復習とタイピング練習(30分程度)
7	CSSの基礎(1)	練習問題①の完成とタイピング練習(30分程度)	授業内容の復習と授業内で作成した練習問題の完成(30分程度)
8	CSSの基礎(2)	授業内で作成した練習問題の完成とタイピング練習(30分程度)	授業内容の復習と授業内で作成した練習問題の完成(30分程度)
9	CSSの基礎(3)	前回の授業で作成した練習問題の完成(30分程度)	授業内容の復習と授業内で作成した練習問題の完成(30分程度)
10	Webサイトの制作(1)	練習問題②の完成とタイピング練習(30分程度)	授業内容の復習と授業内で作成した練習問題の完成(30分程度)
11	Webサイトの制作(2)	前回の授業で作成した練習問題の完成とタイピング練習(30分程度)	授業内容の復習と授業内で作成した練習問題の完成(30分程度)
12	Webサイトの制作(3)	前回の授業で作成した練習問題の完成(30分程度)	授業内容の復習と授業内で作成した練習問題の完成(30分程度)
13	Webサイトの制作(4)	前回の授業で作成した練習問題の完成(30分程度)	授業内容の復習と授業内で作成した練習問題の完成(30分程度)
14	Webサイトの制作(5)	前回の授業で作成した練習問題の完成(30分程度)	授業内容の復習と授業内で作成した練習問題の完成(30分程度)
15	課題作成	課題作成(30分程度)	課題作成(30分程度)

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員			
L220102		Webデザイン演習		2	15	演習	30	後期	1年	佐藤 建			
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験	
必修	選択	栄養士	医療 マネジメント	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼン テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	食育イン ストラク ター	編入	無
	○			△	△	△	○	△	☆	△			
ディプロマ ポリシー (学習成果)		身につけるべき力				身につけるべき具体的な資質・能力							該当項目 に○
		社会で活動するために必要な知識・技能				1. 知識を正確に理解する(知識理解)							○
						2. 技能を確実に習得(技能習得)							○
		社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力				3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)							○
						4. 状況を総合的に判断する(判断力)							○
						5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)							○
		多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力				6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)							
						7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)							
		労力を惜まず、生涯に渡って主体的に学ぶ力				8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感)							
						9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)							○
						10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)							○
11. 計画を確実に実行する力(実行力)							○						
授業概要		前期で学んだHTMLとCSSの基礎知識を踏まえて、ユーザーに使いやすいWebサイトの制作について講義する。また、「レスポンシブの書き方」や「Flexbox」といった最新の技術についても取り上げる。											
授業の到達目標		Webデザイン論で得た知識を活かして、デザインやスマートフォン対応等の新しい技術を習得し、一般的なパーソナルサイトの制作を行う過程を通じて実践的な技術が身に付く。Webデザインとは何か、Webサイトの持つ情報発信力を身に付ける。											
単位認定の方法		期末試験	%		授業内小テスト	%		授業内活動	%		計 100 %		
		期末レポート	%		授業内提出物	80 %		その他	20 %				
フィードバックの方法		制作途中で、困難を感じている部分について翌週に解説したり、その都度サポートする。											
教科書・教材		「これだけで基本がしっかり身につく HTML/CSS&Webデザイン1冊目の本」、その都度資料の配布											
参考書・参考文献等		特になし。											
履修上の注意等		欠席した時の授業内容は次の授業までに確認し、自ら課題等を進めること。課題は制作の進捗管理をして期限までに提出すること。英数字の入力が多いため、頻繁にタイピング練習をすること。											
回	授 業 計 画					授業時間外学習							
						授業前・時間				授業後・時間			
1	環境設定 HTMLとCSSの復習					前期の「Webデザイン論」の授業内容を復習(30分程度)				授業内で作成した練習問題の完成とタイピング練習(30分程度)			
2	シングルカラムページ作成(1)					前回の授業で作成した練習問題の完成とタイピング練習(30分程度)				授業内で作成した練習問題の完成とタイピング練習(30分程度)			
3	シングルカラムページ作成(2)					前回の授業で作成した練習問題の完成とタイピング練習(30分程度)				授業内で作成した練習問題の完成とタイピング練習(30分程度)			
4	シングルカラムページ作成(3)					前回の授業で作成した練習問題の完成とタイピング練習(30分程度)				授業内で作成した練習問題の完成とタイピング練習(30分程度)			

5	シングルカラムページ作成(4)	前回の授業で作成した練習問題の完成とタイピング練習(30分程度)	授業内で作成した練習問題の完成とタイピング練習(30分程度)
6	複数ページサイトの作成(1)	前回の授業で作成した練習問題の完成とタイピング練習(30分程度)	授業内で作成した練習問題の完成とタイピング練習(30分程度)
7	複数ページのサイトの作成(2)	前回の授業で作成した練習問題の完成とタイピング練習(30分程度)	授業内で作成した練習問題の完成とタイピング練習(30分程度)
8	複数ページのサイトの作成(2)、モバイルサイトの作成	前回の授業で作成した練習問題の完成とタイピング練習(30分程度)	授業内で作成した練習問題の完成とタイピング練習(30分程度)
9	複数ページのサイトの作成(3)、PCサイトの作成	前回の授業で作成した練習問題の完成とタイピング練習(30分程度)	授業内で作成した練習問題の完成とタイピング練習(30分程度)
10	複数ページのサイトの作成(4)	前回の授業で作成した練習問題の完成とタイピング練習(30分程度)	授業内で作成した練習問題の完成とオリジナルサイトの内容を考える(30分程度)
11	Webサイトの公開、オリジナルサイトの企画	オリジナルサイトの内容を考える(30分程度)	ペルソナ等を考える(30分程度)
12	オリジナルサイト制作(1)	オリジナルサイト制作(30分程度)	オリジナルサイト制作(30分程度)
13	オリジナルサイト制作(2)	オリジナルサイト制作(30分程度)	オリジナルサイト制作(30分程度)
14	オリジナルサイト制作(3)	オリジナルサイト制作(30分程度)	オリジナルサイト制作(30分程度)
15	オリジナルサイト発表	オリジナルサイト発表準備(30分程度)	オリジナルサイトの総仕上げ(30分程度)

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員			
L220101		Webディレクション		2	15	講義	30	後期	1年	佐藤 建			
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験	
必修	選択	栄養士	医療 マネジメン ト	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼン テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	食育イン ストラク ター	編入	無
	○			△	△	△	○	△	☆	△			
ディプロマ ポリシー (学習成果)		身につけるべき力			身につけるべき具体的な資質・能力								該当項目 に○
		社会で活動するために必要な知識・技能			1. 知識を正確に理解する(知識理解)								○
					2. 技能を確実に習得(技能習得)								○
		社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力			3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)								○
					4. 状況を総合的に判断する(判断力)								○
		多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力			5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)								○
					6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)								
		多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力			7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)								
					8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感)								
		労力を惜しまず、生涯に渡って主体的に学ぶ力			9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)								
					10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)								
			11. 計画を確実に実行する力(実行力)										
授業概要		Web制作におけるトレンドと新技術等について説明し、現在ディレクションに求められている知識・技術を取り上げる。企画・設計、制作、進行管理の各工程における基本的な業務知識を網羅するとともにツールを学び、運用や改善など発展的なテーマについても講義する。また、幅広い分野で近い将来、取り入れられるAIについても取り上げLLMを体験する。											
授業の到達目標		Webサイトについて企画から運用までの体系的かつ網羅的な知識を身に付けたうえで、基本的なWebサイトの作り方と効果的な運用の方法を理解できるようになる。また、LLMの基本的な操作を身に付ける。											
単位認定の方法		期末試験	%	授業内小テスト	%	授業内活動	%	計 100 %					
		期末レポート	%	授業内提出物	80 %	その他	20 %						
フィードバックの方法		制作途中で、困難を感じている部分について翌週に解説したり、適宜サポートする											
教科書・教材		その都度配布する資料											
参考書・参考文献等		特になし											
履修上の注意等		欠席した時の授業内容は次の授業までに確認し、自ら課題等を進めること。課題は制作の進捗管理をして期限までに提出すること。											
回	授 業 計 画					授業時間外学習							
						授業前・時間				授業後・時間			
1	オリエンテーション ディレクションについてのイントロダクション					Webディレクションについて調べる				授業内容の復習(30分程度)			
2	企画①					前回の授業内容を復習(30分程度)				授業内容の復習(30分程度)			
3	企画②					前回の授業内容を復習(30分程度)				授業内容の復習と課題の完成(30分程度)			
4	設計①					前回の授業内容を復習(30分程度)				授業内容の復習と課題の完成(30分程度)			

5	設計②	課題作成(30分程度)	授業内容の復習と課題の完成(30分程度)
6	制作・進行管理①	前回の授業内容を復習(30分程度)	授業内容の復習と課題の完成(30分程度)
7	制作・進行管理②	前回の授業内容を復習(30分程度)	授業内容の復習と課題の完成(30分程度)
8	LLMなどのAIについて	前回の授業内容を復習(30分程度)	授業内容の復習と課題の完成(30分程度)
9	LLMなどのAI活用	前回の授業内容を復習(30分程度)	授業内容の復習と課題の完成(30分程度)
10	LLMなどのAI活用	前回の授業内容を復習(30分程度)	授業内容の復習と課題の完成(30分程度)
11	LLMなどのAI活用	前回の授業内容を復習(30分程度)	授業内容の復習と課題の完成(30分程度)
12	AI活用の実践	前回の授業内容の復習と課題の完成(30分程度)	授業内容の復習と課題の完成(30分程度)
13	AI活用の実践	前回の授業内容の復習と課題の完成(30分程度)	授業内容の復習と課題の完成(30分程度)
14	AI活用の実践	前回の授業内容の復習と課題の完成(30分程度)	授業内容の復習と課題の完成(30分程度)
15	期末演習	前回の授業内容の復習と課題の完成(30分程度)	授業内容の復習と課題の完成(30分程度)

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員			
L220101		フードビジネス論		2	15	講義	30	前期	1年	宮地博子			
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目										実務経験	
必修	選択	栄養士	医療 マネジメン ト	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼン テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	食育イン ストラク ター	編入	
	○			○	○	△	△	△	△	△			
ディプロマ ポリシー (学習成果)		身につけるべき力				身につけるべき具体的な資質・能力							該当項目 に○
		社会で活動するために必要な知識・技能				1. 知識を正確に理解する(知識理解)							○
						2. 技能を確実に習得(技能習得)							-
		社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力				3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)							○
						4. 状況を総合的に判断する(判断力)							○
						5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)							-
		多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力				6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)							-
						7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)							-
						8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感)							-
		労力を惜しまず、生涯に渡って主体的に学ぶ力				9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)							○
						10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)							○
11. 計画を確実に実行する力(実行力)							-						
授業概要		農水産物と消費者の間に介在する食品産業の役割を理解し、食料をめぐる様々な経済問題について考える。国際化が進んで、食料・食産業においても貿易動向やWTOルールなどの知識は身に付けておく必要がある。そのため、国内だけではなく世界の動向に目を向け、必要な知識を深める。											
授業の到達目標		食料物流についてを基礎から学び、フードシステムの仕組みや問題点を理解する。 食生活に関わる生産・物流・販売・消費についての理解を深め、実態を表す統計資料を活用することが出来る。											
単位認定の方法		期末試験	70 %	授業内小テスト	%	授業内活動	20 %	計 100 %					
		期末レポート	%	授業内提出物	10 %	その他	%						
フィードバックの方法		小テストは採点後に返却し、解説を行う。質問等はその都度対応する。											
教科書・教材		プリントを配布する。											
参考書・参考文献等		薬師寺哲郎, 中川 隆 編著: フードビジネス入門-基礎からの食料経済学- 建帛社 時子山ひとみ, 荏開津典生, 中嶋康博 著: フードシステムの経済学 第6版 医歯薬出版株式会社											
履修上の注意等		提出物の期限は守ること。 質問等はMicrosoft Teams等で随時受付する。											
回	授 業 計 画					授業時間外学習							
						授業前・時間				授業後・時間			
1	ガイダンス 日本のフードビジネス					配布資料(Teamsにて送信)を 読み予習 (30分以上)				復習 (30分以上)			
2	食生活の現状					配布資料を読み予習 (30分以上)				復習 (30分以上)			
3	食生活の変化と要因					配布資料を読み予習 (30分以上)				復習 (30分以上)			
4	食品製造業					配布資料を読み予習 (30分以上)				復習 (30分以上)			

5	食品流通①－卸売－	配布資料を読み予習 (30分以上)	復習 (30分以上)
6	食品流通②－小売－	配布資料を読み予習 (30分以上)	復習 (30分以上)
7	外食産業	配布資料を読み予習 (30分以上)	復習 (30分以上)
8	中食産業	配布資料を読み予習 (30分以上)	復習 (30分以上)
9	食と農業－フード&アグリテック－	プレゼン発表の準備 (30分以上)	復習 (30分以上)
10	日本の農業・農業のマーケティング	配布資料を読み予習 (30分以上)	復習 (30分以上)
11	食料の輸入と自給率	配布資料を読み予習 (30分以上)	復習 (30分以上)
12	世界の人口と食料問題・世界の食料貿易 食料をめぐる貿易問題 食の安全と消費者の信頼	配布資料を読み予習 (30分以上)	復習 (30分以上)
13	フービジネスに関するプレゼンテーションの準備	プレゼンテーションのための 情報収集 (30分以上)	プレゼンテーションの準備 (30分以上)
14	フービジネスに関するプレゼンテーション①	プレゼンテーションの準備 (30分以上)	プレゼンテーションの準備 (30分以上)
15	フービジネスに関するプレゼンテーション②	プレゼンテーションの準備 (30分以上)	Microsoft Formsにレポートを送信 (30分以上)

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員			
L220101		ITストラテジー		2	15	講義	30	後期	1年	長谷川直宏			
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目											実務経験
必修	選択	栄養士	医療 マネジメン ト	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼン テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	食育イン ストラク ター	編入	
	○			△	△	○	○	△	△	○			
ディプロマ ポリシー (学習成果)		身につけるべき力				身につけるべき具体的な資質・能力							該当項目 に○
		社会で活動するために必要な知識・技能				1. 知識を正確に理解する(知識理解)							○
						2. 技能を確実に習得(技能習得)							-
		社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力				3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)							○
						4. 状況を総合的に判断する(判断力)							○
		多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力				5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)							-
						6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)							-
						7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)							-
						8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感)							-
						9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)							○
労力を惜しまず、生涯に渡って主体的に学ぶ力				10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)							○		
				11. 計画を確実に実行する力(実行力)							○		
授業概要		現代社会においてITは企業活動や日常生活のあらゆる場面に浸透しており、社会人として基本的なITリテラシーが必要である。本授業では、企業と法務、経営戦略、システム戦略といったストラテジ分野に焦点を当て、経営全般に関する基本的な考え方を理解し、企業経営に関わるITの基礎知識を習得する。											
授業の到達目標		ITパスポート試験ストラテジ分野の合格基準に相当する知識を習得する。											
単位認定の方法		期末試験	60 %		授業内小テスト	40 %		授業内活動	%		計 100 %		
		期末レポート	%		授業内提出物	%		その他	%				
フィードバックの方法		授業内小テストは実施時限内に解説する。定期試験は返却時に解説する。											
教科書・教材		令和08年 イメージ&クレバー方式でよくわかる 栢木先生のITパスポート教室											
参考書・参考文献等		ITパスポート試験 過去問題 (https://www3.jitec.ipa.go.jp/JitesCbt/html/openinfo/questions.html)											
履修上の注意等		学習範囲が広く覚える用語も多い。知識定着のため、授業後の要点整理を着実にを行うこと。授業にはノートブックPCを持参すること。											
回	授 業 計 画					授業時間外学習							
						授業前・時間			授業後・時間				
1	企業活動と法務（財務諸表、売上・利益とその他）								授業後は、特に用語を中心に理解した事柄をノートに整理する（15分以上）				
2	企業活動と法務（知的財産権）								授業後は、特に用語を中心に理解した事柄をノートに整理する（15分以上）				
3	企業活動と法務（セキュリティ関連法規、労働関連・取引関連法規）								授業後は、特に用語を中心に理解した事柄をノートに整理する（15分以上）				
4	企業活動と法務（業務分析手法と標準化）								授業後は、特に用語を中心に理解した事柄をノートに整理する（15分以上）				

5	企業活動と法務 授業内小テストと解説	事前に予告された小テスト範囲について、教科書とノートを参考に予習する (15分以上)	
6	経営戦略とシステム戦略 (企業活動と組織論、企業統治と内部統制)		授業後は、特に用語を中心に理解した事柄をノートに整理する (15分以上)
7	経営戦略とシステム戦略 (経営戦略手法)		授業後は、特に用語を中心に理解した事柄をノートに整理する (15分以上)
8	経営戦略とシステム戦略 (マーケティング戦略、技術戦略)		授業後は、特に用語を中心に理解した事柄をノートに整理する (15分以上)
9	経営戦略とシステム戦略 (業務評価と経営管理システム)		授業後は、特に用語を中心に理解した事柄をノートに整理する (15分以上)
10	経営戦略とシステム戦略 (ビジネスシステムとエンジニアリング、e-ビジネス)		授業後は、特に用語を中心に理解した事柄をノートに整理する (15分以上)
11	経営戦略とシステム戦略 (第4次産業革命と人工知能)		授業後は、特に用語を中心に理解した事柄をノートに整理する (15分以上)
12	経営戦略とシステム戦略 (IoTと組込みシステム)		授業後は、特に用語を中心に理解した事柄をノートに整理する (15分以上)
13	経営戦略とシステム戦略 (情報システム戦略と業務プロセス、ソリューションビジネスとシステム活用促進)		授業後は、特に用語を中心に理解した事柄をノートに整理する (15分以上)
14	経営戦略とシステム戦略 授業内小テストと解説	事前に予告された小テスト範囲について、教科書とノートを参考に予習する (15分以上)	
15	ITパスポート試験ストラテジ分野の過去問から学習要点の解説		授業後は、教科書とノートを参考に、理解不足箇所の復習を行う (60分以上)

ナンバリング		科目名		単位数	授業回数	授業形態	時間数	開講時期	開講年次	担当教員				
L220101		ITマネジメント		2	15	講義	30	後期	1年	長谷川直宏				
卒業要件		免許・資格：「○」は必修科目、「△」履修が望ましい科目、「☆」選択必修科目											実務経験	
必修	選択	栄養士	医療 マネジメン ト	ビジネス 実務士	上級ビジネス 実務士	情報処理 士	上級情報 処理士	プレゼン テーション実 務士	Webデザイ ン実務士	ITパス ポート	食育イン ストラク ター	編入		
	○			△	△	○	○	△	△	○				
ディプロマ ポリシー (学習成果)		身につけるべき力			身につけるべき具体的な資質・能力									該当項目 に○
		社会で活動するために必要な知識・技能			1. 知識を正確に理解する(知識理解)									○
					2. 技能を確実に習得(技能習得)									-
		社会で活躍するための土台となる思考力・判断力・表現力			3. 学んだ知識を使って主体的に考える(思考力)									○
					4. 状況を総合的に判断する(判断力)									○
		多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力			5. 物事を分かりやすく伝える(表現力)									-
					6. 多様な価値観を理解し尊重できる(傾聴力)									-
		多様な人々と共に共通の目標実現に向かって協働する力			7. 多様性に対して柔軟性を持って対応できる(協調性)									-
					8. 目標達成のために集団における自分の役割に責任を持ち行動できる(責任感)									-
		労力を惜しまず、生涯に渡って主体的に学ぶ力			9. 興味・関心を持って積極的に取り組む力(興味・関心)									○
					10. 苦手なことにも挑戦する力(挑戦力)									○
			11. 計画を確実に実行する力(実行力)									○		
授業概要		社会の隅々までITが深く浸透する現在、これから社会人となる学生が備えておくべきITに関する基本的な知識のうち、マネジメント分野といわれる、システムの開発・導入・運用・管理といった一連のプロジェクトマネジメント手法と、情報セキュリティ管理に関する基本的な知識と考え方を習得する。												
授業の到達目標		ITパスポート試験マネジメント分野の合格基準に相当する知識を習得する。												
単位認定の方法		期末試験	60 %			授業内小テスト	40 %			授業内活動	%			計 100 %
		期末レポート	%			授業内提出物	%			その他	%			
フィードバックの方法		授業内小テストは実施時限内に解説する。定期試験は返却時に解説する。												
教科書・教材		令和08年 イメージ&クレバー方式でよくわかる 栢木先生のITパスポート教室												
参考書・参考文献等		ITパスポート試験 過去問題 (https://www3.jitec.ipa.go.jp/JitesCbt/html/openinfo/questions.html)												
履修上の注意等		学習範囲が広く覚える用語も多い。知識定着のため、授業後の要点整理を着実にを行うこと。授業にはノートブックPCを持参すること。												
回	授 業 計 画					授業時間外学習								
						授業前・時間					授業後・時間			
1	マネジメント (企画・要件定義と調達)										授業後は、特に用語を中心に理解した事柄をノートに整理する (15分以上)			
2	マネジメント (システム開発とソフトウェアの見積り)										授業後は、特に用語を中心に理解した事柄をノートに整理する (15分以上)			
3	マネジメント (テスト手法と運用・保守)										授業後は、特に用語を中心に理解した事柄をノートに整理する (15分以上)			
4	マネジメント (ソフトウェア開発手法)										授業後は、特に用語を中心に理解した事柄をノートに整理する (15分以上)			

5	マネジメント（プロジェクトマネジメント）		授業後は、特に用語を中心に理解した事柄をノートに整理する（15分以上）
6	マネジメント（工程管理）		授業後は、特に用語を中心に理解した事柄をノートに整理する（15分以上）
7	マネジメント（ITサービスマネジメント）		授業後は、特に用語を中心に理解した事柄をノートに整理する（15分以上）
8	マネジメント（システム監査）		授業後は、特に用語を中心に理解した事柄をノートに整理する（15分以上）
9	マネジメント 授業内小テストと解説	事前に予告された小テスト範囲について、教科書とノートを参考に予習する（15分以上）	
10	セキュリティ（情報資産とマルウェア）		授業後は、特に用語を中心に理解した事柄をノートに整理する（15分以上）
11	セキュリティ（サイバー攻撃）		授業後は、特に用語を中心に理解した事柄をノートに整理する（15分以上）
12	セキュリティ（情報セキュリティ管理）		授業後は、特に用語を中心に理解した事柄をノートに整理する（15分以上）
13	セキュリティ（利用者認証と生体認証、ネットワークセキュリティ）		授業後は、特に用語を中心に理解した事柄をノートに整理する（15分以上）
14	セキュリティ 授業内小テストと解説	事前に予告された小テスト範囲について、教科書とノートを参考に予習する（15分以上）	
15	ITパスポート試験マネジメント分野、セキュリティ分野の過去問から学習要点の解説		授業後は、特に用語を中心に理解した事柄をノートに整理する（15分以上）